

令和3年度 群馬県立館林美術館年報

2021.4 - 2022.3



Gunma Museum of Art,
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

目次

・新型コロナウイルスの美術館への影響 p.3

・展覧会 p.4

A 展覧会一覧	p.4
B 企画展示記録	p.5
C コレクション展示記録	p.54
D 彫刻家のアトリエ(別館)展示記録	p.57
E 入館者数一覧表	p.58

・教育普及 p.59

A 講演会・アーティストトーク・パフォーマンス	p.59
B 作品解説会・たてび☆キッズウォーク・ボンボンツアー	p.60
C ワークショップ	p.61
D 創作体験コーナー みんなのアトリエ	p.61
E たてび☆びじゅつ部	p.62
F コンサート・読み聞かせ・その他イベント	p.62
G 学校連携その他	p.63
H 地域に開かれた美術館づくり	p.66
I 刊行物	p.67
J ボランティア	p.67
K 友の会	p.67

・所蔵資料 p.68

A 美術作品	p.68
B 図書資料その他	p.83

・関係者および職員名簿 p.84

新型コロナウイルスの美術館への影響

春の展覧会「水に浮かぶ島のように」は、4月24日～6月13日の会期であったが、5月16日、前橋、高崎など10市町に蔓延防止等重点措置が適用されたことを受け、県文化振興課の方針により休館し、そのまま閉会となった。休館期間中、県のYouTubeチャンネル Tsulunos より展覧会紹介動画を配信した。

その後、蔓延防止措置は8月8日～8月19日と2022年1月21日～2月13日にも適用され、8月20日～9月30日に緊急事態宣言が発出されたが、県の方針で休館にはならなかった。しかし、たてび☆びじゅつ部やみんなのアトリエなど期間中の教育普及事業が一部中止となった。

感染対策として、アルコールによる手指消毒、検温、マスクの着用、健康状態申告書の記入、一方通行、ゴミ箱撤去、椅子は間隔をあけて座るようお願いを継続した。受付の監視員増員を継続し、1時間おきに椅子やトイレなどのアルコール消毒を行い、筆記用具は一度使用したものは消毒を行った。展示室内での図録の見本や資料の閲覧はとりやめを継続した。美術情報コーナーとキッズ・コーナーの閉鎖は継続したが、チラシコーナーは7月3日開幕の「野口哲哉展」より利用を再開した。

1時間あたりの入館上限を100名とし、展覧会イベントは人数制限を継続、講演会やワークショップはメールによる事前申込を行った。募集定員について、講堂での講演会は元々の定員130名から50名程度に減らし、ワークショップ室におけるワークショップは1組4名以内で18組まで(同時間6組を上限とする)とした。開催場所について、展示室内での作品解説やアーティスト・トークは講堂または研修室での開催を継続した。秋の展覧会「たてびレポート」では一部、地元住民や来館者参加型のインスタレーションを行ったが、感染対策を徹底し、問題なく無事に開催できた。

※各事業の詳細は、教育普及の各項目(59～62頁)に記載

展覧会

A 展覧会一覧

(1)企画展示

展示名	会期	会場	内容
水に浮かぶ島のように —群馬県立館林美術館の20年—	4/24～6/13 (実際の開館は 4/24～5/15)	展示室1～4	開館20年を迎える館林美術館の作品収蔵の歴史を振り返りながら、作品を通して当館の特色を浮き彫りにした。収蔵品より約100点を紹介した。
野口哲哉展 —THIS IS NOT A SAMURAI—	7/3～9/5	展示室2～4	鎧と人間をテーマに、現代性や人間性を問いかける現代作家、野口哲哉の初期から新作までの代表作約180点を紹介した。
たてびレポート —開館20周年を楽しむ展覧会—	9/18～11/7	展示室1～4	開館20周年を記念した展示。館のテーマ「自然と人間」に基づき収蔵品を紹介すると同時に、新収蔵の山口晃作品を特集。併せて現代作家二人による来館者参加型の作品を制作展示した。
開館20周年記念 フランソワ・ポンボン展 動物を愛した彫刻家	11/23～1/26	展示室1～4	日本で初めてとなるフランソワ・ポンボンの大規模な回顧展。フランスの美術館からの借用作品約90点と、当館所蔵のポンボン関連資料約240点を展示した。
永井一正のポスターデザイン —いきること・つくること—	2/19～4/3	展示室2～4	当館所蔵の永井一正のポスターコレクション約250点のうちから、1980年代から2000年代までの約140点を紹介した。

(2)コレクション展示

展示名	会期	会場	内容
近現代の彫刻Ⅰ 動物、ひと、息づく線と形をめぐって	7/3～9/5	展示室1	バリー・フラナガン、バーバラ・ヘップワース、土谷武、森亮太、勅使河原蒼風などの近現代の彫刻を展示した。
近現代の彫刻Ⅱ 立体作品に見る、動物と人の表現	2/19～4/3	展示室1	ヘンリー・ムーア、イサム・ノグチ、フェルナンド・ボテロ、鶴岡政男、高田博厚などの近現代彫刻を展示した。

1. 水に浮かぶ島のように—群馬県立館林美術館の20年

会期 令和3年4月24日(土)～6月13日(日) (当初予定)
 *コロナ感染症対策のため、5月16日(日)に閉会
 会場 展示室1～4
 主催 群馬県立館林美術館
 観覧料 一般620(490)円 大高生310(240)円
 ()内は、20名以上の団体割引料金

北に多々良川が流れ、南西には日本遺産のひとつに認定された多々良沼が位置する、広々とした平地に建てられた群馬県立館林美術館は「水に浮かぶ島」をイメージして建物やランドスケープが作られている。

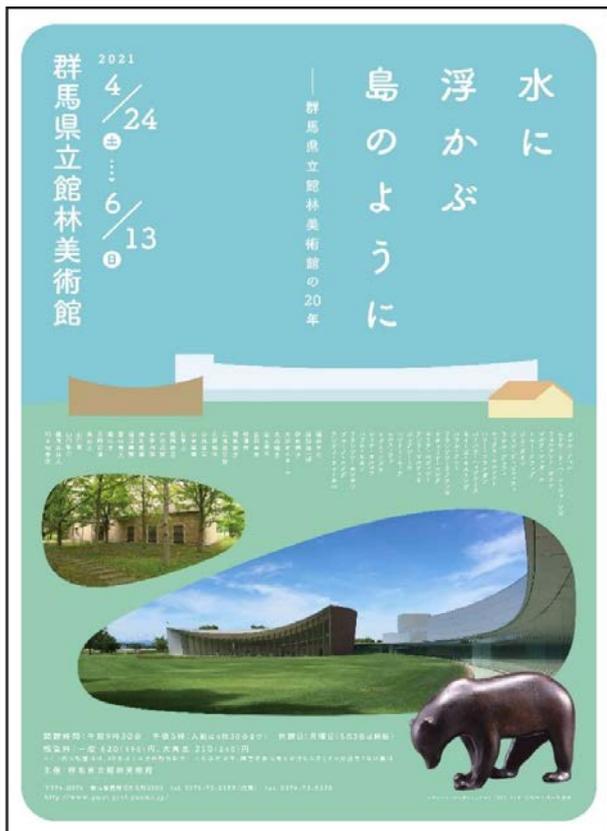
当館は「自然と人間」を館のテーマとして作品を収集し、展覧会を開催してきた。開館前の1995年に収集したフランソワ・ポンボン《シロクマ》に始まり、美術館の歴史とともに徐々に豊かさを増した所蔵品は現在1200点余りとなり、展覧会の企画にも大きな影響を与えている。そこで、開館20周年を迎える館林美術館の収蔵品の中から選りすぐりの100点を選んで紹介した。

本展は、作品収蔵の歴史を振り返りながら、所蔵品に触発された次の5つの章立てをよりどころにして、館林美術館の特色を浮き彫りにすることを試みた。

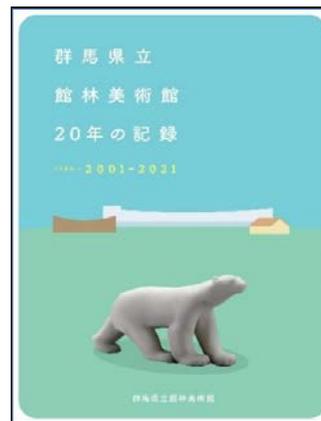
- 第1章 美術館の発芽と生長—「人・動物・花」から「自然と人間」へ
- 第2章 地域へのまなざし—東から西へ
- 第3章 「自然と人間」—見えないものを見えるように
- 第4章 まなざしは地域から地球環境へ—地面から空へ
- 第5章 西洋の彫刻—ポンポンの生きた時代とその後の彫刻

さらに、収蔵作品とともに、建設当時の美術館写真や企画展の記録画像、年譜などによって美術館の20年を振り返った。

会期中は作品解説会やたてび☆びじゅつ部などいくつかのイベントを開催予定であったが、5月16日の蔓延防止等重点措置の適用により、休館・閉会となったため、実施できないイベントがあった。



ポスター



リーフレット



ジュニアガイド

出品目録

第1章 美術館の発芽と生長 ―「人・動物・花」から「自然と人間」へ

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横/高さ×幅×奥行き)cm	所蔵
1	パウル・クレー	子どもたち	1929	水彩、木炭・紙	27.5 × 33.5	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ラフランカ	カマナ	1993	エンボス、石・紙	102.0 × 75.0	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ラフランカ	コルソット	1993	エンボス、石・紙	22.0 × 22.0	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ラフランカ	アトランティード	1994	エンボス、石・紙	40.0 × 45.0	群馬県立館林美術館
5	モイズ・キスリング	青い花瓶のミモザ	1948	油彩・カンヴァス	62.0 × 74.0	群馬県立館林美術館
6	猪熊弦一郎	猫と二人の子供	1952	油彩・カンヴァス	90.7 × 72.5	群馬県立館林美術館
7	猪熊弦一郎	猫と魚	1953- 1954	油彩・カンヴァス	60.5 × 50.0	群馬県立館林美術館
8	猪熊弦一郎	馬と鳥	1955	グワッシュ・紙	59.5 × 42.5	群馬県立館林美術館
9	カレル・アペル	サーカス・シリーズ:鳥の道化	1978	彩色、木	83.8 × 89.0 × 18.0	群馬県立館林美術館
10	南桂子	公園	1956	銅版画・紙	29.0 × 29.1	群馬県立館林美術館
11	南桂子	羊飼いの少女	1957	エッチング、サンド ペーパーほか・紙	38.9 × 28.1	群馬県立館林美術館
12	南桂子	平和の木	1957頃	エッチング、サンド ペーパー・紙	29.1 × 29.2	群馬県立館林美術館
13	南桂子	子供と花束と犬	1963	エッチング、ソフトグ ランドエッチング、ス ビットバイト、サンド ペーパー・紙	36.0 × 29.0	群馬県立館林美術館
14	南桂子	村落の牝牛	1963	エッチング、ソフトグ ランドエッチング、サ ンドペーパー・紙	36.0 × 29.2	群馬県立館林美術館
15	南桂子	葉の茂みの中の鳥	1965	エッチング、ソフトグ ランドエッチング、 ディープエッチング 、サンドペーパー・紙	28.0 × 35.7	群馬県立館林美術館
16	南桂子	異国の鳥	1970	エッチング、ソフトグ ランドエッチング、サ ンドペーパー・紙	33.8 × 28.4	群馬県立館林美術館
17	南桂子	風船売りの少女	1978	エッチング、サンド ペーパー・紙	33.8 × 28.3	群馬県立館林美術館
18	南桂子	林と少女	1985	銅版画・紙	32.4 × 28.3	群馬県立館林美術館
19	パブロ・ピカソ	『真夜中の馬たち』(ロク・グレイ著)(全12点)	1955- 1956 (1956刊)	ドライポイント、ビュラ ン・紙	各 31.0 × 22.0(ペーパー)	群馬県立館林美術館
20	アンディ・ウォーホル	危機に瀕した種(全10点)より	1983	シルクスクリーン・紙	各 96.5 × 96.7	群馬県立館林美術館
20-1		アフリカ象				
20-2		白頭ワシ				
20-3		ロッキー羊				
20-4		クロサイ				
20-5		グレーヴィーシマウマ				
20-6		オランウータン				
20-7		アンダーソンアマガエル				
20-8		シベリアタイガー				

第2章 地域へのまなざし ― 東から西へ

21	小室翠雲	夏冬山水図屏風	1923	絹本墨画淡彩・ 六曲一双屏風	各 167.0 × 360.0	群馬県立館林美術館
22	岸浪百草居	芭蕉	1928	絹本彩色・軸	145.5 × 90.4	群馬県立館林美術館 (岸浪守氏寄贈)
23	磯部草丘	犬吠埼図	1933	絹本彩色・軸	80.0 × 50.4	群馬県立館林美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横／高さ×幅×奥行き)cm	所蔵
24	横尾深林人	館林躑躅公園所見	1937	紙本彩色・軸	44.0 × 55.5	群馬県立館林美術館 (伊藤修平氏寄贈)
25	藤牧義夫	達磨	1933	木版・紙	18.2 × 21.3	群馬県立館林美術館 寄託
26	藤牧義夫	島のちいさん(『新版画』第9号より)	1933刊	木版・紙	14.4 × 9.4	群馬県立館林美術館
27	藤牧義夫	まくら橋(『新版画』第14号より)	1934刊	木版・紙	12.2 × 9.2	群馬県立館林美術館
28	藤牧義夫	城沼の冬	1933	木版・紙	11.2 × 14.0	群馬県立館林美術館
29	藤牧義夫	井の頭風景	1934	木版・紙	14.8 × 16.9	群馬県立館林美術館 寄託
30	藤牧義夫	裏街(『新版画』第17号より)	1935刊	木版・紙	15.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
31	鶴岡政男	涙する人	1968	油彩・カンヴァス	上 162.0 × 130.3 下 162.0 × 130.5	群馬県立館林美術館
32	鶴岡政男	眠る人	1976	油彩・カンヴァス	33.0 × 45.5	群馬県立館林美術館
33	鶴岡政男	春の野	1976	油彩・カンヴァス	33.0 × 45.5	群馬県立館林美術館
34	山口薫	水田を拓く	1956	油彩・カンヴァス	100.0 × 80.5	群馬県立館林美術館
35	中平四郎	讀賣	1924	木彫	60.0 × 34.0 × 25.0	群馬県立館林美術館 寄託
36	森亮太	石の鼓動	1980	黒大理石	8.0 × 19.5 × 14.0	群馬県立館林美術館 (森猛氏寄贈)
37	森亮太	二つの突起	1982	黒御影石	27.0 × 55.0 × 17.0	群馬県立館林美術館 (飯田秀夫氏寄贈)
38	森亮太	風の扉	1987	黒御影石	101.0 × 34.5 × 31.0	群馬県立館林美術館 (森とみ子氏寄贈)
39	森亮太	座標	1988	黒御影石	27.5 × 27.0 × 14.0	群馬県立館林美術館 (森とみ子氏寄贈)
40	和南城孝志	Archetypus 空間への旅 I	1979	ブロンズ	12.0 × 35.0 × 35.0	群馬県立館林美術館 (和南城洋子氏寄贈)
41	和南城孝志	Archetypus 空間への旅 II	1983	ブロンズ、錫	10.0 × 30.0 × 30.0	群馬県立館林美術館 (和南城洋子氏寄贈)
42	三輪途道	下仁田ーおじい	2003	檜、漆、膠、顔料	79.0 × 59.0 × 64.0	群馬県立館林美術館 寄託
43	三輪途道	下仁田ーおばあ	2003	檜、漆、膠、顔料	83.0 × 50.0 × 56.0	群馬県立館林美術館 寄託
44	金山平三	孀恋村	1935- 1945	油彩・カンヴァス	45.5 × 65.1	群馬県立館林美術館

第3章 「自然と人間」— 見えないものを見えるように

45	エドワード・バーン＝ ジョーンズ	『フラワー・ブック』(全38点) より	1882- 1998 (1905刊)	カラーリトグラフ (一部手彩色)・紙		群馬県立館林美術館
45-1		ヤコブの梯子			15.1 × 15.5	
45-2		天国のバラ			15.7 × 15.9	
45-3		クサリヘビの舌			16.2 × 16.2	
45-4		金の門			15.7 × 15.9	
45-5		春の鍵			16.7 × 16.8	
45-6		天国の梯子			16.4 × 16.4	
45-7		彼は来ない？			15.9 × 15.9	
45-8		もつれた愛			16.6 × 16.7	
45-9		魔女の樹			16.9 × 17.0	
45-10		金色のにわか雨			16.2 × 16.3	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横／高さ×幅×奥行き)cm	所蔵
45-11		ベツレヘムの星			16.8 × 16.9	
45-12		朝の栄光			16.2 × 16.0	
45-13		最愛の者よ目覚めよ			15.6 × 15.8	
45-14		黒い大天使			16.3 × 16.5	
45-15		悲しみの樹			16.0 × 15.8	
45-16		我が家へようこそ			15.7 × 16.1	
46	マルク・シャガール	『死せる魂』(ニコライ・ゴークリ著)(全96点)より	1923-1927 (1948刊)	エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙		群馬県立館林美術館
46-1		30 チチコフの夢			28.0 × 21.2	
46-2		31 ソバケーヴィッチの家			21.1 × 27.7	
46-3		32 ソバケーヴィッチ			27.7 × 21.1	
46-4		33 ソバケーヴィッチ夫人			27.7 × 21.1	
46-5		34 食卓へ移る			21.1 × 28.0	
46-6		35 支度のできた食卓			27.7 × 21.3	
46-7		36 食卓のソバケーヴィッチ			21.5 × 28.0	
46-8		37 チチコフとソバケーヴィッチは取り引きをする			21.3 × 27.8	
46-9		38 肘掛け椅子の傍らのソバケーヴィッチ			27.8 × 21.5	
46-10		39 手付金			21.5 × 28.0	
46-11		41 プリュースキンの村			21.3 × 27.8	
46-12		42 プリュースキンの古い庭園			27.7 × 21.3	
46-13		43 扉口のプリューシキン			27.9 × 21.3	
46-14		44 プリュースキンの部屋			27.7 × 21.4	
46-15		46 ブローシカ			27.7 × 21.1	
46-16		47 プリュースキンは酒をすすめる			21.3 × 27.7	
46-17		48 書類を探すプリューシキン			21.3 × 27.7	
46-18		49 プリュースキンと口論するマーヴラ			21.3 × 27.7	
46-19		50 入市税取立所にて			21.3 × 27.7	
46-20		52 大喜びする寝巻姿のチチコフ			27.7 × 21.1	
47	ジャン・デュビュッフェ	『壁』(ウジェーヌ・ギユヴィック著)(全15点)より	1945-1950 (1950刊)	リトグラフ・紙		群馬県立館林美術館
47-1		(表紙)パラシュートのある壁			35.0 × 27.5	
47-2		(口絵)壁と人間			32.2 × 27.3	
47-3		I 裝飾された壁			37.0 × 28.2	
47-4		II 鳥のいる壁			36.0 × 28.4	
47-5		III 壁に追いつめられた人			36.0 × 28.3	
47-6		IV 壁を通り過ぎる人			38.0 × 28.6	
47-7		V 壁の前でダンス			34.7 × 28.7	
47-8		VI ひげを生やした人のいる壁			37.4 × 28.0	
47-9		VII 人間と壁			38.0 × 28.6	
47-10		VIII 壁に立ち小便			35.0 × 28.4	
47-11		IX 壁と旅人たち			36.6 × 27.8	
47-12		X 壁におしっこをする犬			37.4 × 27.4	
47-13		XI 壁と倒れている人			37.6 × 26.6	
47-14		XII 壁と通告			36.4 × 27.2	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横／高さ×幅×奥行き)cm	所蔵
47-15		XIII 老いさらばえた壁			35.5 × 25.5	
48	ラウル・デュフィ	電気の精(全10点)	1953刊	カラーリトグラフ・紙	各 101.2 × 63.1 (ペーパー)	群馬県立館林美術館
49	マリア・ルゴッシー	Dream	1995	サンドブラスト、合わせガラス、ブロンズ	29.5 × 38.9 × 18.8	群馬県立館林美術館
50	マリア・ルゴッシー	Power of Nature VI	1994-1996	サンドブラスト、合わせガラス	51.4 × 28.2 × 21.6	群馬県立館林美術館
51	柄澤齊	『樹々の家族』(全61点)より	2002-2003 (2004刷)	木版・紙	各 19.0 × 22.0	群馬県立館林美術館
51-1		予感				
51-2		射光				
51-3		塔				
51-4		影				
51-5		山河				
51-6		昔日				
51-7		何処へ				
51-8		会話				
51-9		夜想曲				
51-10		夢のなかへ				
51-11		羽毛				
51-12		回廊				
51-13		風の音				
51-14		約束				
51-15		待ち合わせ				
51-16		ディスタンス				
51-17		追憶				
51-18		脈				
51-19		メランコリア				
52	伊庭靖子	Untitled	2001	油彩・カンヴァス	180.0 × 180.0	群馬県立館林美術館 (大熊久子氏、馬淵悟氏寄贈)
53	山口啓介	花の心臓／炭素原子モデル	2003	顔料、樹脂、自家製樹脂、アクリル・カンヴァス	270.0 × 181.0	群馬県立館林美術館 寄託
54	山口啓介	花の心臓／被子植物の空気柱	2003	顔料、樹脂・カンヴァス	270.0 × 181.0	群馬県立館林美術館
第4章 まなざしは地域から地球環境へ ― 地面から空へ						
55	ニルス＝ウド	ナラの葉	1986	イルフォ・クローム	100.0 × 100.0	群馬県立館林美術館
56	久野和洋	地の風景・雨後	2006-2007	油彩・カンヴァス	145.5 × 112.0	群馬県立館林美術館 (作者寄贈)
57	鶴岡政男	地表	1971	油彩・カンヴァス	130.6 × 193.7	群馬県立館林美術館
58	西村盛雄	無題(4点組)	2004	蓮の葉、紙	185.0 × 185.0 (4点組として)	群馬県立館林美術館
59	西村盛雄	甘露の雨: マナ10	2002	木	65.0 × 160.0 × 207.0	群馬県立館林美術館
60	金田実生	冬の呼吸	2004	水溶性クレヨン、鉛筆・紙	155.0 × 174.0	群馬県立館林美術館
61	福田美蘭	大津絵―雷公	2014	アクリル・パネル	227.3 × 181.8	群馬県立館林美術館 (作者寄贈)

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横／高さ×幅×奥行き)cm	所蔵
62	菊地武彦	線の気韻1993-69	1993	岩絵の具、グワッシュ、黒鉛、鉄錆・紙	227.0 × 364.0	群馬県立館林美術館 (作者寄贈)
63	長重之	視床～青	1995	木、布、アクリル絵具	100.0 × 162.0 × 7.0	群馬県立館林美術館 寄託
64	長重之	視床	2010	水彩、コラーージュ・紙	92.5 × 116.0	群馬県立館林美術館 寄託
65	大岩オスカル	パン・デ・アスーカル	1995	アクリル・合板	120.0 × 180.0	群馬県立館林美術館 (作者寄贈)
66	戸谷成雄	景体のパロック	2002	木(間伐材)、灰、アクリル	8点組	群馬県立館林美術館
66-1					200.0 × 55.0 × 39.0	
66-2					200.0 × 73.0 × 61.0	
66-3					200.0 × 48.0 × 39.0	
66-4					200.0 × 69.0 × 52.0	
66-5					200.0 × 59.0 × 57.0	
66-6					200.0 × 64.0 × 32.0	
66-7					200.0 × 52.0 × 42.0	
66-8					200.0 × 73.0 × 54.0	
67	戸谷成雄	《景体のパロック》のためのドローイング	2002	鉛筆・紙	各 25.7 × 18.0	群馬県立館林美術館
68	小林孝亘	Cloud	1999	油彩・カンヴァス	238.0 × 350.0	群馬県立館林美術館
69	リチャード・ロング	二つのサハラ作品	1988	グラノリトグラフ・紙	62.9 × 93.0 60.1 × 89.9	群馬県立館林美術館
70	ニルス＝ウド	水の家／トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽(全8点)より	1982	ゼラチン・シルバープリント・紙	各 125.0 × 132.0	群馬県立館林美術館
70-1		(1)				
70-2		(2)				
70-3		(5)				
70-4		(6)				
71	トニー・クラッグ	グリーン・リーフ	1981	収集された緑色のプラスチックの破片141個・配置図に従って壁に貼り付け	107.0 × 200.0	群馬県立館林美術館
72	大森暁生	Swan in the frame (Type-A)	2006	檜、漆、彩色、ステンレス、アガチス、銅	70.0 × 130.0 × 67.0	群馬県立館林美術館 寄託

第5章 西洋の彫刻 — ポンポンの生きた時代とその後の彫刻家

73	フランソワ・ボンボン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0 × 18.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
74	フランソワ・ボンボン	ラクダ	1906-1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
75	フランソワ・ボンボン	風見鶏	1908-1932	銅板	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
76	フランソワ・ボンボン	ほろほろ鳥	1910-1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
77	フランソワ・ボンボン	牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
78	フランソワ・ボンボン	ヒグマ	1918-1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
79	フランソワ・ボンボン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
80	フランソワ・ボンボン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
81	フランソワ・ボンボン	シロクマ	1923-1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横／高さ×幅×奥行き)cm	所蔵
82	フランソワ・ボンボン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927-1928	ブロンズ	12.5 × 20.8 × 8.0	群馬県立館林美術館
83	フランソワ・ボンボン	大黒豹	1930-1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
84	フランソワ・ボンボン	パン	1923頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
85	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43.0 × 35.0 × 5.0	群馬県立館林美術館
86	シャナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
87	シャナ・オルロフ	魚／噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 40.5 × 13.3	群馬県立館林美術館
88	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8 × 38.6 × 19.2	群馬県立館林美術館
89	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
90	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ、糸	11.4 × 7.4 × 5.7	群馬県立館林美術館
91	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8 × 24.0 × 11.3	群馬県立館林美術館
92	ヘンリー・ムーア	後ろ足で立つ馬	1972	ブロンズ	20.0 × 9.0 × 7.0	群馬県立館林美術館
93	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7 × 5.9 × 7.6	群馬県立館林美術館
94	ヘンリー・ムーア	馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6 × 12.0 × 6.5	群馬県立館林美術館
95	ヘンリー・ムーア	小さな人体	1983	ブロンズ	14.2 × 6.0 × 5.4	群馬県立館林美術館
96	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951	スチール・ロッド	158.5 × 79.0 × 110.5	群馬県立館林美術館
97	イサム・ノグチ	リス	1984-1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
98	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
99	ブルーノ・ロメダ	純粹な大円	2003	ブロンズ	188.0 × 191.2 × 20.0	群馬県立館林美術館
100	ジム・ダイク	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
101	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
102	チェスラフ・ズベール	ターコイズ・フォレスト	1994	ブロンズ、ガラス	46.0 × 51.0 × 35.0	群馬県立館林美術館
103	アーブラハム＝ダーフィット・クリスティアン	清らかな人 XI	1982	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28.0	群馬県立館林美術館

資料動画

「館林美術館20年の記録」前編・後編 各約7分

◎印刷物・会場作成物

- ・ポスター B2
- ・チラシ A4
- ・ジュニアガイド A3四つ折り(仕上がりサイズA5)
- 執筆・編集:伊藤香織(群馬県立館林美術館)
- デザイン:中村遼一(美術出版社)
- 制作:美術出版社
- ・冊子「群馬県立館林美術館20年の記録」 B5(255×180mm)30頁
- 執筆・編集:神尾玲子(群馬県立館林美術館)
- デザイン:中村遼一(美術出版社)
- 制作:美術出版社
- ・パネル
- 挨拶1枚、章解説5枚、学芸員よもやま話7枚、会場配布用作品リスト
- ・動画
- 館林美術館20年の記録 前編・後編

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

- ・子ども新聞 週間 風っ子
- 5.23 第511号
- 「マイ展覧会にワクワク 館林美術館でワークショップ 紙でミニ展示室作り」*
- ・上毛新聞
- 5.5
- 「20年の歴史 収蔵作品で 県立館林美術館」
- 5.11
- 「20年の歩み 100作品で 館林美術館が記念展 自然と人間 切り口多彩」*
- 5.16
- 「画用紙で「ミニ展示室」親子ら11組制作」*
- 6.6
- 「館林美術館「水に浮かぶ島のように」中止の企画展をツルノスで配信」*
- ・新美術新聞
- 5月1・11日合併号
- 「水に浮かぶ島のように 群馬県立館林美術館の20年」*
- ・タウンぐんま
- 4.16
- 「水に浮かぶ島のように 群馬県立館林美術館の20年」(EVENT INFORMATION)
- ・東京新聞
- 「10月に開館20年迎える 県立館林美術館 歩み振り返る100点 県出身者の作品も展示」*

・読売新聞

4.23

「館林 水に浮かぶ島のように 群馬県立館林美術館の20年」〈イベントガイド〉

[定期刊行物]

・アートコレクターズ

5月号

「水に浮かぶ島のように 群馬県立館林美術館の20年」〈今月の展覧会ガイド〉

・raifu

4、5、6月号

「群馬県立館林美術館」〈Art&StageEvent〉

◎放送

[テレビ]

・群馬テレビ

5.7

ニュースeye8 (再放送:5.11ひるポチッ!)

「2021年 市町村観光便り 館林市」(館林市による観光便り)

[ラジオ]

・FM桐生

5.4

「企画展示「水に浮かぶ島のように 群馬県立館林美術館の20年」のお知らせ」〈ぐんまいいきき情報〉

・FM太郎

4.27

「企画展示「水に浮かぶ島のように 群馬県立館林美術館の20年」のお知らせ」〈ぐんまいいきき情報〉

[WEB]

・tsulunos

5.6

「水に浮かぶ島のように」

「館林美術館20年の記録 前編・後編」

◎関連事業

・学芸員による作品解説会

5.8、(5.26*中止)

・たてび☆キッズウォーク

(5.22*中止)

・たてび☆びじゅつ部「ミニ美術館を作ろう」

5.15、(5.29*中止)

・ポンポン・ツアー



展示室2



展示室4



展示室4



展示室1

2. 野口哲哉展 THIS IS NOT A SAMURAI

会期 令和3年7月3日(土)～9月5日(日)
会場 展示室2、3、4
主催 群馬県立館林美術館、朝日新聞社
協賛 野崎印刷紙業
観覧料 一般830(660)円 大高生410(320)円
()内は、20名以上の団体割引料金

鎧と人間をテーマに、現代性や人間性を問いかける美術作家、野口哲哉。多様な文化や感情が混ざり合うユニークな世界観は国内外の幅広い層に支持されている。一見ユーモラスに見える作品は、どこか物悲しい雰囲気を持っており、喜びや苦悩を抱えながら生きる人間の姿が鋭い視点で映し出されている。本展では、初期から新作までの代表作約180点で、野口哲哉の幅広い思考と精緻な作品に込められた優しさと悲しさ、人間への好奇心にあふれた世界を紹介した。

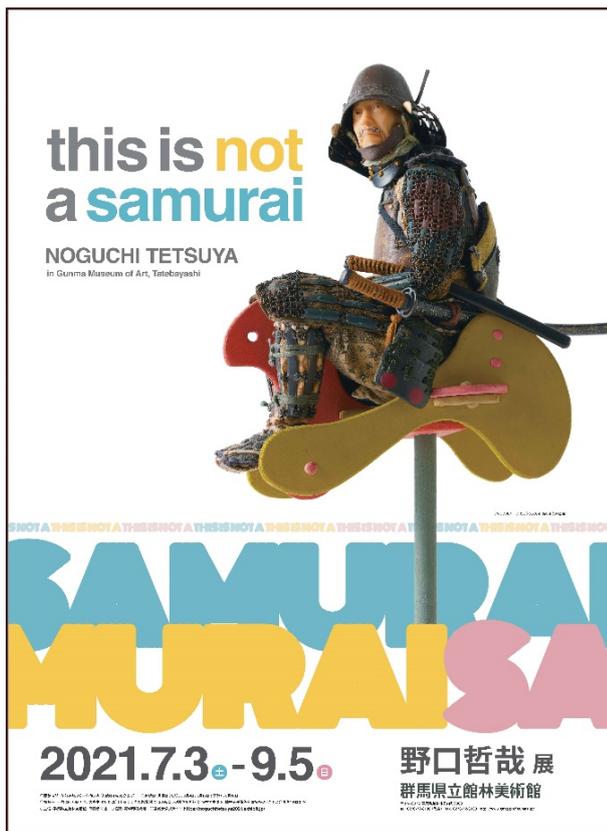
これまで彫刻や立体作品を多く展示してきた当館では、「再発見！ニッポンの立体」展(2016年)でも野口哲哉作品を数点出品して大きな反響を呼んでいた。作家もまた当館での展示に期待をよせていたことから今回大規模な巡回展への参加が実現した。

また、フランソワ・ポンポンを敬愛する野口哲哉は上述の展

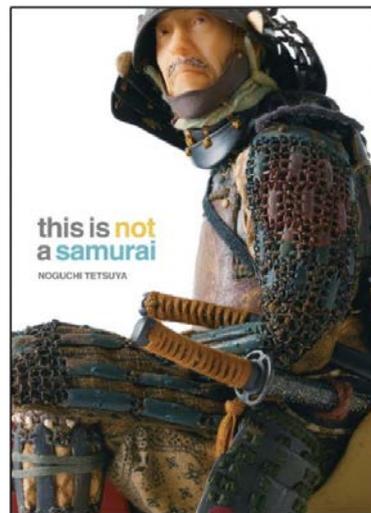
覧会に《フランソワ・ポンポン像》を制作して途中出品した。現在は個人蔵となる当作品を再び展示室1に特別出品し、講演会では、ポンポンの造形の素晴らしさを写実表現の視点から述べるなど、当館ならではの展開となった。

本展の構成は、「鎧の中へ」「仮想現実の中へ」「鎧を着て見る夢」「別世界旅行」「鎧を纏うひとびと」の5章からなる。展示デザインは作家の兄で建築家の野口一将氏が行った。最後のコーナーでは広々とした展示空間に作品が整然と並び、撮影可としたことで来館者に喜ばれた。

共同主催の朝日新聞社と協力し、当館のホームページやツイッターはもちろん、公式ブログやツイッター更新をお願いして頻りに宣伝を行ったほか、紙面では作品解説などを行った。講演会を複数回開催し、コロナ禍による人数制限を補うために、後日Tsulunosより動画配信を行った。講演会終了後のサイン会も好評であった。



ポスター



カタログ



ジュニアガイド

出品目録

第1章 IN THE ARMOUR ～鎧の中へ～

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横/高 所蔵 さ×幅×奥行き)
1	作者式拾四歳寿像	2004	紙本アクリル彩色	45.0×23.0
2	Heart shot	2019	ミクストメディア	H9.5
3	Dead sad head	2019	ミクストメディア	H24.5
4	黒漆塗鯰形兜	2013	ミクストメディア	H44.0
5	金箔押桃形兜	2009	ミクストメディア	H28.0
6	Phantom of a helmet	2011	ミクストメディア	H8.5
7	～Japanese armour variation 加賀具足之事～ 加賀具足図	2012	紙本アクリル彩色	27.0×42.0
8	～Japanese armour variation 加賀具足之事～ 浅葱糸素懸威 鉄錆塗十六間 筋兜 両頬 前立付	2012	ミクストメディア	H19.0
9	～Japanese armour variation 加賀具足之事～ 加賀具足用人物立像	2012	ミクストメディア	H33.0
10	SAMURAI WING	2013	ミクストメディア	H30.0
11	サムライ・スタンス ～武士のみちたる姿～	2013	ミクストメディア	H55.0
12	Red Man	2008	ミクストメディア	H24.0
13	The Hanged Man (吊るされた男)	2008	ミクストメディア	H21.7
14	lady beetle	2016	ミクストメディア	H13.0
15	小武人 肘掛様態像	2017	ミクストメディア	H7.3
16	Three Wise Monkeys	2015	ミクストメディア	各H5.0
17	Folding fan -扇-	2016	ミクストメディア	H10.0
18	リーフ	2017	ミクストメディア	H6.7
19	Small sweet passion ～南北朝の花～	2018	ミクストメディア	H64.5
20	THE DEER -鹿-	2016	ミクストメディア	H30.0
21	The gradation -河津伊豆守祐邦像-	2014	ミクストメディア	H53.0
22	Shoulder bag and Sneaker and SAMURAI	2013	ミクストメディア	H24.0
23	small & Giant	2012	ミクストメディア	Small:H9.5 Giant:H38.0
24	Traveler ～旅する侍～	2013	ミクストメディア	18.7×14.5×8.0
25	SAMURAI BOX	2013	ミクストメディア	H18.8
26	after the rain	2013	ミクストメディア	18.5×14.5×8.0

第2章 REAL IN UNREAL ～仮想現実の中で～

27	Talking Head	2010	ミクストメディア	H86.0	
28	Sleeping Head	2010	紙本アクリル彩色	60.0×91.0	
29	着甲武人自転車乗車出陣影	2008	紙本アクリル彩色	77.8×41.3	
30	ホバリングマン浮遊図	2008	紙本アクリル彩色	61.8×38.9	
31	Cat-walk 2020	2020	紙本アクリル彩色	50.5×39.5	高松市美術館
32	Cat-option1	2020	紙本アクリル彩色	50.4×23.5	
33	Cat-option2	2020	紙本アクリル彩色	50.4×23.5	
34	猫寿像	2008	紙本アクリル彩色	78.0×40.0	
35	猫鎧	2008	ミクストメディア	H27.5	
36	シャネル侍着甲座像	2009	ミクストメディア	H71.5	
37	紗鍊家伝来冑図 部分	2009	紙本アクリル彩色	各30.2×20.0	
38	シャネル紋入二枚胴具足図	2009	紙本アクリル彩色	30.0×21.2	
39	シャネル侍着甲座像	2009	紙本アクリル彩色	86.0×41.2	
40	Rabbit Type	2008	ミクストメディア	H45.0	
41	誰モ喋ッテハイケナイ	2008	ミクストメディア	H32.0	
42	Rocket Man -homage to miniature model-	2009	ミクストメディア	H13.0	
43	Rocket Man -homage to miniature model- パッケージ原画	2009	紙本アクリル彩色	24.5×16.3	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横/高 所蔵 さ×幅×奥行き)
44	THE EGG MAN -homage to miniature model-	2012	ミクストメディア	大:H6.5 小:各 H4.0
45	THE EGG MAN -homage to miniature model- パッケージ原画	2012	紙本アクリル彩色	16.5×16.5
46	Target Marks 1580 - 1610	2009	ミクストメディア	H96.0/H94.0
47	Thing of the operation 稼働する事 -Haramaki Style 紫糸威腹巻 筋兜鉢付-	2010	ミクストメディア	H31.0
48	WHO ARE YOU ～木下利房と仮定～	2020	ミクストメディア	H21.0
49	魅	2020	ミクストメディア	H13.0
50	風船追物語図	2017	アクリル・ボード	65.0×45.0
51	鞆鞆図	2019	アクリル・ボード	38.3×21.5
52	鞆鞆乗者図	2019	アクリル・ボード	38.2×21.0
53	武人幽宙図	2019	アクリル・ボード	35.0×25.5
54	Traveller	2019	アクリル・ボード	38.4×25.0
55	samurai armour and nice driving yellow	2014	ミクストメディア	H10.0
56	samurai armour and nice driving silver	2014	ミクストメディア	H10.0

第3章 ARMOURED DREAM ～鎧を着て見る夢～

57	Sleep Away	2015	ミクストメディア	H37.0
58	Package of Past man -armour Black "NIMAIDO" and Big "SASHIMONO" 17C style	2012	ミクストメディア、桐	16.2×9.4×5.2
59	Package of Past man -armour Red and Gold "NIMAIDO" and Big "MAETATE"	2012	ミクストメディア、桐	16.2×9.4×5.2
60	Package of Past man -armour iron "NIMAIDO" and Big "SASHIMONO"	2012	ミクストメディア、桐	16.2×9.4×5.2
61	二人の清正	2012	ミクストメディア、桐	22.5×22.5×4.5
62	Insectman -Golden armour and "WARABI" sashimono-	2012	ミクストメディア、桐	16.2×9.4×6.5
63	Insectman -"KAGA" armour and "FAN" sashimono-	2012	ミクストメディア、桐	16.2×9.4×6.5
64	Insectman -Armour colorful gusoku and "BUTTERFLY" sashimono-	2012	ミクストメディア、桐	16.2×9.4×6.5
65	BLACK MAN & HIS OPTION	2016	ミクストメディア、木	22.5×15.5
66	小人連帯像	2017	ミクストメディア	11.5×62.5
67	Samurai Wing 2014 (TypeA)	2014	ミクストメディア、桐	H12.5
68	samurai option -the Gold-	2015	ミクストメディア、木	23.8×13.2
69	samurai option -the Silver-	2015	ミクストメディア、木	23.8×13.2
70	samurai option -the Black-	2015	ミクストメディア、木	23.8×13.2
71	samurai option -the Brown-	2015	ミクストメディア、木	23.8×13.2
72	ビット・マン 鉢巻	2016	ミクストメディア	H7.3
73	ビット・マン 鹿角	2016	ミクストメディア	H7.3
74	ビット・マン 番瓦	2016	ミクストメディア	H7.3
75	ビット・マン 一之谷	2016	ミクストメディア	H7.3
76	ビット・マン 金鳥帽子	2016	ミクストメディア	H7.3
77	ビット・マン 貝	2016	ミクストメディア	H7.3
78	ビット・マン 熊耳	2016	ミクストメディア	H7.3
79	ビット・マン 金桃形	2018	ミクストメディア	H7.3
80	PERFECTION ARMOURED -具足-	2016	ミクストメディア、木	16.0×11.2

第4章 TRIP TO THE WORLD ～別世界旅行～

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横/高 所蔵 さ×幅×奥行き)
81	GREAT ARMOUR -大鎧-	2016	ミクストメディア、木	16.0×11.0
82	OLD MAN	2016	ミクストメディア、木	21.0×14.5
83	small sleep	2019	ミクストメディア	H7.5
84	騎乗昇空図 -SAMURAI AND BALLOON-	2019	アクリル・ボード	108.0×67.0
85	Pointed Helm & White Goose「限定9個のエディション」	2015	樹脂	Pointed Helm: H6.5 White Goose:H3.5
86	Pointed Helm	2015	アクリル絵具・紙、 布、木	6.5×5.5
87	The Goose	2015	アクリル絵具・紙、 布、木	3.7×3.7
88	Night Drive	2015	アクリル絵具・紙、 布、木	17.6×23.0
89	The Yellow Coat	2015	ミクストメディア	H29.0
90	The Night Watch	2015	アクリル絵具・紙、 布、木	18.3×19.8
91	Square and Triangle	2015	ミクストメディア	各H10.5
92	Big Man	2015	アクリル絵具・紙、 布、木	10.0×11.5
93	断簡〈Fragment〉	2015	アクリル絵具・紙、 布、木	11.3×12.0
94	鹿角〈antler〉	2015	アクリル絵具・紙、 布、木	10.0×7.5
95	紳士〈Gentleman〉	2015	アクリル絵具・紙、 布、木	9.5×6.3
96	双子〈Gemini〉	2015	アクリル絵具・紙、 布、木	9.8×8.5
97	Iron King	2015	ミクストメディア	H32.5
98	Lunch Viking	2015	アクリル絵具・紙、 布、木	10.0×20.7
99	Crown Helm	2015	ミクストメディア	H13.5
100	Ring Helm	2015	ミクストメディア	H15.0
101	Phantom of Helmet series "Pointed Helm and White Goose"	2015	ミクストメディア	Helm H36.0/ White Goose H14.0
102	Feather Helm	2015	ミクストメディア	H17.0
103	Samurai Wing 2015(蛾)	2015	ミクストメディア、木	H12.5
104	Samurai Wing 2015(蜻蛉)	2015	ミクストメディア、木	H13.0
105	The Ghost	2015	アクリル絵具・紙、 布、木	24.6×12.0
106	Phantom of Helmet series "Iron Face"	2015	ミクストメディア	H17.5
107	別世界旅行	2015	アクリル絵具・紙、布	20.5×11.5
108	AD1565 ～音楽の寓意～	2017	アクリル・ボード、木	11.5×9.5
109	AD1620 ～筋兜を被った男～	2017	アクリル・ボード、木	9.8×8.8
110	AD1660 ～日本の兜を被ったレンブラント～	2017	アクリル・ボード、木	13.5×10.0
111	AD1230 ～紫裾濃白妻取の鎧と雀～	2017	アクリル・ボード、木	14.0×11.0
112	AD1430 ～藍革肩赤威の鎧に同毛の兜～	2017	アクリル・ボード、木	14.0×10.0
113	AD1450 ～朱波紋入綾包の胴丸～	2017	アクリル・ボード、木	14.0×9.5
114	AD1490 ～色威の腹巻とフランドルの景色～	2017	アクリル・ボード、木	15.0×10.0
115	AD1530 ～鹿角の立物と水玉紋入りのカフタン～	2017	アクリル・ボード、木	14.2×8.0
116	AD1555 ～三日月の兜と釣鐘草～	2017	アクリル・ボード、木	13.5×10.5
117	AD1637 ～大波の前立兜～	2017	アクリル・ボード、木	13.0×10.0

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横/高さ×幅×奥行き)	所蔵
121	AD1400 ～地学の寓意～	2017	アクリル・ボード	19.5×6.5	
122	AD1510 ～美食の寓意～	2017	アクリル・ボード	11.5×9.0	
123	AD1585 ～赤母衣と空～	2017	アクリル・ボード、木	13.7×11.5	
124	「Helm Pinakothek -ヘルム ピナコテーク-」 ・細巻貝の兜を被った男	2017	アクリル・ボード、木	11.0×5.7	
125	「Helm Pinakothek -ヘルム ピナコテーク-」 ・平貝の兜を被った男	2017	アクリル・ボード、木	10.0×5.5	
126	「Helm Pinakothek -ヘルム ピナコテーク-」 ・蟹の兜を被った男	2017	アクリル・ボード、木	10.5×5.5	
127	「Helm Pinakothek -ヘルム ピナコテーク-」 ・巻貝の兜を被った男	2017	アクリル・ボード、木	10.0×5.0	
128	「Helm Pinakothek -ヘルム ピナコテーク-」 ・風船の兜を被った男	2017	アクリル・ボード、木	13.3×5.8	
129	21st Century Light Series ～Classic Domaru～	2020	アクリル・ボード	18.2×15.0	
130	21st Century Light Series ～Black Armour～	2020	アクリル・ボード	12.9×9.1	
131	21st Century Light Series ～Red Armour～	2021	アクリル・ボード	13.9×9.0	
132	21st Century Light Series ～The Tap～	2020	アクリル・ボード	9.2×13.8	高松市美術館
133	21st Century Light Series ～The Slide～	2020	アクリル・ボード	12.9×9.0	
134	21st Century Light Series ～Yellow-green Armour～	2021	アクリル・ボード	14.0×14.0	
135	PANDA IS COMING	2020	アクリル・ボード	52.5×36.8	
136	THE SWING	2020	アクリル・ボード	52.5×30.0	

第5章 THIS IS NOT A SAMURAI ～鎧を纏うひとびと～

137	cheap wings	2019	ミクストメディア	H60.5	秋水美術館
138	白虎	2010	ミクストメディア	H35.0	
139	Thing of the operation 稼働する事 - Engineering Armour 工学の鎧	2010	ミクストメディア	H31.5	
140	Think of Operation -桃山の鎧-	2011	ミクストメディア	H22.0	
141	Think of Operation -工学の鎧-	2011	ミクストメディア	H22.0	
142	THE RED MAN 2013	2013	ミクストメディア	H31.0	
143	CLEVER BIRD	2016	ミクストメディア	H45.7	
144	Avatar 1 -現身-	2016	ミクストメディア	H29.3	
145	Avatar 2 -現身-	2016	ミクストメディア	H30.0	
146	AD16末 ～唐冠の兜～	2017	ミクストメディア	H22.0	
147	AD17初 ～海洋生物の兜～	2017	ミクストメディア	H23.0	
148	Strawberry head and Black bottom	2019	ミクストメディア	H28.0	
149	POCKET	2017	ミクストメディア	H29.5	
150	TRANSMISSION ～ジャーマン・スペシャル～	2017	ミクストメディア	H74.0	
151	ARMOUR STYLE ～備前風～	2017	ミクストメディア	H24.8	
152	IRON ARMOUR ～雑賀風～	2018	ミクストメディア	H37.5	
153	Action Man 無形之弓	2016	ミクストメディア	H9.3	
154	Action Man 大地讃頌	2016	ミクストメディア	H9.8	
155	Action Man 太陽賛美	2016	ミクストメディア	H11.5	
156	Action Man 銅之身体	2016	ミクストメディア	H10.5	
157	Action Man 泰然自若 -割蛤-	2016	ミクストメディア	H11.5	
158	HUMAN RACE	2018	ミクストメディア	H26.5	
159	DOG HOOD	2016	ミクストメディア	H47.0	
160	Un samourai vient	2012	ミクストメディア	H31.0	
161	Armoured Dream	2015	ミクストメディア	H56.0	
162	Little man sleeping	2019	ミクストメディア	H15.5	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横/高さ×幅×奥行き)	所蔵
165	deep sleep	2016	ミクストメディア	13.5×35.0×18.5	
166	STRIPE	2018	ミクストメディア	H18.0	
167	Clumsy heart	2018	ミクストメディア	H74.0	
168	black armour & Fronteer	2019	ミクストメディア	H34.0	
169	Tiger tail	2019	ミクストメディア	H32.5	秋水美術館
170	THE MET	2020	ミクストメディア	H42.5	
171	Grand Helm & Cheap Japanese	2019	ミクストメディア	H10.5	
172	ONE'S SOME LIE	2019	ミクストメディア	H42.0	
173	BIAS	2019	ミクストメディア	H45.0	
174	WOODEN HORSE	2020	ミクストメディア	H22.0	高松市美術館
175	PRISM	2019	アクリル・ボード	51.5×32.5	
176	Mask -The iron-	2019	アクリル・ボード	15.0×21.0	
177	Mask -The red-	2019	アクリル・ボード	21.0×30.0	
178	FACE MASK	2020	アクリル・ボード	32.0×24.0	
179	knave of heart	2020	アクリル・ボード	41.0×20.4	
180	Convex mirror 凸面鏡の画像	2020	アクリル・ボード	φ10.0	

特別出品(展示室1)

181	フランソワ・ポンボン像	2016	ミクストメディア	9.0×3.5×2.5	
-----	-------------	------	----------	-------------	--

◎印刷物・会場作成物

・図録A4判変型(30×21.5cm)

内容:

ごあいさつ

はじめに(野口哲哉)

わたしたちの夢は彷徨う(ジョン・ウィー・トム)

図版

Chapter1 鎧の中へ

Chapter2 仮想現実の中で

Chapter3 鎧を着て見る夢

Chapter4 別世界旅行

鎧を着た隣人

関連年表

作品のサイズについて

Chapter5 鎧を纏うひとびと

野口哲哉とは何か(牧野裕二)

作品リスト

作家略歴

企画・構成

野口哲哉

牧野裕二(高松市美術館)

斎藤郁夫、河野道孝(山口県立美術館)

神尾玲子(群馬県立館林美術館)

神谷剛生(刈谷市美術館)

玉屋喜崇、沖田貴一、阿達佳子、中野佐恵子(ギャラリー玉英)

朝日新聞社

グラフィック・デザイン:上原正彦、TITO

会場デザイン:野口一将(ザ・ドキュメンカンパニー)

デザイン協力:塩崎デザイン株式会社

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド 蛇腹三つ折り 仕上がりサイズ18.2×12.8cm(6頁)

デザイン:上原正彦(ヌードウェア)

撮影:富森浩幸

印刷:上毎印刷株式会社

・パネル

挨拶和英4枚、章解説5枚、作家による作品解説23枚、

作家略歴1枚、関連年譜1枚

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・朝日ぐんま

7.16「野口哲哉展—THIS IS NOT A SAMURAI 館林美術館 自分と違う姿の中にも、人間が存在している」*

・朝日新聞

2.22

「野口哲哉展」

6.29

「野口哲哉展7月3日に群馬で開幕」(朝日新聞社のお知らせ)

7.8

「鎧まとう姿に 人間を見る 野口哲哉さん(41)」*(ひと)

7.17

「甲冑を現代人に重ねる美術作家」

8.12

「野口哲哉展 this is not a samurai」BIAS」

8.14

「野口哲哉展 this is not a samurai」Clumsy heart」

8.27

「野口哲哉展 アートの哲学 動画でたっぷり」(Arts&Culture)

8.31

「野口哲哉展 this is not a samurai」Cat-walk 2020」

・伊勢新聞

9.3

「群馬・館林で野口哲哉展 侍ではなく人間見つめて」*(美術話題)

・茨城新聞

8.19

「群馬県立館林美術館 野口哲哉展 侍ではなく人間見つめて」*(文化)

・岩手日報

8.25

「群馬で野口哲哉さん 彫刻・絵画展 よろい姿の「人間」見つめて 時空を超えた普遍性」*

・熊本日日新聞

9.3

「群馬で野口哲哉展 無防備な姿リアルに 鎧の中の人間を見つめて」*(文化)

・埼玉新聞

8.24

「群馬・館林で野口哲哉展 侍ではなく人間見つめて」*(文芸)

・山陰中央新報

8.31

「侍ではなく人間を見つめて 野口哲哉の彫刻や絵画展」*(美術話題)

・下野新聞	アル)*
8.21	・南日本新聞
「群馬・館林美術館 野口哲哉展 侍ではなく人見つめる 彫刻や絵画 180作品」*〈文化〉	8.19
・上毛新聞	「群馬・野口哲哉展 虚構の世界 彫刻、絵で 甲冑まとう現代人たち」*
7.4	〔定期刊行物〕
「現代美術作家・野口さん 代表作など180点 館林美術館で個展」	・アートコレクターズ
7.29	9月号
「オリジナルかぶと オリジナルかぶとを作ろう」〈先どりピックアップ！〉	「野口哲哉」
8.5	・月刊美術
「県立館林美術館「野口哲哉展 THIS IS NOT A SAMURAI」より㊤	9月号
《WOODEN HORSE》》*〈アートを愉しむ〉(学芸員 神尾玲子)	「野口哲哉 Tetsuya NOGUCHI「侍」から「鎧をまとう人」へ」*
8.12	・ぴあMOOK 美術展ぴあ 2021
「県立館林美術館「野口哲哉展 THIS IS NOT A SAMURAI」より㊤	2021.1.30
《Insectman-Golden armour and “WARABI” sashimono-》》*〈アートを 愉しむ〉(学芸員 神尾玲子)	「野口哲哉展-THIS IS A SAMURAI」(2021 おすすめ美術展ガイド 現 代アートほか)
8.19	・raifu
「県立館林美術館「野口哲哉展 THIS IS NOT A SAMURAI」より㊤	7、8、9月号
《AD1637～大波の前立兜～》》*〈アートを愉しむ〉(学芸員 神尾玲子)	「群馬県立館林美術館」(Art&StageEvent)
・千葉日報	・タウンぐんま
8.25	7.2
「群馬・館林で野口哲哉展 侍ではなく人間見つめて」*〈美術〉	「野口哲哉展 THIS IS NOT A SAMURAI」〈休日はおまかせ！ イベント PICK UP〉
・東奥日報	
8.26	〔WEB〕
「群馬・館林で野口哲哉展 侍ではなく人間を見つめて」*〈文化〉	・アイエム「インターネットミュージアム」
・東京新聞	2021.7.15
8.30	「野口哲哉 THIS IS NOT A SAMURAI」
「野口哲哉さんの180作品展示 よろいかぶとの人物像、絵画… 時代を 超え、表情さまざま」*	・朝日新聞社
・東都新聞	2021.8.27-3-29
8.28	「野口哲哉展 オンラインギャラリートツアー」
「野口哲哉展 鎧の中の人間を見つめる」*〈美術〉	野口哲哉、神尾玲子(群馬県立館林美術館学芸員)、木村尚貴(朝日 新聞社)
・徳島新聞	・ウェブ版「美術手帖」
9.6	2021.8.10
「群馬・館林で野口哲哉展 侍ではなく人間見つめて」*〈美術話題〉	「人間」に迫るドキュメンタリーとして鎧兜をつくる。野口哲哉インタビュー
・新潟日報	
8.21	◎関連事業
「群馬・館林で野口哲哉展 鎧の中 儂く輝く人間」*〈文化〉	・記念対談 野口哲哉展 館林会場の開幕によせて
・日本海新聞	7.28- TsulunozよりYou Tube配信
8.26	出演:野口哲哉、野口一将、玉屋喜崇、神尾玲子
「群馬・館林で野口哲哉展 侍ではなく人間見つめて」*	・講演会「野口哲哉、そのユニークな世界観を訪ねて」
・北海道新聞(夕刊)	Vol.1 7.3 Vol.2 7.11 ※開催後に編集し、You Tube で配信
8.27	講師:野口哲哉 聞き手:玉屋喜崇、神尾玲子ほか
「群馬・館林で野口哲哉展 現代を問う 甲冑姿 虚構の中に人間性のリ	

・学芸員による作品解説会

8.8、8.25

・たてび☆キッズウォーク

7.24、8.28

・ワークショップ

8.22

「オリジナルかぶとを作ろう」

協力:群馬県立女子大学 奥西ゼミ

※新型コロナウイルス感染拡大により、学生が研修室で創作キットを配布し、自宅での制作をお願いした。



展示室4



展示室3



展示室2



展示室2

3. たてびレポートー開館20周年を楽しむ展覧会ー

会期 令和3年9月18日(土)～11月7日(日)
 会場 展示室1、2、3、4
 主催 群馬県立館林美術館
 協力 館林市日本遺産プロジェクト、ミヅマアートギャラリー
 観覧料 一般620(490)円 大高生310(240)円
 ()内は、20名以上の団体割引料金

当館は2021年に開館20周年を迎えたことから、これを記念した本展では、コレクションによって美術館のこれまでとこれからを考えるとともに、アートを楽しむ展示を行った。

本展は4つの章によって構成し、第1章では収蔵作品と寄託作品による当館のテーマである「自然と人間とのかかわり」から、「生き物」、「人」、「植物」のモチーフに分けて作品の紹介を行った。第2章では、本年度に新収蔵となった群馬県ゆかりの作家である山口晃の《深山寺参詣圖》を収蔵後初披露する機会として、特集展示を行った。収蔵作品に加え、2013-14年に当館で開催した個展のための新作で、上毛カルタを元にした《偽史和人伝中茸取物語》も作家から借用して展示、あわせて著作やポスター等の資料も紹介した。第3章では「群馬県立館林美術館アーカイブ」として、当館がこれまで開催した展覧会のポスターを全て掲示するとともに、カタログやジュニアガイドなどの主な印刷物も展示し、これまでの活動を振り返った。第4章では、参加型作品を制作する作家2名による、地域

や美術館をテーマとした大がかりなインスタレーション作品の展示を行った。安部泰輔は、美術館の近くに住み込みで滞在し、会期中休まず会場内で公開制作を行った。1日10名まで参加できるワークショップでは、参加者が描いた絵から、安部がぬいぐるみの作品を制作して展示、259件の参加があった。館林市の日本遺産プロジェクト(教育委員会文化振興課)と連携し、7月に追加認定となった館林紬を素材に用いたワークショップ活動も行った。また、館林美術館をイメージしたキャラクターをぬいぐるみのバッジにしたり、フランソワ・ポンポンの作品をモチーフに、石に絵を描いた作品を展示室内外に展示した。星素子は、会期前(5月～9月)に美術館と館林市日本遺産プロジェクトとの連携で作品素材のバトン(紙ロール芯に里沼などのテーマをイメージした漢字1文字と理由)を市施設、学校、当館内で集める地域活動を行い、参加型インスタレーション作品を制作した。会期中もバトン収集を行い、約1800本のバトンで参加型作品に手を加え、最終日まで展示をアップデートした。二人の展示活動では、地域との連携活動が大変重要な役割を果たした。

他にも周年を楽しむ雰囲気が高めることを目指し、Twitterを活用した企画を実施するなど、本展はこれまで当館ではあまり行っていなかった試みにも挑戦した。

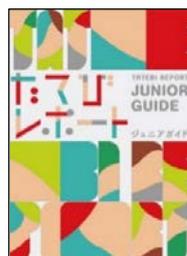
地域と連携した展示活動やSNSの活用など、20年を経た当館にとって、これからの活動の幅を広げる機会となった。



ポスター



記録集



ジュニアガイド

出品目録

第1章 テーマで辿る、美術館のこれまで

1-1 生き物の表現

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横／高さ×幅×奥行き)cm	所蔵
1	フランソワ・ボンボン	シロクマ	1923-1933	ブロンズ	12.0 × 23.5 × 5.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ボンボン	ボストン・テリヤ「トーイ」	1930-1932	石膏	18.8 × 20.2 × 10.0	群馬県立館林美術館
3	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8 × 24.0 × 11.3	群馬県立館林美術館
4	ヘンリー・ムーア	後ろ足で立つ馬	1972	ブロンズ	20.0 × 9.0 × 7.0	群馬県立館林美術館
5	ヘンリー・ムーア	馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6 × 12.0 × 6.5	群馬県立館林美術館
	ヘンリー・ムーア	動物園の動物たち	1981-1982	エッチング・紙		
6		サイ	(1983刊)	エッチング・紙	21.6 × 27.9	群馬県立館林美術館
7		ラクダ		エッチング・紙	21.2 × 27.8	群馬県立館林美術館
8		ハゲタカ		エッチング・紙	21.2 × 27.8	群馬県立館林美術館
9		野牛		エッチング・紙	21.2 × 27.6	群馬県立館林美術館
10		豹		エッチング、アクアチント・紙	25.0 × 19.5	群馬県立館林美術館
11		シマウマ		エッチング・紙	21.2 × 27.8	群馬県立館林美術館
12		ジャガー		エッチング、アクアチント・紙	21.3 × 27.8	群馬県立館林美術館
13		レイヨウ		エッチング・紙	21.2 × 27.8	群馬県立館林美術館
14		トラ		エッチング・紙	19.2 × 24.0	群馬県立館林美術館
	パブロ・ピカソ	ビュフォン『博物誌』	1936-1942 (1942刊)	アクアチント、エッチング、 ドライポイント・紙		
15		馬			27.0 × 21.0	群馬県立館林美術館
16		ロバ			28.8 × 23.5	群馬県立館林美術館
17		牛			28.0 × 21.8	群馬県立館林美術館
18		闘牛 目録:雄牛(スペインの雄牛)、 「ピカソ展(2019)」:牡牛(スペインの 牡牛)			27.0 × 23.0	群馬県立館林美術館
19		雄羊			27.0 × 22.0	群馬県立館林美術館
20		猫			26.8 × 21.6	群馬県立館林美術館
21		犬			29.6 × 24.0	群馬県立館林美術館
22		山羊			27.6 × 21.2	群馬県立館林美術館
23		鹿			27.5 × 21.0	群馬県立館林美術館
24		狼			34.4 × 25.0	群馬県立館林美術館
25		ライオン 目録、「ピカソ展(2019)」: ライオン(牝ライオン)			27.2 × 21.2	群馬県立館林美術館
26		猿			28.0 × 22.4	群馬県立館林美術館
27		シロフシ			27.2 × 22.6	群馬県立館林美術館
28		ハゲタカ			27.4 × 21.6	群馬県立館林美術館
29		ハイトカ			29.2 × 22.0	群馬県立館林美術館
30		ダチョウ			27.0 × 21.8	群馬県立館林美術館
31		雄鶏			26.8 × 21.0	群馬県立館林美術館
32		母雌鳥			31.0 × 25.6	群馬県立館林美術館
33		七面鳥			28.0 × 23.0	群馬県立館林美術館
34		鳩			27.0 × 21.5	群馬県立館林美術館
35		ゴシキヒワ			33.0 × 27.0	群馬県立館林美術館
36		蜜蜂			36.5 × 28.0	群馬県立館林美術館
37		蝶			27.6 × 21.5	群馬県立館林美術館
38		雀蜂			29.4 × 23.0	群馬県立館林美術館
39		伊勢エビ			27.8 × 20.8	群馬県立館林美術館
40		トンボ			26.8 × 21.0	群馬県立館林美術館
41		蜘蛛			27.2 × 21.2	群馬県立館林美術館
42		トカゲ			28.0 × 21.4	群馬県立館林美術館
43		ヒキガエル			28.0 × 22.2	群馬県立館林美術館
44		バッタ			27.2 × 21.6	群馬県立館林美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横／高さ×幅×奥行き)cm	所蔵
45		カエル			27.8 × 21.4	群馬県立館林美術館
46	小室翠雲	蒼松壽古図・梅花双喜図	1930	絹本着色・二曲一 双屏風	116.7 × 168.0	群馬県立館林美術館
47	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
48	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
49	イサム・ノグチ	リス	1984-1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
50	スタニスラフ・リベンス キーヤロスラヴァ・プリ フトヴァ	鳥	1997	ガラス	72.0 × 123.0 × 25.0	群馬県立館林美術館
51	三輪途道	猫の抜け道	2005	漆、膠、顔料・檜	25.0 × 68.0 × 14.0	群馬県立館林美術館 寄託
	三輪途道	発電所のなめくじ	2005	漆、膠、白土、顔 料・檜	5点組	
52					4.0 × 6.0 × 14.0	群馬県立館林美術館 寄託
53					5.0 × 8.0 × 20.0	群馬県立館林美術館 寄託
54					6.0 × 9.0 × 28.0	群馬県立館林美術館 寄託
55					13.0 × 10.0 × 18.0	群馬県立館林美術館 寄託
56					13.0 × 10.0 × 18.0	群馬県立館林美術館 寄託
57	エマニュエル・コラン	ジュゴン	1991	着色・樺、ポプラ	30.0 × 140.0 × 55.0	群馬県立館林美術館
58	エマニュエル・コラン	大きなアザラシ	1991	着色・樺、ポプラ、 ブナ	38.0 × 180.0 × 90.0	群馬県立館林美術館
	ラウル・デュフィ	アポリネール『動物詩集あるいはオル フェウスのお供たち』	1911刊	木版・紙		
59		オルフェウス			25.6 × 20.5	群馬県立館林美術館
60		亀			20.3 × 19.3	群馬県立館林美術館
61		蛇			20.4 × 19.4	群馬県立館林美術館
62		猫			20.6 × 19.3	群馬県立館林美術館
63		野ウサギ			20.3 × 19.4	群馬県立館林美術館
64		ラクダ			20.4 × 19.4	群馬県立館林美術館
65		ハツカネズミ			21.0 × 19.2	群馬県立館林美術館
66		象			21.0 × 19.2	群馬県立館林美術館
67		毛虫			20.4 × 19.4	群馬県立館林美術館
68		ノミ			20.4 × 19.5	群馬県立館林美術館
69		イルカ			20.4 × 19.5	群馬県立館林美術館
70		タコ			20.2 × 19.4	群馬県立館林美術館
71		クラゲ			20.3 × 19.4	群馬県立館林美術館
72		ザリガニ			20.2 × 19.4	群馬県立館林美術館
73		白鳩			20.3 × 19.4	群馬県立館林美術館
					20.4 × 19.0	群馬県立館林美術館
75		ミミズク			20.4 × 19.0	群馬県立館林美術館
					20.4 × 19.4	群馬県立館林美術館
					20.8 × 19.4	群馬県立館林美術館
79	渡辺香奈	The River	1951 2012	スチール・ロッド 油彩・カンヴァス	79.0 × 110.5 × 158.5 194.0 × 1042.4 (8点組)	群馬県立館林美術館 寄託
80	KYNE	Untitled	2020	アクリル、ABSレジン	32.0 × 80.0 × 52.5	群馬県立館林美術館 寄託
81	ロッカクアヤコ	Untitled	2017	アクリル・カンヴァス	80.0 × 80.0	群馬県立館林美術館 寄託

1-2 人について

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横/高さ×幅×奥行き) cm	所蔵
82	ロッカクアヤコ	Untitled	2017	アクリル・カンヴァス	140.0 × 100.0	群馬県立館林美術館 寄託
83	ロッカクアヤコ	Untitled	2019	アクリル・カンヴァス	100.0 × 100.0	群馬県立館林美術館 寄託
84	森田恒友	漁村図	1919-1920	紙本墨画、金・軸	94.5 × 90.0	群馬県立館林美術館 寄託
85	酒井三良	梨畑	1923	絹本着色・軸	82.5 × 101.2	群馬県立館林美術館
86	鶴岡政男	素描(3)	1950年代	インク・紙	13.8 × 18.2	群馬県立館林美術館
87	鶴岡政男	素描(4)	1950年代	インク・紙	19.0 × 26.0	群馬県立館林美術館
88	鶴岡政男	素描(5)	1950年代	インク・紙	35.7 × 26.3	群馬県立館林美術館
89	清宮質文	葦	1958	木版・紙	21.6 × 18.7	群馬県立館林美術館 寄託
90	清宮質文	九月の海	1970	木版・紙	13.4 × 23.4	群馬県立館林美術館 寄託
91	清宮質文	歳月	1970	木版・紙	18.3 × 25.8	群馬県立館林美術館 寄託
92	清宮質文	入日(版画集『暗い夕日』7)	1972	木版・紙	16.2 × 25.8	群馬県立館林美術館 寄託
93	清宮質文	秋の夕日	1976	木版・紙	16.0 × 14.3	群馬県立館林美術館 寄託
94	ボスコ・ソディ	立方体	2017	粘土	50.0 × 50.0 × 50.0	群馬県立館林美術館
95	ボスコ・ソディ	無題(1)~(6)	2017-2018	水彩・紙	29.0 × 20.5	群馬県立館林美術館

1-3 自然の表現を巡って

96	ビエール・アレシンス キー	手探りで	1974	エッチング、アクア チント・和紙	184.8 × 284.5	群馬県立館林美術館
97	カール・プロスフェルト	ヤグルマギクの花	1920年代 (2005年プ リント)	ゼラチン・シル バー・プリント	30.0 × 20.0	群馬県立館林美術館
98	カール・プロスフェルト	ヒエンソウー乾いた葉の一部	1920年代 (2003年プ リント)	ゼラチン・シル バー・プリント	30.0 × 20.0	群馬県立館林美術館
99	カール・プロスフェルト	オンダール渦巻状の若い複葉	1920年代 (2001年プ リント)	ゼラチン・シル バー・プリント	30.0 × 20.0	群馬県立館林美術館
100	カール・プロスフェルト	マメー若い羽状複葉	1920年代 (2000年プ リント)	ゼラチン・シル バー・プリント	30.0 × 20.0	群馬県立館林美術館
101	カール・プロスフェルト	分枝	1920年代 (2001年プ リント)	ゼラチン・シル バー・プリント	30.0 × 20.0	群馬県立館林美術館
102	カール・プロスフェルト	オオムギ	1920年代 (2003年プ リント)	ゼラチン・シル バー・プリント	30.0 × 20.0	群馬県立館林美術館
103	カール・プロスフェルト	ヒヨスの萼	1920年代 (2001年プ リント)	ゼラチン・シル バー・プリント	30.0 × 20.0	群馬県立館林美術館
104	カール・プロスフェルト	コエルビニアの種子	1920年代 (2000年プ リント)	ゼラチン・シル バー・プリント	30.0 × 20.0	群馬県立館林美術館
105	カール・プロスフェルト	ニワトコ	1920年代 (2005年プ リント)	ゼラチン・シル バー・プリント	30.0 × 20.0	群馬県立館林美術館
106	カール・プロスフェルト	マツムシソウの種子	1920年代 (2000年プ リント)	ゼラチン・シル バー・プリント	30.0 × 20.0	群馬県立館林美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横/高さ×幅×奥行き)cm	所蔵
107	伊庭靖子	Untitled	1995	油彩・カンヴァス	162.0 × 123.0	群馬県立館林美術館
108	伊庭靖子	Untitled	1995	油彩・カンヴァス	162.0 × 123.0	群馬県立館林美術館
109	松江泰治	YEMEN 1991 #15	1997	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	44.9 × 55.7	群馬県立館林美術館
110	松江泰治	MOROCCO 1997 #9	1993	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	44.7 × 55.8	群馬県立館林美術館
111	松江泰治	KOREA 1999 #5	1999	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	44.9 × 55.7	群馬県立館林美術館
112	松江泰治	TEXAS 1999 #61	1999	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	44.7 × 55.7	群馬県立館林美術館
113	松江泰治	ITALY 1999 #13	1999	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	44.7 × 55.7	群馬県立館林美術館
114	松江泰治	ALTIPLANO 2000 #19	2000	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	44.9 × 55.7	群馬県立館林美術館
115	松江泰治	ALTIPLANO 2000 #20	2000	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	44.7 × 55.7	群馬県立館林美術館
116	松江泰治	ARGENTINA 2000 #27	2000	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	44.7 × 55.7	群馬県立館林美術館
117	松江泰治	MONTANA 2000 #93	2000	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	44.7 × 55.7	群馬県立館林美術館
118	松江泰治	NEW BRUNSWICK 2002 #54	2002	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	44.7 × 58.0	群馬県立館林美術館
119	松江泰治	PRINCE EDWARD ISLAND 2002 #5 2002		ゼラチン・シルバー・プリント・紙	44.8 × 55.8	群馬県立館林美術館
120	松江泰治	MISSOURI 2002 #63	2002	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	44.8 × 55.8	群馬県立館林美術館
121	小瀬村真美	四季草花図	2004-2006	映像	9分	群馬県立館林美術館 (友の会寄贈)

第2章 コレクションに加わった山口晃《深山寺参詣圖》

122	山口晃	深山寺参詣圖	1994	油彩・カンヴァス	170.0 × 210.0	群馬県立館林美術館
123	山口晃	偽史和人伝中茸取物語	2013	ペン、水彩・紙、かるた		個人蔵
124	山口晃	東京2020公式アートポスター ポスター[Tokyo 2020 Paralympic Games]「馬からやヲ射る」	2020	印刷・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
125	山口晃	《ショッピングモール》ポスター	2015	印刷・紙	51.5 × 72.8	群馬県立館林美術館

資料

1		『山口晃作品集』 東京大学出版会、2004年				群馬県立館林美術館
2		『アートで候。会田誠 山口晃展』図録 上野の森美術館、2007年				群馬県立館林美術館
3		『山口晃展 画業ほぼ総覧—お絵描きから現在まで』図録 群馬県立館林美術館、2014年				群馬県立館林美術館
4		『山口晃大画面作品集』 青幻舎、2012年				群馬県立館林美術館
5		『山口晃展 今度は武者絵だ!』図録 練馬区立美術館、2007年				群馬県立館林美術館
6		『山口晃「さて、大山崎」』図録 アサヒビール大山崎山荘美術館、光村推古書院、2009年				群馬県立館林美術館
7		『山口晃 前に下がる 下を仰ぐ』図録 水戸芸術館現代美術ギャラリー、青幻舎、2015年				群馬県立館林美術館
8		『馬鑑 山口晃展』図録 馬の博物館、2016年				群馬県立館林美術館
9		『山口晃道後百景 道後エトランゼマップ ごく私的迷所ガイド』道後アート実行委員会、2016年				群馬県立館林美術館
10	山口晃	『ヘンな日本美術史』 祥伝社、2012年				群馬県立館林美術館
11	澁澤龍彦(著) 山口晃(画)	『ホラー・ドラコニア少女小説集成〔弐〕「菊燭台」』 平凡社、2003年				群馬県立館林美術館
12	澁澤龍彦(著) 山口晃(画)	『ホラー・ドラコニア少女小説集成〔伍〕「猿園」』 平凡社、2004年				群馬県立館林美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横/高さ×幅×奥行き)cm	所蔵
13	野火迅(著) 山口晃(画)	『仏鬼』 角川書店、2004年				群馬県立館林美術館
14	田淵由美子(著) 山口晃(画)	『江 姫たちの戦国 上』 NHK出版、2009年				群馬県立館林美術館
15	ラモン・ピラロ(著) 山口晃(画)	『侍とキリスト』 平凡社、2011年				群馬県立館林美術館
16	三浦しをん(著) 山口晃(画)	『風が強く吹いている』 新潮社、2006年				群馬県立館林美術館
17		『山口晃 親鸞 全挿画集』 青幻舎、2019年				群馬県立館林美術館
18		『季刊プリント21』 2008年春号「山口晃」 プリント21、2008年				群馬県立館林美術館
19		『BRUTUS特別編集 会田誠の死ぬまでにこの目で見たい日本の絵100 +山口晃の死ぬまでにこの目で見たい西洋絵画100』 マガジンハウス、2020年				群馬県立館林美術館
20		『モーニング』 2014年4月号「連載二百回屈乃世 へうげもの×山口晃」 講談社、2014年				群馬県立館林美術館
21	山口晃	『すゞしろ日記』 羽鳥書店、2009年				群馬県立館林美術館
22	山口晃	『すゞしろ日記 式』 羽鳥書店、2013年				群馬県立館林美術館
23	山口晃	『すゞしろ日記 参』 羽鳥書店、2018年				群馬県立館林美術館
24	ドナルド・キーン(著) 山口晃(画)	『私と20世紀のクロニクル』 中央公論新社、2007年				群馬県立館林美術館
25		『山口晃が描く東京風景 本郷東大界限』 東京大学出版会、2006年				群馬県立館林美術館
26		『藤森照信×山口晃 日本建築集中講義』 淡交社、2013年				群馬県立館林美術館
27	唐池恒二(著) 山口晃(画)	『鉄客商売 JR九州大躍進の極意』 PHP研究所、2016年				群馬県立館林美術館
28		『文藝春秋増刊「くりま」』 2010年1月号「坂本龍馬がゆく」 文藝春秋、2010年				群馬県立館林美術館
29		『BRUTUS ブルータス』 2013年8月号「日本美術総まとめ。」 マガジンハウス、2013年				群馬県立館林美術館
30		『BRUTUS ブルータス』 2021年3月号「なにしろラジオ好きなもので3」 マガジンハウス、2021年				群馬県立館林美術館

第3章 群馬県立館林美術館アーカイブ

126	西村陽平	開館記念特別展示「自然と人間」 2001	2002	焼成された紙(展覧会カタログ)	4.5 × 28.0 × 19.0	群馬県立館林美術館
127	西村陽平	「ニルス=ウドー-自然へ」2002	2002	焼成された紙(展覧会カタログ)	9.3 × 15.5 × 13.8	群馬県立館林美術館
	資料	2001～2021年に開催した展覧会ポスター 全81点				
	資料	2001～2021年に開催した展覧会カタログより抜粋 46点				
	資料	2001～2021年に開催した展覧会ジュニアガイドより抜粋 45点				

第4章 美術館の今、アートを楽しむ

128	安部泰輔	ハヤシガモリ	2021	古着、ほか		
129	安部泰輔	ボンボンコロコロ	2021	塗料、石		
130	星素子	館林バトン&エアハグ	2021	紙ロール芯、輪ゴム、ステンレス、絵の具 他		

展示室1 星素子 館林バトン&エアハグ

No.	作品名	制作年	技法・材質
130-			
1	館林バトン／里沼バトン	2021	紙ロール芯、輪ゴム、ステンレス他
2	エアハグ-里沼	2020-2021	アサンブラージュ・写真、鑄造活字、アクリルガラス、ガラス、ステンレス
3	エアハグ 母型	2020 2021再制作	ステンレス
4	実験 複製技術時代の素ことば (作字活字印刷・額装)	2010	デジタル印刷・紙
5	実験 複製技術時代の素ことば (英語・額装)	2010	熱空押印刷・紙
6	エアハグ-空 (エアハグシリーズ)	2020	開発ロール芯技法・絵の具、カンヴァス
7	バトンチャレンジ宣言	2019 2021再制作	ステンレス
8	言葉は鏡のようなもの	2010	レーザー加工・ステンレス
9	EVERY HAPPY BIRTHDAY (お祝いロールケーキ)	2021	紙ロール芯、紙管
10	TIME	2021	紙ロール芯、輪ゴム、ステンレス、くず鉄
11	バトンの林	2021	紙ロール芯、輪ゴム、ステンレス、くず鉄
12	WORD ART- PEACE 素焼きの素 ことば	2008-2009 2010再制作	版画、ジェッソ・カンヴァス
13	いただきます	2008 2009再制作	版画、油彩・カン ヴァス
14	(いただきます対) 実験 複製技術時代の素ことば	2009	デジタル印刷、カンヴァス・紙
15	どうかおねがい	2009	版画、油彩・カンヴァス
16	おんがく	2009	シルクスクリーン・紙
17	AFTER 3.11	2011-2013	写真、ジグレイ版画・紙
18	☆(うかんむり)の宇宙	2011	活版印刷・紙
19	RE-USEシリーズ 「少し止まってみた。そして、走りだ す。」	2009	コラージュ・制作過程で生じた紙
20	紫陽花の色は空の色	2015	ジグレイ版画・紙
21	夏草と犬	2015	ジグレイ版画・紙
22	RE-USEシリーズ「あらた」	2011-2013 2014再制作	コラージュ・段ボール紙、新聞紙、和紙
23	RE-USEシリーズ「たましい」	2011-2013 2014再制作	コラージュ・段ボール紙、新聞紙、和紙
24	RE-USEシリーズ「あした」	2011-2013 2014再制作	コラージュ・段ボール紙、新聞紙、和紙
25	RE-USEシリーズ「段ボール壁画 犬」	2014	開発段ボール壁画技法・段ボール紙
26	RE-USEシリーズ「段ボール壁画 象」	2019	開発段ボール壁画技法・段ボール紙
27	素ことば桐箱 (Ziix: 概念解説 英語 付)	2008	木、紙
28	言葉アート 素ことば 活版シリーズ	2006-2021	活版印刷
29	象形 - 生きる	2008	版画、油彩・カンヴァス
30	おんがく(素ことば-製本)	2013	紙、紐、木
31	いただきます(素ことば-萩ガラス)	2010	ガラス
32	お散歩シリーズ	2015	写真、デジタル印刷・紙
33	川	2019	開発染絵技法・植物(藍)、絵の具、紙ロール芯

No.	作品名	制作年	技法・材質
34	IMA - 生きる	2018 2021再制作	アクリルガラス、絵の具、ガラス
35	生きるバトン	2020-2021 作字2008	ガラス
36	言葉アート素ことばTONE実験 「HERE WE GO」	2021	スクリーントーン・カンヴァス
37	言葉アート素ことばTONE実験 「GREEN CONVER STATION」	2021	スクリーントーン・カンヴァス
38	洞窟	2021	紙ロール芯、再利用紙箱、ステンレス
39	PASSAGE	2021	染絵技法・竹、紙ロール芯、絵の具他
40	遊-PLAY	2021	ブリコラージュ・紙ロール芯、ステンレス
41	心	2021	紙ロール芯、輪ゴム
42	移動性	2019 2021再制作	竹、紙ロール芯、輪ゴム、ステンレス
43	RE-USEシリーズ「リサイクルバトン」	2020-2021	再利用ガラス瓶・ガラス
44	エアハグシリーズ「里沼」	2021	開発技法・カンヴァス、紙ロール芯、アクリル絵の具、ジェッソ
45	館林の素ことば	2021	カンヴァス、紙ロール芯、アクリル絵の具
46	エアハグシリーズ「シロクマ」	2021	開発技法・カンヴァス、紙ロール芯、アクリル絵の具、ジェッソ
47	ガラスの素ことばバトン「はっする」	2020-2021	開発技法(ガラス気泡文字)、アサンブラージュ・ガラス、ステンレス
48	環境バトン	2020-2021	ガラス・ステンレス
49	鳥	2021	紙ロール芯、輪ゴム
50	館林の小学校の素ことば	2021	開発技法、カンヴァス、絵の具ほか
51	ロール芯タイポグラフィ壁画 「WHAT IS YOUR BATON ?」	2021	解体したロール芯
52	館林バトン&エアハグの素ことば	2021	対話即興・カンヴァス、竹、ロール芯他

◎印刷物・会場作成物

・記録集A4判 28頁

内容:

謝辞

はじめに

もくじ

「たてびレポート—開館20周年を楽しむ展覧会—を開催して」(熊谷ゆう子)

テーマで辿る、美術館のこれまで

コレクションに加わった山口晃《深山寺参詣圖》

山口晃インタビュー記録1《偽史倭人伝中葺取物語》(2013年)について

山口晃インタビュー記録2《深山寺参詣圖》について

群馬県立館林美術館アーカイブ

Twitter企画 #私のたてびイチョシ写真/印刷物

美術館の今 アートを楽しむ

安部泰輔 ハヤシガモリ

展覧会開催まで/ワークショップ作品/関連事業/アーティストからの

メッセージ/略歴/展示記録

星素子 館林バトン&エアハグ

学校での活動/「館林バトン漢字収集BOX」設置/公民館ワークショップ

美術館ワークショップ/アーティストからのメッセージ/略歴/会場・展

示作品の記録

出品リスト

執筆:熊谷ゆう子、松下和美(群馬県立館林美術館学芸員)、安部泰輔、

星素子

編集・制作:群馬県立館林美術館 熊谷ゆう子

印刷:上毎印刷工業株式会社

発行:群馬県立館林美術館

発行日:2022年3月23日

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド 蛇腹折り12頁(仕上がりサイズ18.2×12.8cm)

デザイン:本間亮(Grotesk)

制作:erA

・パネル

挨拶1枚、章解説4枚、テーマ解説3枚、山口晃関係5枚、安部泰輔関係

1枚、星素子関係3枚

・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・朝日新聞

10.7

「サトヌマチユン」美術家がぬいぐるみ 県立館林美術館 館林紬で制作販売も*

・公明新聞

12.6

「たてびレポート—開館20周年を楽しむ展覧会—」

・桐生タイムス(夕刊)

9.28

「県立館林美術館で20周年記念展開幕 山口ワールド 間近に体感 桐生市芸術大使 山口晃さんの作品「深山寺参詣圖」は初披露*」

・上毛新聞

5.21

「バトンで大型アートを 館林美術館 参加者募集*」

6.10

「バトンに地域への思い 一小でワークショップ*」

8.14

「館林美術館の写真SNSで 20周年で募集*」

8.27

「作品用の古着募る 館林美術館、28日に収集所*」

9.18

「“古着の森”成長 きょうから館林美術館*」

9.19

「山口晃さん 油彩展示 館林美術館20周年で展覧会*」

9.25

「古着や館林紬でバッジ 安部さん考案・制作 館林美術館や文化会館で販売*」

10.19

「館林美術館で収蔵品展 20年の歩み 鑑賞し体験 山口晃さん作など

130点*」

・タウンぐんま

9.17

「たてびレポート 開館20周年を楽しむ展覧会」(EVENT

INFORMATION)

・東京新聞

10.3

「自然や人 独創的な表現 桐生育ち 画家・山口晃さん 作品展示 県立美術館20周年 来館者参加アートも*」

10.27

「来館者の絵を縫いぐるみに 県立館林美術館企画展 現代美術家・安部さんが作品制作*」

[定期刊行物]

・館林市広報

8月号

「県立館林美術館「里沼」を未来へつなぐ「館林バトン」募集中」〈施設だより〉

10月号

「県立館林美術館 催し物案内 古着を使って作るアート「ハヤシガモリ」〈施設だより〉

・美術の窓

11月号

「たてびレポート—開館20周年を楽しむ展覧会—9月18日(土)～11月7日(日)」〈展覧会案内〉

・美術屋百兵衛

10月号

「たてびレポート—会館20周年を楽しむ展覧会—」〈Preview & News〉

・盆栽世界

11月号 増刊

「たてびレポート—開館20周年を楽しむ展覧会—9月18日(土)～11月7日(日)」

・raifu

9、10、11月号

「群馬県立館林美術館」〈Art&StageEvent〉

・両毛五市ネットワーク

9月号

「開館20周年を楽しむ 群馬県立館林美術館」〈アートで巡る両毛五市〉

[WEB]

・アートアジェンダ

2021年8月

「館美レポート—会館20周年を楽しむ展覧会—」

◎放送

[ラジオ]

・FM桐生

9.19

「たてびレポート—開館20周年を楽しむ展覧会—」関連事業のお知らせ〈ぐんまいきいき情報〉

9.30

「たてびレポート—開館20周年を楽しむ展覧会—」のお知らせ〈ぐんまいきいき情報〉

・FM太郎

9.28

「たてびレポート—開館20周年を楽しむ展覧会—」関連事業のお知らせ〈ぐんまいきいき情報〉

・FM NACK5

「館林市」〈ググっとぐんま～ウマイ！したい！エモい！旅〉

◎関連事業

・星素子 言葉アートワークショップ「館林バトン」

10.3

・安部泰輔 ワークショップ「ハヤシガモリ」

9.18～11.7

・しでかすおともだちがやってくる！

11.3

・学芸員による作品解説会

9.29、10.16

・たてび☆キッズウォーク

10.19、11.6



展示室1



展示室2



展示室3



展示室4



展示室4



展示室4

4. 開館20周年記念 フランソワ・ポンポン展 動物を愛した彫刻家

会期 令和3年11月23日(火・祝)～令和4年1月26日(水)
 会場 展示室1～4
 主催 群馬県立館林美術館
 後援 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本
 企画協力 美術デザイン研究所
 観覧料 一般620(490)円 大高生310(240)円
 ()内は、20名以上の団体割引料金

20世紀前半のフランスにおいて革新的な動物彫刻を生み出したフランソワ・ポンポン(1855-1933)の日本初の回顧展を、当館の開館20周年を記念して開催したものである。

ポンポンは、はじめ彫刻家の下彫り職人をしてながら人物像の発表を続け、50歳を過ぎてから動物彫刻へと向かった。ロダンに学んだヴォリュームと動きの表現を念頭に、農家や動物園で動物観察を行い、さらに古代エジプト美術にならった形体の単純化を進め、1906年、生命感と洗練され形体が完璧なバランスを保つ新しい動物彫刻を世に出した。その革新性は、1922年に発表された体長2.5mの記念碑的な傑作《シロクマ》によって一躍注目を集めることとなり、亡くなるまでの十数年間、同時代の古典的な彫刻とモダンなアール・デコ装飾、双方の美意識から高く評価され、活躍の場を広げた。

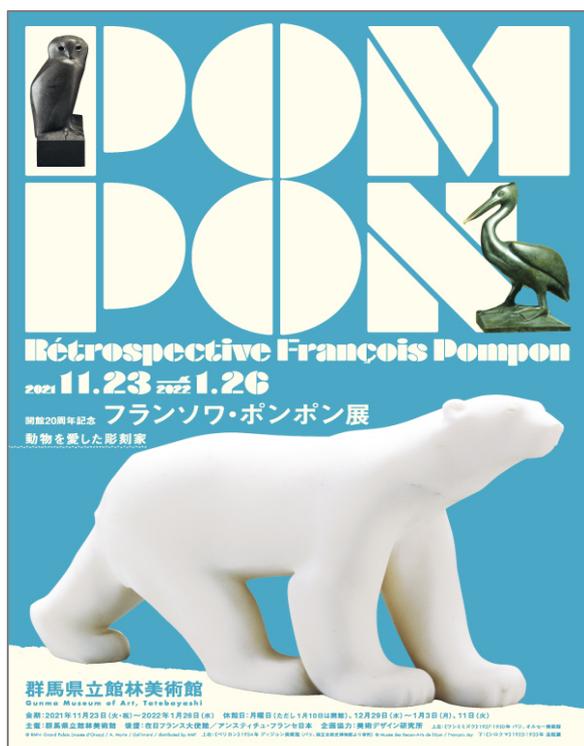
ポンポンのまとまった作品・資料コレクションをもつ当館では、作品展示とともに、ポンポンのアトリエを再構成した別館「彫刻家のアトリエ」で資料を公開し、調査研究を続けてきた。2018年には、フランスでポンポン作品調査を行っている。本展は、当

館が作品選定を担い、当館所蔵の約60点をベースに、フランスからの借用作品約30点を加えて構成したものである。フランスからは国内最大の所蔵点数を誇るディジョン美術館、出身地ソーリュウのフランソワ・ポンポン美術館、パリのオルセー美術館から作品を借用し、初期から晩年までの石彫、ブロンズ、石膏、デッサン、約90点を紹介することができた。

さらに当館では、巡回作品に加えて、当館所蔵のポンポンの関連資料、約240点を公開した。ポンポンが収集した動物の写真や絵はがきなどは、ポンポンの動物彫刻誕生の背景を解き明かす資料として作品と併せて展示を行った。また、ポンポンの使った道具や、ブロンズの鑄造工程モデルなどにより、彫刻の制作過程にも触れた。さらに2009年より行ってきた別館の資料展示の記録も一堂に並べ、その歴史を振り返った。

当館では、友の会の協力を得て、館のポンポンの作品・資料コレクションによるガイドブックを発行した。作品の詳細な解説、様々なテーマのコラム、美術史におけるポンポンの位置づけや、日本におけるポンポン紹介の歴史の論考をまとめ、ポンポンの総合的な解説書とした。

会期中は、美術史家、高橋明也氏による記念講演会、ポンポンを敬愛する現代美術作家の野口哲哉氏と彫刻家のはしもとみお氏を迎えたトークの他、多数の関連イベントを開催した。会期後半はコロナ感染症が拡大したものの、SNSでの広報活動や、東京のカルチャー情報サイトなどでの紹介の効果もあって、県外からの来館者が目立っていた。



ポスター



ジュニアガイド



巡回展カタログ



コレクション ガイドブック

出品目録

I 彫刻家としての歩み—人物像での成功を目指して

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横/高さ×幅×奥行き)cm	所蔵
1	D氏像	1879	石膏	65.6 × 36.3 × 31.9	群馬県立館林美術館
2	ポール像	1884	テラコッタ	38.4 × 21.1 × 17.8	群馬県立館林美術館
3	ベルト・ボンボン	1894-1932	石膏	22.7 × 24.9 × 19.9	群馬県立館林美術館
4	サント・カトリヌ	1886-1888	石膏	41.3 × 42.8 × 36.2	群馬県立館林美術館
5	コゼット	1888	ブロンズ	41.0 × 18.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
6	生まれたての雛鶏、割れた卵	1892	大理石	8.0 × 9.5 × 13.5	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
7	スカートの裾をたくしあげる コルセットの女性	1894	石膏	42.2 × 17.7 × 18.7	群馬県立館林美術館

II 動物彫刻の誕生とその背景

II-1 田舎の動物をモデルに—塑像と石彫り

8	ルネ・ド・ポール・ド・サン＝マルソー	1900	ブロンズ	21.2 × 7.0 × 6.0	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
9	ブーヴルイユの教会	1900年頃	石膏	14.8 × 14.0 × 12.5	群馬県立館林美術館
10-1	スケッチ帳	-	-	15.2 × 10.5	パリ、オルセー美術館
10-2	スケッチ帳	-	-	10.3 × 15.8	パリ、オルセー美術館
10-3	スケッチ帳	-	-	8.7 × 14.7	パリ、オルセー美術館
10-4	スケッチ帳	-	-	9.0 × 13.5	パリ、オルセー美術館
10-5	スケッチ帳	-	-	21.1 × 13.7	パリ、オルセー美術館
11	ほろほろ鳥の頭	1910-1914	石膏	7.3 × 10.5 × 6.8	群馬県立館林美術館
12	雨の中を駆け回る雄鶏	1923	石膏	5.5 × 8.3 × 4.6	群馬県立館林美術館
13	七面鳥	1923-1924	石膏	8.8 × 9.3 × 5.7	群馬県立館林美術館
14	七面鳥	1923-1924	石膏	8.8 × 9.3 × 5.7	群馬県立館林美術館
15	二羽の雌雉	制作年不詳	鉛筆、グワッシュ、インク・紙	27.0 × 45.0	群馬県立館林美術館
16	2つの姿勢の雌雉	制作年不詳	インク、グワッシュ・紙	32.4 × 17.0	群馬県立館林美術館
17	餌をついばむ雄鶏	1907	ブロンズ	28.6 × 14.8 × 27.0	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
18	歌う雄鶏	1923-1924	ブロンズ	8.5 × 6.5 × 4.4	群馬県立館林美術館
19	仔牛	1900	石膏	11.4 × 14.1 × 7.8	群馬県立館林美術館
20	狼の頭	1926-1927	石膏	9.4 × 5.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
21	仔鹿	1927-1928	石膏	19.3 × 24.6 × 9.3	群馬県立館林美術館
22	水上で胸を張る鴨	1932	石膏	6.2 × 9.2 × 4.2	群馬県立館林美術館
23	モグラ	1908	ベルギー産硬石	47.0 × 42.0 × 46.0	ソーリュウ、フランソワ・ボンボン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
24	牝豚と子豚たち	1929	サンパン産の石	25.0 × 23.5 × 43.2	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)

II-2 なめらかな動物彫刻—ボンボン様式の誕生

25	カイエンヌの雌鶏	1906-1924	インク・紙	9.2 × 8.6	群馬県立館林美術館
26	アヒルのメダル	1907	ブロンズ	6.0 × 6.0 × 0.6	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
27	アヒル	1911-1927	石膏	18.1 × 14.8 × 8.8	群馬県立館林美術館
28	風見鶏	1908-1932	銅板	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
29	羽根をむしられて駆け回る雄鶏	1910	インク・紙	15.5 × 14.0	群馬県立館林美術館
30	羽根をむしられて駆け回る雄鶏	1910	インク・紙	21.5 × 10.0	群馬県立館林美術館
31	羽根をむしられて駆け回る雄鶏	1910	インク・紙	15.0 × 17.0	群馬県立館林美術館
32	七面鳥	1925	インク・紙	13.5 × 13.0	群馬県立館林美術館

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横/高さ×幅×奥行き)cm	所蔵
33	鴛鳥	1926	石膏	25.9 × 21.7 × 13.8	群馬県立館林美術館
34	ほろほろ鳥	1910-1912	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
35	牝豚	1918	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
36	眼の突き出たフクロウ	1918-1923	石膏	18.6 × 8.5 × 8.5	群馬県立館林美術館
37	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
38	雄鶏	1913-1927	ブロンズ	24.0 × 9.6 × 17.8	パリ、オルセー美術館

II-3 パリの動物園にてー異国の動物と大型作品の夢

39	キリン	1906	ブロンズ	18.5 × 5.0 × 13.0	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
40	ラクダ	1906-1930	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
41	バイソン	1925	ブロンズ	20.0 × 8.0 × 26.0	ディジョン美術館
42	カバ	1918-1931	石膏	21.2 × 23.0 × 8.5	群馬県立館林美術館
43	ペリカン	1924	ブロンズ	114.0 × 73.0 × 58.0	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
44	休んでいる冠鶴	1926	ブロンズ	108.0 × 37.0 × 60.0	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
45	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927-1928	ブロンズ	12.5 × 20.8 × 8.0	群馬県立館林美術館
46	大鹿	1928-1929	石膏	55.1 × 35.1 × 21.8	群馬県立館林美術館
47	オラン・ウータン(頭部)	1930	石膏	34.3 × 23.0 × 20.0	群馬県立館林美術館
48	ライオン「メネリク」	1932	石膏	21.0 × 24.7 × 10.0	群馬県立館林美術館

III ポンポンの活躍と評価

III-1 《シロクマ》の誕生ー動きとフォルムの美

49	ヒグマ	1918-1926	石膏	10.5 × 15.5 × 5.9	群馬県立館林美術館
50	ヒグマ	1918-1926	石膏	10.2 × 15.4 × 5.9	群馬県立館林美術館
51	ヒグマ	1918-1926	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
52	シロクマ	1921-1924	無釉硬質磁器	20.4 × 39.4 × 7.3	群馬県立館林美術館
53	シロクマ	1923-1933	銀合金	24.0 × 44.0 × 12.4	群馬県立館林美術館
54	シロクマ	1923-1933	白色大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
55	バン	1923年頃	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
56	紅ヨーロッパやまうずら	1924-1931	石膏	27.1 × 22.2 × 11.0	群馬県立館林美術館
57	紅ヨーロッパやまうずら	1923	ブロンズ	25.0 × 9.5 × 23.0	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
58	戯れる豹	1927	石膏	8.2 × 12.7 × 4.4	群馬県立館林美術館
59	跳ぼうと構えた豹	1927	ブロンズ	21.0 × 16.0 × 7.5	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
60	斑点のある豹	1921-1922	石膏	14.9 × 32.4 × 6.5	群馬県立館林美術館
61	黒豹	1922-1924	石膏	14.2 × 32.8 × 6.6	群馬県立館林美術館
62	斑点のある豹	1925	ブロンズ	21.4 × 53.5 × 12.0	ソーリュウ、フランソワ・ポンボン美術館
63	黒豹	1925	石膏	14.1 × 38.1 × 4.6	群馬県立館林美術館
64	遊ぶ雌トラ	1922	ブロンズ	25.2 × 13.0 × 60.5	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
65	大黒豹	1930-1931	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館

III-2 究極の洗練を求めて－古典とモダン／アール・デコの時代に

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横／高さ×幅×奥行き)cm	所蔵
66	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
67	雉鳩	1919	石膏	24.9 × 8.9 × 10.1	群馬県立館林美術館
68	眠っている雄鶏	1923	石膏	23.0 × 30.5 × 12.6	群馬県立館林美術館
69	水上の鴨	1911	ブロンズ	16.0 × 7.7 × 13.4	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
70	ハゲコウ	1921	ブロンズ	15.5 × 6.0 × 9.0	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
71	子豚	1925	ブロンズ	15.0 × 9.0 × 23.4	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
72	猪	1925-1929	石膏	22.8 × 37.1 × 10.0	群馬県立館林美術館
73	ワシミズク	1927-1930	ブロンズ	52.0 × 23.0 × 18.0	パリ、オルセー美術館
74	カラス	1929	ブロンズ	49.5 × 16.5 × 38.5	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
75	オオバン	1913	ブロンズ	28.0 × 6.5 × 19.5	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
76	錦鶏(キンケイ)	1933	磨かれたブロンズ	44.8 × 10.0 × 26.5	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)

IV モデルへの温かなまなざし－彫刻に捧げた人生

77	クロード・レイ	1922	石膏	32.1 × 17.3 × 16.5	群馬県立館林美術館
78	アンリ・デシャン	1932	油土	24.6 × 17.7 × 21.4	群馬県立館林美術館
79	コンドル	1923	石膏	25.5 × 18.0 × 9.3	群馬県立館林美術館
80	鳩「ニコラ」	1926-1927	石膏	30.4 × 27.7 × 17.7	群馬県立館林美術館
81	切断された巣の雌鳩	1928-1931	石膏	10.6 × 29.4 × 19.8	群馬県立館林美術館
82	巣の雌鳩	1928	ブロンズ	22.5 × 18.7 × 29.6	ソーリュウ、フランソワ・ボンボン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
83	ネネット	1929	ブロンズ	10.0 × 3.5 × 12.0	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
84	リボンをつけた牛	1930	ブロンズ	12.5 × 6.0 × 17.4	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
85	ボストン・テリヤ「トーイ」	1931	ブロンズ	31.0 × 34.5 × 15.0	ソーリュウ、フランソワ・ボンボン美術館
86	立っているグレーハウンド「スタブツラ」	1932	ブロンズ	24.0 × 12.0 × 31.0	ディジョン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
87	シロクマ(頭部)	1930	ブロンズ	38.0 × 40.5 × 43.0	ソーリュウ、フランソワ・ボンボン美術館(パリ、国立自然史博物館より寄託)
88	アンリ・マルティネ 《フランソワ・ボンボンの頭像》	1932	石膏	47.9 × 18.9 × 27.8	群馬県立館林美術館

資料

S01	ボンボンと鳩ニコラ		写真	60.0 × 49.8	群馬県立館林美術館
S02	ボンボン旧蔵 絵はがき(アルバム)			28.0 × 38.0 × 4.7	群馬県立館林美術館
S03	「現代動物芸術家展/フランソワ・ボンボン展とアトリエ再構成」ポスター(パリ、国立自然史博物館)	1934 (リプリント)	印刷・紙	68.3 × 48.8	群馬県立館林美術館
S04	「ブロンズ動物彫刻家の1世紀－1875年から1975年まで－」展ポスター(パリ、ギャルリ・ポール・アンブローズ)	1975	印刷・紙	64.2 × 45.4	群馬県立館林美術館

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横/高さ×幅×奥行き)cm	所蔵
S05	「動物ーラスコーからピカソまでー」展 ポスター (パリ、国立自然史博物館)	1977	印刷・紙	59.6 × 40.0	群馬県立館林美術館
S06	「パリの現代動物図像集」展ポスター (パリ、第7区庁舎)	1985	印刷・紙	59.6 × 40.0	群馬県立館林美術館
S07	「ボンボンと近代彫刻-自然と抽象」展 ポスター(ディジョン美術館)	1994	印刷・紙	155.5 × 120.0	群馬県立館林美術館
S08	ロベール・レイ著『フランソワ・ボンボン』 G.クレス出版社	1928	書籍	19.8 × 15.2 × 1.7	群馬県立館林美術館

追加出品作品

1	フランソワ・ボンボン 《シロクマ》	1923-1933	ブロンズ	12.0 × 23.5 × 5.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ボンボン 《巣の中の雌鳩》	1928	石膏	9.3 × 29.3 × 14.0	群馬県立館林美術館
3	シャナ・オルロフ 《鳥 1914-1918》	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館

追加出品資料

No.	資料名		所蔵
1	ボンボン旧蔵資料 「カフェ・ダイエ」	写真	群馬県立館林美術館
2	ボンボン旧蔵資料 《コゼット》(1888年、石膏)	写真	群馬県立館林美術館
3-6	ボンボン旧蔵資料 キューイ=サン=フィアクル風景	写真	群馬県立館林美術館
7-41	ボンボン旧蔵資料 新聞・雑誌の切り抜き、動物の写真		群馬県立館林美術館
42	茂みの中のボンボン	写真	群馬県立館林美術館
43-46	ボンボン旧蔵資料 (左上)豚の写真 (左下)ボンボン旧蔵絵はがき 「クランヌ地方の牝豚種」 (右上)「バイユーの牝豚」 (右下)ボンボン宛てはがき		群馬県立館林美術館
47-49	ボンボン旧蔵資料 雑誌の切り抜き		群馬県立館林美術館
50	ボンボン旧蔵資料 絵はがき「ホスロー2世の狩猟を表した ササン朝時代の鍍金銀盤(パリ、国立図 書館)」		群馬県立館林美術館
51-55	ボンボン旧蔵資料 絵はがき「パリ、ノートルダム大聖堂の怪 物」		群馬県立館林美術館
56-86	ボンボン旧蔵資料 動物園の絵はがき、動物の絵はがき		群馬県立館林美術館
87-92	ボンボン旧蔵資料 パリ植物園付属動物園の鹿	写真	群馬県立館林美術館
93	ボンボン旧蔵資料 「パリ植物園のアメリカバイソン(雌)」の絵 はがき		群馬県立館林美術館
94-97	ボンボン旧蔵資料 新聞・雑誌の切り抜きより カバの図版	写真	群馬県立館林美術館
98	『イリュストラシオン(パリ国際植民地博覧 会特集号)』1931年5月		島田安彦コレクションアーカイブ

No.	資料名		所蔵
99-102	ボンボン旧蔵資料 絵はがき「1931年パリ国際植民地博覧会」 「マダガスカル・パヴィリオン」 「フランス領西アフリカ・パヴィリオン」 「本国パヴィリオン」 「動物園のダチョウ」		群馬県立館林美術館
103-106	ボンボン旧蔵資料 「パリ国際植民地博覧会動物園のライオン」		群馬県立館林美術館
107-111	ボンボン旧蔵資料 新聞・雑誌の切り抜き、ボンボン宛の絵はがき		群馬県立館林美術館
112	『イラストラシオン(室内装飾特集号)』 1933年5月		群馬県立館林美術館
113	ボンボン旧蔵資料 「ピエール＝ポール・モンタニヤックの室内装飾に置かれたボンボンの《パン》」	写真	群馬県立館林美術館
114	ガシュトン・ケニオ『現代装飾美術』 ラルース書店、1925年		島田安彦コレクションアーカイブ
115-116	ボンボン旧蔵資料 「動物芸術家協会展オープニング招待状」1931年 「第2回12人の会展招待状」1933年		群馬県立館林美術館
117	『美術工業の響き』1927年2月号		群馬県立館林美術館
118	ボンボン旧蔵資料 ボンボンの会計帳1		群馬県立館林美術館
119	ボンボン旧蔵資料 絵はがき「ロンドンの動物園のホッキョクグマ」		群馬県立館林美術館
120	『装飾と芸術』1922年12月号 「サロン・ドートンヌの絵画と彫刻」		群馬県立館林美術館
121	ボンボン旧蔵資料 「国立セーヴル磁器製陶所との《シロクマ》複製製造契約書」(1923年11月5日)		群馬県立館林美術館
122	ボンボン旧蔵資料 「シュペリが彫る《シロクマ》を前にしたボンボン」1928-1929年	写真	群馬県立館林美術館
123	ボンボン旧蔵資料 ボンボンの会計帳2		群馬県立館林美術館
124	ボンボン旧蔵資料 「ボストン・テリヤ「トイ」」	写真	群馬県立館林美術館
125	ボンボン旧蔵資料 不詳(犬)	写真	群馬県立館林美術館
126	ボンボン関連資料 「アンドロ鑄造所でできあがった《大雄牛》」	1933 写真	群馬県立館林美術館
127	ボンボン旧蔵資料 《フルール・ダムール》	写真	群馬県立館林美術館
128	《アンリ・デシャン》制作中のボンボン	1932 写真	群馬県立館林美術館
129	《スタブツラ》制作中のボンボン	1932 写真	群馬県立館林美術館
130-136	ボンボン旧蔵資料 ソーリュウの絵はがき		群馬県立館林美術館
137-141	ボンボンのアトリエ (カンパーニュ＝ブルミエール通り3番地)	1933 写真	群馬県立館林美術館
142	『フランソワ・ボンボン 1855-1933』 展覧会カタログ、1994年	1994	群馬県立館林美術館
143	ボンボンの訪問者記録簿		群馬県立館林美術館
144-146	ボンボンのアトリエ (カンパーニュ＝ブルミエール通り7番地)	1933(?) 写真	群馬県立館林美術館

No.	資料名	所蔵
147	フランス国立自然史博物館内に再構成されたボンボンのアトリエ 1934 写真	群馬県立館林美術館
148	『イリュストラシオン』1934年1月号	群馬県立館林美術館
149	ボンボンの肖像 撮影年不詳 写真	群馬県立館林美術館
150	《風見鶏》プレス用金型	群馬県立館林美術館
151-189	ボンボンの道具	群馬県立館林美術館
190	ヴィクトル・ユゴー美術館学芸員レイモン・エシヨリエからボンボン宛ての手紙 (1930年4月2日) (複製展示)	群馬県立館林美術館
191	パリ市立美術館長ダラスよりボンボン宛ての手紙 (1932年4月5日) (複製展示)	群馬県立館林美術館
192	下彫り職人シュペリよりボンボン宛て受領証 (1930年7月19日) (複製展示)	群馬県立館林美術館
193-207	ボンボン関連資料 名刺より (複製展示)	群馬県立館林美術館
208	エマニュエル・ド・チュベール「知られざる人々」『ベル・フランス』1919年5月、第12号 (複製展示)	群馬県立館林美術館
209	エドゥアール・クレーエル 『フランソワ・ボンボン』(新しいフランスの彫刻家No.4) ガリマール出版、1926年 島田安彦コレクションアーカイブ	
210	『サロン・ドートンヌ 絵画、彫刻、デッサン、版画、建築、工芸』カタログ サロン・ドートンヌ会、1933年 (複製展示)	群馬県立館林美術館
211	『フランソワ・ボンボン作品カタログ』自然史博物館友の会、1934年	群馬県立館林美術館
212	『ボンボン』展 リーフレット ニューヨーク、ブルマー・ギャラリー、1937年	群馬県立館林美術館
213	『パリ、国立近代美術館の現代彫刻』アルベール・モランセ出版、1954年	群馬県立館林美術館
214	『博物史』展 カタログ ロダン美術館、1959年	群馬県立館林美術館
215	『フランソワ・ボンボン ブルゴーニュの動物彫刻家』展 カタログ デイジヨン美術館、1964年	群馬県立館林美術館
216	『動物 ラスコウからピカソまで』展 カタログ 国立自然史博物館、1964年	群馬県立館林美術館
217	『フランソワ・ボンボンの作品』展 カタログ ソーリュエ、ボンボン美術館、1983年	群馬県立館林美術館
218	『現代の動物誌』展 カタログ バリ、7区、1985年	群馬県立館林美術館
219	レオーヌ・ピア＝ラ＝シャペル 『フランソワ・ボンボン ブルゴーニュの彫刻家の作品と人生』カイエ・デュ・ヴュー＝デイジヨン、1988年	群馬県立館林美術館
220	「フランソワ・ボンボンと近代彫刻」『ドシエ・ド・ラール』1994年6-7月、No.19	群馬県立館林美術館
221	マリー・セリエ 『彫刻家ボンボン』国立美術館連合出版、1994年	群馬県立館林美術館
222	『フランソワ・ボンボン美術館』ソーリュエ市、1994年	群馬県立館林美術館
223	カトリーヌ・シュヴィヨ、アンヌ・パンジヨー、リリアヌ・コラ 『フランソワ・ボンボン 1855-1933』国立美術館連合出版、1994年	群馬県立館林美術館

No.	資料名	所蔵
224	『ファミリーとボンポンをめぐって』展 カタログ ボルドー、装飾美術館、2002年	群馬県立館林美術館
225	ニコラス・ピロー『アートのなかでかくれん ぼ2 オルセー美術館でさがせ！』オル セー美術館、アザン、2016年	群馬県立館林美術館
226	セシル・アリックス、アントワーヌ・ギョペ 『ボンポンのシロクマとクジラのゴブ=トウ』 レラン・ヴェール、2019年	群馬県立館林美術館
227	『フランソワ・ボンボン』 ファトン出版、2020年	群馬県立館林美術館
228	『国民美術』第1巻第6号(仏蘭西現代美 術展覧会号) 1924年6月	島田安彦コレクションアーカイ ブ
229	『国民美術』第2巻第9号(佛展号) 1925年9月	島田安彦コレクションアーカイ ブ
230	『美術工芸品展覧会』山中商会、1928年	島田安彦コレクションアーカイ ブ
231	『中央美術』第7号、1934年	群馬県立館林美術館
232	『日佛芸術』第16号、1926年10月	群馬県立館林美術館
233	『ジャポニスム展 19世紀西洋美術への日 本の影響』展 カタログ、国立西洋美術館 ほか、1988年	群馬県立館林美術館
234	『つくりかたから見る美術—コレクション徹 底解剖！—』展カタログ 群馬県立館林美術館、2010年	群馬県立館林美術館
235	『色めく彫刻—よみがえる美意識』展カタ ログ、群馬県立館林美術館、2012年	群馬県立館林美術館
236	『エキゾティック×モダン アール・デコと 異境への眼差し』展カタログ、東京都庭 園美術館、群馬県立館林美術館、2018年	群馬県立館林美術館
237	《アヒル》の型	群馬県立館林美術館
238	ブロンズ彫刻の制作工程モデル(制作・ 技法解説:ブロンズスタジオ)	群馬県立館林美術館

映像

No.	タイトル	長さ	制作
1	フランソワ・ボンポンの生涯と業績	約5分	関西テレビ
2	動物彫刻家フランソワ・ボンボン	約2分	関西テレビ

◎印刷物・会場作成物

・巡回展図録 B5判変形(20.0×21.0cm) 108頁

内容:

ごあいさつ

謝辞

目次

論文「フランソワ・ボンボン(1855-1933)」(リアアヌ・コラ)

年表

カタログ

I 彫刻家としての歩み—人物像での成功を目指して

II 動物彫刻の誕生とその背景

II-1 田舎の動物をモデルに一塑像と石彫り

II-2 なめらかな動物彫刻—ボンボン様式の誕生

II-3 バリの動物園にて—異国の動物と大型作品の夢

III ボンボンの活躍と評価

III-1 《シロクマ》の誕生—動きとフォルムの美

III-2 究極の洗練を求めて—古典とモダン/アール・デコの時代に

IV モデルへの温かなまなざし—彫刻に捧げた人生

ボンボンのアトリエと道具

ボンボンゆかりの土地と美術館のコレクション

作品リスト

主要参考文献

執筆:リアアヌ・コラ

松下和美(群馬県立館林美術館)

神尾玲子(群馬県立館林美術館)

深谷克典(名古屋市美術館)

保崎裕徳(名古屋市美術館)

今井美樹(大阪工業大学)

デザイン:磯口友次(LAST DESIGN)

藤澤香奈(LAST DESIGN)

印刷:高速オフセット

発行:美術デザイン研究所

・コレクション ガイドブック

『フランソワ・ボンボンを知る—群馬県立館林美術館 作品・資料コレクションより—』 B5判変形(25.7×19.0cm) 104頁

はじめに

謝辞

目次

論文

「フランソワ・ボンボンの作品とその時代」(松下和美)

「日本におけるボンボン作品の紹介」(神尾玲子)

カタログ

1 初期の人物像

コラム[ボンボンとロダン]

2 動物観察となめらかな動物彫刻の誕生

コラム[ボンボンとノルマンディー]

3 動物園の動物たちをモデルに

コラム[ボンボンの動物の絵はがきコレクション]

コラム[ボンボンの集めた動物の写真、新聞・雑誌の切り抜き]

コラム[ボンボン旧蔵資料に見る、古代、ヨーロッパ中世美術への関心]

4 《シロクマ》の誕生—ボンボンの評価と活躍の始まり

コラム[ボンボンとアール・デコ装飾]

5 晩年のボンボン—代表作の誕生

コラム[鳩好きのボンボン]

コラム[ボンボンの石膏のひみつ]

コラム[ボンボン旧蔵資料より—動物園と植民地のつながり]

コラム[ボンボンと鑄造所]

コラム[ボンボンの言葉]

コラム[ボンボン 愛された人柄]

ボンボンのアトリエ

コラム[ボンボンの道具]

コラム[ボンボンの手帳]

コラム[ボンボン関連資料の手紙、名刺、書籍など]

作品目録

フランソワ・ボンボン年譜

フランソワ・ボンボン主要関連文献

執筆:松下和美

神尾玲子

デザイン:栗原幸治(クリ・ラボ)

制作:erA

印刷:東京印書館

発行:群馬県立館林美術館

初版:2021(令和3)年11月23日

第2版:2022(令和4)年3月15日

・ポスター B2

・チラシ A4

・ジュニアガイド 三つ折り、14.8×44.0cm(仕上がりサイズ14.8×14.8cm)

デザイン:栗原幸治(クリ・ラボ)

制作:erA

・パネル

挨拶2枚、章解説7枚、テーマ解説(「ボンボンとロダン」「ボンボンとアール・デコ」「ボンボンとブランクーシ」「ボンボンのアトリエと道具」「ボンボンゆかりの土地と美術館のコレクション」)5枚、年譜、ブロンズ鑄造解説パネル、その他参考写真・解説パネル約10枚

・会場配布用作品リスト、追加出品作品・資料リスト

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・朝日ぐんま

12.24

「開館20周年記念 フランソワ・ボンボン展 動物を愛した彫刻家」革新的な動物彫刻をたっぷり味わって*〈文化紀行〉(学芸員 松下和美)

・週間 風っ子

12.5

「県立館林美術館(館林市)「シロクマ」生き生きと動き表現」*〈ミテルンが行く!アート巡り〉

・上毛新聞

12.9

「県立館林美術館「フランソワ・ボンボン展」より㊤《シロクマ》*〈アートを愉しむ〉(学芸員 松下和美)

12.14

「県立館林美術館 ボンボン回顧展 動物彫刻家の生涯 俯瞰 美しい輪郭 生き生きと」*〈Culture〉(斎藤雅則)

12.16

「県立館林美術館「フランソワ・ボンボン展」より㊤《ペリカン》*〈アートを愉しむ〉(学芸員 松下和美)

12.23

「県立館林美術館「フランソワ・ボンボン展」より㊤《ワシミズグ》*〈アートを愉しむ〉(学芸員 松下和美)

1.20

〈三山春秋〉

・東京新聞

12.26

「フランソワ・ボンボン シロクマ 群馬県立館林美術館 シンプルな形に生命感」*〈カジュアル美術館〉(清水祐樹)

[定期刊行物]

・いけ花龍生

11月号

「開館20周年記念 フランソワ・ボンボン展 動物を愛した彫刻家」〈読者招待券プレゼント〉

・家庭画報

8月号

「フランソワ・ボンボンの動物彫刻が集合」*〈美術〉

・ギャラリー

11月号

「開館20周年記念 フランソワ・ボンボン展」〈今月の展覧会〉

・月刊 美術

12月号

「開館20周年記念 フランソワ・ボンボン展 動物を愛した彫刻家」〈展覧

会情報〉

・2nd

2022年4月号

「The Visual Performer フランソワ・ボンボン」(大森菜央、学芸員 松下和美)

・東都大学図書館通信(深谷キャンパス)

第126号(10月10日)

「開館20周年記念 フランソワ・ボンボン展 動物を愛した彫刻家」

・メセナ群馬

2022年春号

「ボンボンと館林美術館」(染谷滋)

・月刊MOE

12月号

「フランソワ・ボンボン展」

・渡良瀬通信

10月号

「群馬県立館林美術館 開館20周年の魅力溢れる一年」*

[単行書]

・びあMOOK おとなが愉しむすごい美術展 2021-2022

7月30日

「動物彫刻家、日本初の回顧展 フランソワ・ボンボン展」

・美術展びあ2021

1月30日

「フランソワ・ボンボン展(仮称)」

・ぶらぶら美術・博物館プレミアムアートブック2021-2022

8月23日

「フランソワ・ボンボン展 動物を愛した彫刻家」

[Web]

・アイティーエル株式会社

2021年12月17日

「ミュージアムレポート【群馬県立館林美術館】開館20周年記念 フランソワ・ボンボン展 動物を愛した彫刻家」* (新麻記子)

・青い日記帳

2021年12月13日

「フランソワ・ボンボン展」*

・アートアジェンダ

2021年11月

「開館20周年記念 フランソワ・ボンボン展 動物を愛した彫刻家」*

・イロハニアート

2021年12月17日

「見る人を幸せな気持ちにさせてくれる愛らしい動物彫刻「フランソワ・ボンボン展 動物を愛した彫刻家」」* (新麻記子)

・ウォーカープラス

2021年1月

「開館20周年記念 フランソワ・ボンボン 動物を愛した彫刻家」

・GOON

2021年11月

「展覧会を鑑賞して」

・Highway Walker

2022年1月

「愛らしい単純化された動物彫刻 群馬県立館林美術館「フランソワ・ボンボン展 動物を愛した彫刻家」」*

・ほぼ日刊イトイ新聞

2022年1月17～21日

「常設展へ行こう！006 群馬県立館林美術館」* (奥野武範、学芸員 松下和美)

・美術手帖

2021年11月

「開館20周年記念 フランソワ・ボンボン展 動物を愛した彫刻家」*

◎放送

[テレビ]

・NHK総合(前橋)

12.6-10

「3分ほっと 動物彫刻を楽しむ フランソワ・ボンボン展」(ほっとぐんま 630) (全5回)

・群馬テレビ

11.24

「県立館林美術館 開館20周年記念でボンボン展」(ニュースジャスト6)

[ラジオ]

・FM桐生

12.7

企画展示「開館20周年記念 フランソワ・ボンボン展 動物を愛した彫刻家」について(ぐんまいいきき情報)

・FMぐんま

11.24-

「開館20周年記念 フランソワ・ボンボン展 動物を愛した彫刻家」のお知らせ(ぐんま情報トッピング)

・FM太郎

12.7

企画展示「開館20周年記念 フランソワ・ボンボン展 動物を愛した彫刻家」について(ぐんまいいきき情報)

◎関連事業

・記念講演会

12.5

「ボンボンと動物彫刻の世界」

講師:高橋明也氏(美術史家・東京都美術館館長)

・アーティストが語るフランソワ・ボンボン

12.12

講師:野口哲哉氏(現代美術作家)

12.19

講師:はしもとみお氏(彫刻家)

・連続講座

1.9

「ボンボンの石膏のひみつ」

講師:神尾玲子(当館学芸員)

1.16

「フランス、ボンボンの故郷を訪ねて①パリ」

講師:松下和美(当館学芸員)

1.23

「フランス、ボンボンの故郷を訪ねて②ブルゴーニュとノルマンディー」

講師:松下和美(当館学芸員)

・学芸員による作品解説会

12.1、25

・たてび☆びじゅつ部

12.18

「ボンボンのマリオネットを作ろう」

・たてび☆キッズウォーク

「ボンボンのポップアップカードを作ろう」

11.27、1.22



展示室4



展示室3



展示室2



展示室1

5. 永井一正のポスターデザイン—いきること・つくること—

会期 令和4年2月19日(土)～4月3日(日)
会場 展示室2、3、4
特別協力 株式会社日本デザインセンター
観覧料 一般620(490)円 大高生310(240)円
()内は、20名以上の団体割引料金

日本を代表するグラフィックデザイナーである永井一正(1929～)は、1950年初頭よりグラフィックデザインの現場に身を置き、活動を始めた。

1953年に日本宣伝美術会(日宣美)会員となり、1960年に亀倉雄策や田中一光らとともに日本デザインセンター創立に参加すると、常に時代の最先端において国家事業や企業、団体のポスターやロゴ、シンボルマークを世に送り出した。優れたデザイン感覚をもって造形化された永井のポスターは、広告としての役割を果たすだけに留まらず、芸術作品としての強度と魅力も持ち合わせている。国内外のポスターコンクールにてグランプリを獲得し、永井は90歳を超える現在まで世界のデザイン界を牽引してきたといっても過言ではない。

本展では、作者より寄贈頂いた当館のポスターコレクションより厳選した約140点を通して、動物表現へ向かう前の幾何学的表現による作品から、永井の個展や美術館の企画展、公募展などの宣伝ポスター、1980年代後半から展開される《LIFE》シリーズまで、幅広く紹介した。とくに、地球上の様々な動物たちを題材に生命の多様性や尊さを伝える《LIFE》シリーズは、永井の生命観や創作への想いが凝縮された代表作であり、珠玉

の大型ポスター作品群と向き合う本展は、永井のデザイン史における仕事と功績を振り返る機会となった。

会場では、永井の絵と言葉をまとめた書籍『いきることば つむぐいのち』や『新装版 つくることば いきることば』(ともに芸術新聞社、2020年)より、創作や生命にまつわる言葉を厳選して抜粋し、壁面にカッティングシートを貼って紹介した。

また、会期中はご子息でありアートディレクター・多摩美術大学教授でもある永井一史氏を招いた記念講演会「永井一正のポスターデザインの魅力」や、色画用紙等を用いてポストカードを作成するたてび☆びじゅつ部「いきものポストカードを作ろう」など、多彩な関連イベントを開催した。



ポスター



ガイドブック

出品目録

1. 幾何学的形態を多用したポスター

No.	作品名	制作年	材質	寸法 縦×横(cm)	所蔵
1	第2回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 1988 作品募集	1987	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
2	第2回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 1988 作品募集 (海外向け)	1987	オフセット・紙	103.0 × 73.0	群馬県立館林美術館
3	第2回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 1988	1988	オフセット・紙	103.2 × 72.4	群馬県立館林美術館
4	現代日本美術の動勢—絵画 PART1	1986	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
5	[北欧デザインの今日—生活のなかの形]展	1987	オフセット・紙	103.0 × 72.6	群馬県立館林美術館
6	わたしたちの壁画 '87	1986	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
7	ヒロシマアビールズ	1987	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
8	'89 姫路シロトピア博	1988	オフセット・紙	103.0 × 72.6	群馬県立館林美術館
9	'89 姫路シロトピア博	1988	オフセット・紙	103.0 × 72.6	群馬県立館林美術館
10	DESIGN EXPO '89 DESIGN GALLERY	1989	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
11	COMMUNICATIONS TOKYO '90	1990	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館

2. 「生きもの」を登場させたポスター

12	ブレ姫路市制100周年記念 永井一正の世界展	1988	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
13	人権—共生	1988	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
14	UENO ZOO	1994	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
15	THE LANDMARK TOWER	1995	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
16	ZOORASIA	1997	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
17	写楽出現200年	1994	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
18	トマト銀行(魚)	1989	オフセット・紙	103.0 × 72.6	群馬県立館林美術館
19	トマト銀行(鳥)	1989	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
20	YOKOGAWA	1990	シルクスクリーン・紙	103.0 × 73.0	群馬県立館林美術館
21	YOKOGAWA	1991	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
22	JAGDAポスター展 "JAPAN" (花)	1987	オフセット・紙	103.0 × 73.0	群馬県立館林美術館
23	JAGDAポスター展 "JAPAN" (カメ)	1988	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
24	JAGDAポスター展 "JAPAN" (カエル)	1988	シルクスクリーン・紙	103.4 × 73.2	群馬県立館林美術館
25	JAGDAポスター展 "WATER" (ライオン)	1989	シルクスクリーン・紙	103.2 × 72.6	群馬県立館林美術館
26	JAGDAポスター展 "WATER" (ハリネズミ)	1989	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
27	モリサワ	1989	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
28	モリサワ	1993	オフセット・紙	103.0 × 73.0	群馬県立館林美術館

3. 美術館の活動を紹介するポスター

29	わたしたちの壁画 '88	1987	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
30	'88 富山の美術	1987	オフセット・紙	103.0 × 72.6	群馬県立館林美術館
31	第3回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 1991	1991	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
32	'92 公募: 日本海美術展	1992	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
33	第4回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 1994 作品募集	1993	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
34	移動美術館 '92—美との出会い	1992	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
35	移動美術館 '95—美との出会い	1995	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
36	みんなでつろう '95	1994	オフセット・紙	103.0 × 72.6	群馬県立館林美術館
37	みんなでつろう '98	1997	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
38	みんなでつろう '99	1998	オフセット・紙	103.0 × 72.6	群馬県立館林美術館
39	第6回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 2000 作品募集	1999	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
40	第6回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 2000	2000	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館

No.	作品名	制作年	材質	寸法 縦×横(cm)	所蔵
41	第7回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 2003 作品募集	2003	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
42	第7回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 2003	2003	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
43	アートは出会い! 20世紀の巨匠たち	2003	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館

4. 個展・グループ展を紹介するポスター

44	永井一正展(クジラ)	1989	オフセット・紙	102.8 × 72.8	群馬県立館林美術館
45	永井一正展(猪)	1989	オフセット・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
46	永井一正展(馬)	1989	オフセット・紙	103.0 × 72.6	群馬県立館林美術館
47	永井一正展(鹿)	1989	オフセット・紙	103.0 × 72.6	群馬県立館林美術館
48	KAZUMASA NAGAI Exhibition (サル)	1991	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
49	KAZUMASA NAGAI Exhibition (ヒツジ)	1991	シルクスクリーン・紙	102.8 × 72.8	群馬県立館林美術館
50	KAZUMASA NAGAI Exhibition (ウサギ)	1991	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
51	KAZUMASA NAGAI Exhibition (ゾウ)	1991	シルクスクリーン・紙	102.5 × 72.6	群馬県立館林美術館
52	現代の表現Ⅱ 7人の作家展	1994	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
53	現代の表現Ⅲ 7人の作家展	1995	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館

5. 《LIFE》シリーズへの歩み

54	JAGDA 平和と環境のポスター展 "I'm here." (キリン)	1992	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
55	JAGDA 平和と環境のポスター展 "I'm here." (イノシシ)	1992	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
56	JAGDA 平和と環境のポスター展 "I'm here." (シカ)	1992	シルクスクリーン・紙	103.2 × 72.8	群馬県立館林美術館
57	JAGDA 平和と環境のポスター展 "I'm here."	1992	シルクスクリーン・紙	103.0 × 73.0	群馬県立館林美術館
58	JAGDA 平和と環境のポスター展 "I'm here."	1992	シルクスクリーン・紙	103.2 × 72.8	群馬県立館林美術館
59	JAGDA 平和と環境のポスター展 "I'm here."	1992	シルクスクリーン・紙	130.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
60	JAGDA 平和と環境のポスター展 "I'm here."	1992	シルクスクリーン・紙	102.8 × 72.6	群馬県立館林美術館
61	JAGDA 平和と環境のポスター展 "I'm here."	1992	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
62	JAGDA 平和と環境のポスター展 "I'm here."	1992	シルクスクリーン・紙	103.2 × 72.8	群馬県立館林美術館
63	JAGDA 平和と環境のポスター展 "I'm here." (トラ)	1993	シルクスクリーン・紙	103.0 × 73.0	群馬県立館林美術館
64	JAGDA 平和と環境のポスター展 "I'm here." (ゾウ)	1993	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
65	JAGDA 平和と環境のポスター展 "I'm here." (サル)	1993	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.6	群馬県立館林美術館
66	JAGDA 平和と環境のポスター展 "I'm here." (水牛)	1993	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
67	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (サル)	1994	シルクスクリーン・紙	102.6 × 72.6	群馬県立館林美術館
68	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (クマ)	1994	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
69	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (ヒョウ)	1994	シルクスクリーン・紙	103.2 × 72.8	群馬県立館林美術館
70	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (トリ)	1994	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
71	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (ウサギ)	1994	シルクスクリーン・紙	103.2 × 72.8	群馬県立館林美術館
72	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (サル)	1994	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.6	群馬県立館林美術館
73	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (トリ/月)	1994	シルクスクリーン・紙	102.8 × 72.8	群馬県立館林美術館
74	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (オオカミ/川)	1994	シルクスクリーン・紙	102.8 × 72.8	群馬県立館林美術館
75	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (ゾウ/森)	1994	シルクスクリーン・紙	102.8 × 72.8	群馬県立館林美術館
76	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (ゾウ)	1993	シルクスクリーン・紙	102.6 × 72.8	群馬県立館林美術館
77	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (ウマ)	1993	シルクスクリーン・紙	102.8 × 72.8	群馬県立館林美術館
78	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (ウシ)	1993	シルクスクリーン・紙	102.2 × 72.6	群馬県立館林美術館
79	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (オオカミ)	1993	シルクスクリーン・紙	102.4 × 72.6	群馬県立館林美術館
80	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (シカ)	1993	シルクスクリーン・紙	102.8 × 72.8	群馬県立館林美術館
81	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (ライオン)	1993	シルクスクリーン・紙	103.2 × 72.8	群馬県立館林美術館
82	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (サル)	1993	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
83	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (ゾウ)	1993	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.6	群馬県立館林美術館

No.	作品名	制作年	材質	寸法 縦×横(cm)	所蔵
84	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (目)	1993	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
85	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (耳)	1993	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.6	群馬県立館林美術館
86	KAZUMASA NAGAI DESIGN LIFE (足)	1993	シルクスクリーン・紙	102.8 × 72.8	群馬県立館林美術館
87	LIFE TO SHARE (人/キリン)	1994	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
88	LIFE TO SHARE (人/サル)	1994	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
89	LIFE TO SHARE (人/ヒョウ)	1994	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
90	save nature (オオカミ)	1995	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
91	save nature (ヘビ)	1995	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
92	save nature (トカゲ)	1995	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
93	save nature (サル)	1995	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
94	save nature (エイ)	1995	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
95	Life to Share	1995	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
96	LIFE TO SHARE	1996	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
97	LIFE TO SHARE	1996	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.6	群馬県立館林美術館
98	LIFE TO SHARE	1996	シルクスクリーン・紙	84.1 × 59.4	群馬県立館林美術館
99	LIFE TO SHARE	1996	シルクスクリーン・紙	84.1 × 59.4	群馬県立館林美術館
100	LIFE TO SHARE	1996	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
101	LIFE TO SHARE (手/ヒョウ)	1995	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
102	LIFE TO SHARE (手/ワニ)	1996	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
103	LIFE TO SHARE (手/ゾウ)	1996	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
104	LIFE TO SHARE (手/ライオン)	1996	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
105	CO EXIST (BEING)	2000	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
106	CO EXIST (LIFE)	2000	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
107	SAVE (赤/キリン)	1997	シルクスクリーン・紙	84.1 × 59.4	群馬県立館林美術館
108	SAVE (赤/シロクマ)	1997	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
109	SAVE (赤/サイ)	1997	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
110	SAVE (赤/オオカミ)	1997	シルクスクリーン・紙	84.1 × 59.4	群馬県立館林美術館
111	SAVE (赤/ライオン)	1997	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
112	SAVE (赤/ウサギ)	1997	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
113	SAVE (オオカミ)	1997	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
114	SAVE (サル)	1998	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
115	SAVE (ライオン)	1998	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
116	SAVE (サイ)	1998	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
117	SAVE (キリン)	1998	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
118	SAVE (シマウマ)	1998	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
119	LIFE (シマウマ)	1995	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
120	LIFE (ネコ)	1995	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
121	LIFE (サイ)	1995	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.6	群馬県立館林美術館
122	LIFE (きのこ/笠)	2001	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
123	LIFE (きのこ/球)	2001	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
124	LIFE (きのこ)	2001	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
125	LIFE (フクロウ)	2002	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
126	LIFE (ポットー)	2002	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
127	LIFE (クワガタ)	2003	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
128	LIFE (セミ)	2003	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
129	LIFE (トリ)	2003	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
130	LIFE (トカゲ)	2003	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
131	LIFE (少年)	2003	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
132	LIFE (ウマ)	2003	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
133	LIFE (キリン)	2003	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	群馬県立館林美術館
134	LIFE 2004	2004	シルクスクリーン・紙	103.0 × 72.8	個人蔵

No.	作品名	制作年	材質	寸法 縦×横(cm)	所蔵
135	LIFE 2004			103.0 × 72.8	個人蔵
136	LIFE 2004			103.0 × 72.8	個人蔵
137	LIFE 2004			103.0 × 72.8	個人蔵
138	LIFE 2004			103.0 × 72.8	個人蔵
139	LIFE 2015			103.0 × 72.8	個人蔵
140	LIFE 2017	2017	インクジェット・紙	103.0 × 72.8	個人蔵
141	LIFE 2018			103.0 × 72.8	個人蔵
142	LIFE 2019	2019	インクジェット・紙	103.0 × 72.8	個人蔵
143	LIFE 2020			103.0 × 72.8	個人蔵
144	LIFE 2021	2021	インクジェット・紙	103.0 × 72.8	個人蔵
145	LIFE 2021			103.0 × 72.8	個人蔵
146	LIFE 2021	2021	インクジェット・紙	103.0 × 72.8	個人蔵

特別出品

147	LIFE 10	2003	エッチング・紙	39.4 × 33.1	個人蔵
148	LIFE 64	2006	エッチング・紙	39.6 × 32.9	個人蔵
149	LIFE 83	2009	エッチング・紙	39.6 × 33.0	個人蔵
150	LIFE 89	2010	エッチング・紙	39.2 × 33.1	個人蔵
151	LIFE 99	2011	エッチング・紙	39.5 × 33.0	個人蔵
152	LIFE ポスター原画	不詳	銅版画・紙	32.9 × 25.4	個人蔵
153	LIFE ポスター原画	不詳	銅版画・紙	33.0 × 25.2	個人蔵
154	LIFE ポスター原画	不詳	銅版画・紙	33.2 × 25.4	個人蔵
155	LIFE ポスター原画	不詳	銅版画・紙	32.4 × 24.8	個人蔵
156	LIFE ポスター原画	不詳	銅版画・紙	32.4 × 25.4	個人蔵

資料

157	『4-G.D ポスターとマーク 亀倉雄策・田中一光・永井一正・福田繁雄』(表紙) 発行:富山県立近代美術館	1987	書籍	24.0 × 25.5	群馬県立館林美術館
158	『第2回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 1988』(表紙) 発行:富山県立近代美術館	1988	書籍	24.0 × 25.5	群馬県立館林美術館
159	『第3回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 1991』(表紙) 発行:富山県立近代美術館	1991	書籍	24.0 × 25.5	群馬県立館林美術館
160	『第4回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 1994』(表紙) 発行:富山県立近代美術館	1994	書籍	24.0 × 25.5	群馬県立館林美術館
161	『第6回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 2000』(表紙) 発行:富山県立近代美術館	2000	書籍	24.0 × 25.5	群馬県立館林美術館
162	『第7回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 2003』(表紙) 発行:富山県立近代美術館	2003	書籍	24.0 × 25.5	群馬県立館林美術館
163	『第9回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 2009』(表紙) 発行:富山県立近代美術館	2009	書籍	24.0 × 25.5	群馬県立館林美術館
164	『工芸ニュース』第31巻第4号 (表紙) 発行:丸善	1963	雑誌	25.5 × 19.1	群馬県立館林美術館
165	『工芸ニュース』第36巻第4号 (表紙) 発行:丸善	1968	雑誌	25.5 × 19.1	群馬県立館林美術館
166	『デザイン』第71号 (表紙) 発行:美術出版社	1965	雑誌	29.5 × 20.8	群馬県立館林美術館
167	『デザイン』第72号 (表紙) 発行:美術出版社	1965	雑誌	29.5 × 20.8	群馬県立館林美術館
168	『デザイン』第73号 (表紙) 発行:美術出版社	1965	雑誌	29.5 × 20.8	群馬県立館林美術館
169	『デザイン』第74号 (表紙) 発行:美術出版社	1965	雑誌	29.5 × 20.8	群馬県立館林美術館
170	横尾忠則「永井一正の人と作品」『デザイン』第95号 pp.18-33 発行:美術出版社	1967	雑誌	29.4 × 22.3	群馬県立館林美術館

No.	作品名	制作年	材質	寸法 縦×横(cm)	所蔵
171	『naac日本広告技術協議会』第8号 発行:日本広告技術協議会事務局	1965	雑誌	25.8 × 18.2	島田安彦コレクション アーカイブ
172	『naac日本広告技術協議会』第13号 発行:日本広告技術協議会事務局	1966	雑誌	25.8 × 18.2	島田安彦コレクション アーカイブ
173	『NIPPON DESIGN CENTER 1960-1979』(装幀) 発行:株式会社日本デザインセンター	1980	書籍	35.0 × 25.5	島田安彦コレクション アーカイブ
174	株式会社日本デザインセンター 封筒 (ロゴデザイン)	不詳	印刷・紙	23.6 × 37.2	島田安彦コレクション アーカイブ
175	『グラフィックデザイン』第81号 (表紙) 発行:講談社	1981	雑誌	30.0 × 26.0	群馬県立館林美術館
176	『グラフィックデザイン』第82号 (表紙) 発行:講談社	1981	雑誌	30.0 × 26.0	群馬県立館林美術館
177	『グラフィックデザイン』第83号 (表紙) 発行:講談社	1981	雑誌	30.0 × 26.0	群馬県立館林美術館
178	『たて組・ヨコ組』春・第20号 (表紙) 発行:モリサワ	1988	雑誌	28.5 × 21.5	群馬県立館林美術館
179	『デスクダイアリー1989 VOL.31 永井一正といきものたち』(アートディレクション) 発行:竹尾	1988	書籍(ダイアリー)	30.5 × 18.0	群馬県立館林美術館
180	『日本デザインセンターの三〇年 NIPPON DESIGN CENTER 1960-1990』(表紙) 発行:株式会社日本デザインセンター	1990	書籍	30.5 × 23.0	群馬県立館林美術館
181	群馬県立館林美術館 事業案内				群馬県立館林美術館
182	永井一正の動物ポスター	2003	印刷・紙	72.8 × 51.5	群馬県立館林美術館
183	『KAZUMASA NAGAI』発行:公益財団法人DNP文化振興財団	2020	書籍	38.0 × 28.0	群馬県立館林美術館

永井一正の言葉

『いきることば つむぐいのち』(芸術新潮社、2020年)より

「いのちに感動する。いのちに感謝する。」(p.24)
「動物そのものを描いているのではない。そこに宿る不変のいのちを描いている。」(p.28)
「逆境は、人生の贈り物。」(p.66)
「今日できなかったことは明日やればいだけ。」(p.78)
「子どもの絵はおもしろい。うまいを目指すとおもしろくなる。」(p.114)
「創作において、同じことを繰り返すのは、他人を偽り、自分を偽ること。」(p.142)
「ひとつひとつ、丁寧な判断の積み重ねが生きることを豊かにしてくれる。」(p.146)
「いのちの循環が、花や草、小さな虫にまでめぐっている不思議。」(p.190)

『新装版 つくることば いきることば』(芸術新潮社、2020年)より

「魂の鏡を磨いていないと、そこには本物は映ってこない。」(p.118)
「人の痛みを忘れないこともひとつの想像力だと思う。」(p.142)
「魂を震わせ、呼び覚ますようなものを生み出したい。」(p.144)
「不思議で割り切れない曖昧さ。そういう空気感がわたしにとっては尊い。」(p.147)
「常に断崖絶壁を歩いているような危機感を自分に持って、今できることを精一杯やること。そして、その先にもう一歩だけ踏み出したい。」(p.190)

◎印刷物・会場作成物

・ガイドブックA5判 16頁

内容:

「生きる」(永井一正)

「永井一正 ポスターデザインへの想い」(野澤広紀)

図版

1.幾何学的形態を多用したポスター

2.「生きもの」を登場させたポスター

3.美術館の活動を紹介するポスター

4.個展・グループ展を紹介するポスター

5.《LIFE》シリーズへの歩み

「群馬県立館林美術館の永井一正ポスターコレクション」(野澤広紀)

永井一正 年譜

主要参考文献

執筆:永井一正

解説執筆:野澤広紀(群馬県立館林美術館)

制作:erA

印刷:東京印書館

発行日:2022年2月19日

・ポスター B2

・チラシ A4

制作:erA

・パネル

挨拶1枚、作家挨拶1枚、作家肖像写真1枚、章解説5枚、年表、会場配布用

◎主要関連記事

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・上毛新聞

2.10

「永井さんと作品 記念講演会「永井一正のポスターデザインの魅力」」(先どりピックアップ!)

2.24

「県立館林美術館「永井一正のポスターデザイン」より④《JAGDAポスター展“JAPAN”(かめ)》」*〈アートを愉しむ〉(学芸員 野澤広紀)

3.3

「県立館林美術館「永井一正のポスターデザイン」より④《SAVE(ライオン)》」*〈アートを愉しむ〉(学芸員 野澤広紀)

3.8

「生の多様性、尊さ伝える ポスターデザイン展 来月3日まで、館林美術館 グラフィックデザイナー 永井一正さん」*〈文化〉

3.10

「県立館林美術館「永井一正のポスターデザイン」より⑤《LIFE(とかげ)》」*〈アートを愉しむ〉(学芸員 野澤広紀)

3.22

「県立館林美術館デザイン展 永井さんポスター 息子が作風を解説」*〈地域〉

3.27

「動物のカードできた 館林美術館でワークショップ」*〈地域〉

・新美術新聞

3.1

「永井一正のポスターデザイン—いきること・つくること—」〈展覧会〉

・タウンぐんま 東毛版

2.18

「永井一正のポスターデザイン—いきること・つくること—」〈展覧会〉

・東京新聞

3.8

「デザイナー 92歳 永井さんポスター展 いきること・つくること 館林美術館で140作品展示「芸術性の高さを感じて」」*〈地域の情報〉

[定期刊行物]

・ギャラリー

2022 Vol.3

「永井一正のポスターデザイン—いきること・つくること—」〈今月の展覧会〉

・月刊美術

3月号

「永井一正のポスターデザイン—いきること・つくること—」〈展覧会情報〉

・月刊ブレーン

4月号

「創作の源泉に触れる 珠玉の大型ポスター 永井一正のポスターデザイン—いきること・つくること—」*

・美術の窓

12月号

「永井一正のポスターデザイン—いきること・つくること—」〈日本全国 美術展 一挙紹介!!〉

・raifu(月刊ピリック)

2、3、4月号

「群馬県立館林美術館」〈Art&StageEvent〉

◎放送

[ラジオ]

・FM桐生

2.15

「企画展示「永井一正のポスターデザイン —いきること・つくること—」のお知らせ」〈ぐんまいきいき情報〉

3.8

「企画展示「永井一正のポスターデザイン ―いきること・つくること―」
のお知らせ」〈ぐんまいいきき情報〉

・FM太郎

2.15

「企画展示「永井一正のポスターデザイン ―いきること・つくること―」の
お知らせ」〈ぐんまいいきき情報〉

3.15

「企画展示「永井一正のポスターデザイン ―いきること・つくること―」の
お知らせ」〈ぐんまいいきき情報〉

◎関連事業

・記念講演会

3.5

「永井一正のポスターデザインの魅力」

講師:永井一史氏(アートディレクター、多摩美術大学教授)

・たてび☆びじゅつ部「いきものポストカードを作ろう」

3.12、3.26

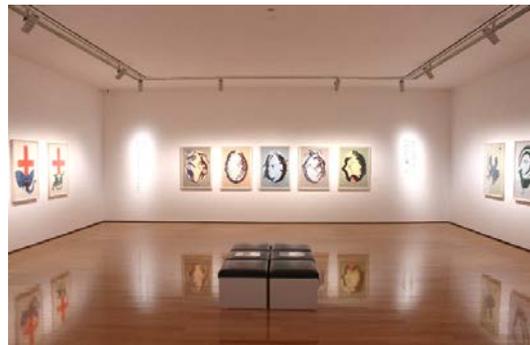
・学芸員による作品解説会

2.24、3.19

・たてび☆キッズウォーク



展示室2



展示室3



展示室4



展示室4

第1期 令和3年7月3日(土)～9月5日(日)

展示室1

「近現代の彫刻Ⅰ 動物、ひと、息づく線と形をめぐって」

第2期 令和4年2月19日(土)～4月3日(日)

展示室1

「近現代の彫刻Ⅱ 立体作品に見る、動物と人の表現」

◎印刷物・会場作成物

「近現代の彫刻Ⅰ 動物、ひと、息づく線と形をめぐって」

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

「近現代の彫刻Ⅱ 立体作品に見る、動物と人の表現」

・パネル1枚

・会場配布用作品リスト

近現代の彫刻 I 動物、ひと、息づく線と形をめぐって
 令和3年7月3日(土)~9月5日(日) 展示室 1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm	所蔵
1	フランソワ・ボンボン	シロクマ	1923 - 1933	ブロンズ	12.0 × 23.5 × 5.0	群馬県立館林美術館
2	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
3	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
4	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951	スチール・ロッド	158.5 × 110.5 × 79.0	群馬県立館林美術館
5	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
6	土谷武	無題	1972	軟鋼	105.0 × 75.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
7	土谷武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
8	イサム・ノグチ	リス	1984 - 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
9	森亮太	石の鼓動	1980	黒大理石	8.0 × 19.5 × 14.0	群馬県立館林美術館 (森猛氏寄贈)
10	森亮太	二つの突起	1982	黒御影石	27.0 × 55.0 × 17.0	群馬県立館林美術館 (飯田秀夫氏寄贈)
11	森亮太	座標	1988	黒御影石	27.5 × 27.0 × 14.0	群馬県立館林美術館 (森とみ子氏寄贈)
12	勅使河原蒼風	ビーナス	1957	木	68.0 × 65.0 × 54.0	群馬県立館林美術館寄託
13	勅使河原蒼風	クサナギ	1967	銅	252.5 × 64.5 × 50.0	群馬県立館林美術館寄託
14	アーブラハム＝ダー フィット・クリスティアン	清らかな人 XI	1982	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28.0	群馬県立館林美術館
15	掛井五郎	人間の問題研究III 四つの 足	1985	ブロンズ	100.0 × 96.0 × 30.0	群馬県立館林美術館寄託
16	ブルーノ・ロメダ	純粹な大円	2003	ブロンズ	188.0 × 191.2 × 20.0	群馬県立館林美術館
「野口哲哉展-THIS IS NOT A SAMURAI」特別出品 野口哲哉			2016	ミクストメディア	9.0 × 3.5 × 2.5	



近現代の彫刻 II 立体作品に見る、動物と人の表現
 令和4年2月19日(土)～4月3日(日) 展示室 1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行) cm	所蔵
1	フランソワ・ボンボン	シロクマ	1923 - 1933	ブロンズ	12.0 × 23.5 × 5.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ボンボン	ボストン・テリヤ「トーイ」	1930 - 1932	石膏	18.8 × 20.2 × 10.0	群馬県立館林美術館
3	シャナ・オルロフ	鳥 1914-1918	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
4	シャナ・オルロフ	魚/噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 40.5 × 13.3	群馬県立館林美術館
5	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8 × 38.6 × 19.2	群馬県立館林美術館
6	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1953	ブロンズ	43.0 × 35.0 × 5.0	群馬県立館林美術館
7	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
8	イサム・ノグチ	リス	1984 - 1988	ブロンズ板	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
9	チェスラフ・ズベール	ターコイズ・フォレスト	1994	ブロンズ、ガラス	46.0 × 51.0 × 35.0	群馬県立館林美術館
10	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
11	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
12	土谷武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
13	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8 × 24.0 × 11.3	群馬県立館林美術館
14	ヘンリー・ムーア	後ろ足で立つ馬	1972	ブロンズ	20.0 × 9.0 × 7.0	群馬県立館林美術館
15	ヘンリー・ムーア	馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6 × 12.0 × 6.5	群馬県立館林美術館
16	ヘンリー・ムーア	母と子	1938	ブロンズ	11.4 × 7.4 × 5.7	群馬県立館林美術館
17	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7 × 5.9 × 7.6	群馬県立館林美術館
18	ヘンリー・ムーア	小さな人体	1983	ブロンズ	14.2 × 6.0 × 5.4	群馬県立館林美術館
19	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951	スチール・ロッド	158.5 × 110.5 × 79.0	群馬県立館林美術館
20	アーブラハム＝ダー フィット・クリスティアン	清らかな人 XI	1982	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28.0	群馬県立館林美術館
21	リサ・ラーソン	2つの横顔	1986	陶器	19.5 × 21.5 × 4.5	群馬県立館林美術館 (作者寄贈)
22	鶴岡政男	転がっている首	1950	ブロンズ	16.8 × 21.0 × 17.5	群馬県立館林美術館
23	鶴岡政男	ロレンスの顔	1951	ブロンズ	6.0 × 4.5 × 5.5	群馬県立館林美術館
24	鶴岡政男	男の顔	1951	ブロンズ	9.2 × 4.5 × 6.5	群馬県立館林美術館
25	高田博厚	海	1962	ブロンズ	77.0 × 34.0 × 29.0	群馬県立館林美術館 (小林進氏寄贈)
26	佐藤忠良	男の顔	1965	ブロンズ	32.5 × 20.0 × 23.0	群馬県立館林美術館 (小林進氏寄贈)
27	藪内佐斗司	縁結び童子	2013	ブロンズ	13.0 × 8.0 × 8.0	群馬県立館林美術館 (作者寄贈)
28	林茂樹	OO-XVIII	2017	陶器	40.0 × 80.0 × 38.0	群馬県立館林美術館寄託



D 彫刻家のアトリエ(別館)展示記録

彫刻家のアトリエの展示ケース内にて資料(一部複製)を展示。展示ごとに配布用解説を作成した。

第1期

「フランソワ・ポンポン関連資料より—彫刻家のアトリエができるまで」

4月24日(土)～6月13日(日)(実際の会期は4/24～5/15)

展示資料: 作品1点、写真(複製)37点、手帳(複製)1点、書籍表紙(複製)1点、その他3点

ポンポンは、パリに出た後、初期に2度の引っ越しをして、モンパルナスのカンパニユ＝ブルミエール通りに住み続けた。晩年の1930年には、同じ通りに新しくアパルトマンの2室を借りてアトリエを増やした。展示では、これらのアトリエと、死後、国立自然史博物館に作られた「ポンポン美術館」、当館の別館「彫刻家のアトリエ」ができるまでの歴史を、写真その他の資料により辿った。

第2期

「フランソワ・ポンポン関連資料より—ポンポンの生まれ故郷ソーリュウ」

7月3日(土)～9月5日(日)

展示資料: 写真16点、絵はがき2点、その他1点(複製)

ポンポンの生まれ故郷の町ソーリュウについて、写真と資料で紹介した。ソーリュウはモルヴァン森林地帯の入口に位置する。ポンポンの父親はこの土地に根ざした木工家具職人であった。ソーリュウのポンポンの生家近くのサン＝タンドッシュ聖堂、フランソワ・ポンポン美術館や町に残されたポンポンの作品について、現地で取材した写真によって紹介した。

第3期

「フランソワ・ポンポン関連資料より—ポンポンの道を開いた彫刻家サン＝マルソー」

9月18日(土)～11月7日(日)

展示資料: 写真14点、絵はがき2点、その他1点(複製)

ポンポンは、当初、下彫り職人の仕事を生活の糧を得るために行ったが、これが動物彫刻への道を開くことになる。29歳から仕事を手伝った彫刻家サン＝マルソーとの縁で、ノルマンディーの田舎で動物をモデルに見出す。サン＝マルソーとのポンポンの仕事や、ノルマンディーにあるポンポンの作品、ポンポンが彫ったサン＝マルソー夫妻の墓などについて、現地取材時の写真によって紹介した。

第4期

「フランソワ・ポンポン関連資料より—石膏のひみつ」

11月23日(火・祝)～4月3日(日)

展示資料: 写真(複製)41点、石膏断片2点

ポンポンの石膏作品は、ブロンズや石の代わりとして作られたものがある。試作として遣る石膏は、ポンポンのリアリズムを解き明かす鍵として重要である。石膏はポンポンの師ロダンも重視した素材であったことが指摘できる。ポンポンは、白という彫刻の色の観点からもこの素材を意識した。展示では、当館の資料にある作者不明の石膏断片も写真や実物により紹介した。



E 入館者数一覧表

企画展示

	有料観覧者							無料観覧者					観覧者 合計	入館者 合計	
	個人			団体				有料 合計	小中生	学校 団体	身体障 害者等	その他			無料 合計
	一般	大高生	小計	一般	大高生	小計									
水に浮かぶ島のように -群馬県立館林美術館 の20年- 4/24-6/13予定 45日 実際の開館は 4/24-5/15、6/1 22日	1,342	80	1,422	25	0	25	1,447	113	25	46	507	691	2,138	2,948	
野口哲哉展-THIS IS NOT A SAMURAI- 7/3-9/5 57日	6,586	498	7,084	2	0	2	7,086	1,204	49	234	4,192	5,679	12,765	13,583	
たてびレポート-開館 20周年を楽しむ展覧 会- 9/18-11/7 44日	2,455	146	2,601	0	0	0	2,601	294	164	148	2,832	3,438	6,039	6,591	
開館20周年 フランソ ワ・ポンポン展 動物 を愛した彫刻家 11/23-1/26 51日	6,537	359	6,896	33	0	33	6,929	538	242	240	2,171	3,191	10,120	11,470	
永井一正のポスター デザイン -いきること ・つくること- 1/23-3/31 35日	2,867	310	3,177	0	0	0	3,177	274	100	162	1,396	1,932	5,109	5,847	
企画展示 計 209日	19,787	1,393	21,180	60	0	60	21,240	2,423	580	830	11,098	14,931	36,171	40,439	

入館者数は、観覧者数に施設利用者数、教育普及事業参加者数を加えた総数。
令和3年度の総入館者数は40,439人である。

A 講演会・アーティストトーク・パフォーマンス

1. 講演会

展覧会に関連した講演会を開催した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
7.3	記念講演会「野口哲哉、そのユニークな世界観を訪ねて」Vol.1	野口哲哉	ほか4名 講堂	52
7.3	記念講演会「野口哲哉、そのユニークな世界観を訪ねて」Vol.1 サイン会	野口哲哉	講堂	26
7.10	野口哲哉 サイン会	野口哲哉	講堂	23
7.11	野口哲哉 サイン会	野口哲哉	講堂	20
7.11	記念講演会「野口哲哉、そのユニークな世界観を訪ねて」Vol.2	野口哲哉	ほか2名 講堂	47
7.11	記念講演会「野口哲哉、そのユニークな世界観を訪ねて」Vol.2 サイン会	野口哲哉	講堂	10
12.5	記念講演会「ポンポンと動物彫刻の世界」	高橋明也	講堂	50
3.5	記念講演会「永井一正のポスターデザインの魅力」	永井一史	講堂	48

2. トークイベント

フランソワ・ポンポンの魅力についてアーティストの目線で語っていただくイベントを開催した。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
12.12	アーティストが語るフランソワ・ポンポン	野口哲哉	講堂	45
12.19	アーティストが語るフランソワ・ポンポン	はしもとみお	講堂	50



記念講演会「野口哲哉、そのユニークな世界観を訪ねて」Vol.1



記念講演会「野口哲哉、そのユニークな世界観を訪ねて」Vol.1サイン会



記念講演会「ポンポンと動物彫刻の世界」



記念講演会「永井一正のポスターデザインの魅力」



アーティストが語るフランソワ・ポンポン(12.12)



アーティストが語るフランソワ・ポンポン(12.19)

B 作品解説会・キッズウォーク・ポンポンツアー

1. 学芸員による作品解説会

各展覧会において、学芸員が作品解説を行った。

開催日	展示の名称	解説者	会場	参加者数
5.8	水に浮かぶ島のように一群馬県立館林美術館の20年	神尾玲子	講堂	19
5.26	水に浮かぶ島のように一群馬県立館林美術館の20年	※ 蔓延防止等重点措置による臨時休館のため中止		
8.8	野口哲哉展—THIS IS NOT A SAMURAI	神尾玲子	研修室	22
8.25	野口哲哉展—THIS IS NOT A SAMURAI	神尾玲子	研修室	16
9.29	たてびレポート—開館20周年を楽しむ展覧会—	熊谷ゆう子	講堂	9
10.16	たてびレポート—開館20周年を楽しむ展覧会—	熊谷ゆう子	講堂	8
12.1	開館20周年記念フランソワ・ポンポン展 動物を愛した彫刻家	松下和美	講堂	22
12.25	開館20周年記念フランソワ・ポンポン展 動物を愛した彫刻家	松下和美	講堂	20
2.24	永井一正のポスターデザイン—いきること・つくること—	野澤広紀	講堂	4
3.19	永井一正のポスターデザイン—いきること・つくること—	野澤広紀	講堂	11

2. たてび☆キッズウォーク

参加者は、ワークシートを持って展示室を自由に探検しながら作品を鑑賞した。

開催日	担当者	会場	参加者数
5.22	※ 蔓延防止等重点措置による臨時休館のため中止		
7.24	伊羅子典代・羽鳥あゆみ	展示室	34
8.28	※ 蔓延防止等重点措置により中止		
10.9	橋本美紀・齋藤久美子	展示室	4
11.6	橋本美紀・齋藤久美子	展示室	10
11.27	齋藤久美子	展示室	15
1.22	橋本美紀・齋藤久美子	展示室	20
2.26	橋本美紀・齋藤久美子	展示室	12

3. ポンポン・ツアー

当館人気のフランソワ・ポンポンの彫刻や公開資料を、学芸員の解説を聞きながら鑑賞した。通常であれば、展示室や彫刻家のアトリエでの解説であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、講堂や研修室において実施した。

開催日	解説者	会場	参加者数
6.6	※ 蔓延防止等重点措置による臨時休館のため中止		
8.1	松下和美	研修室	11



学芸員による作品解説会



学芸員による作品解説会



たてび☆キッズウォーク



ポンポン・ツアー

C ワークショップ

開催日	名称	講師	会場	参加者数
9.18 -11.7	安部泰輔ワークショップ ハヤシガモリ	安部泰輔	展示室4	259
10.3	言葉アートワークショップ 館林バトン	星素子	ワークショップ室 展示室1	6

1. 安部泰輔ワークショップ ハヤシガモリ

企画展示「たてびレポート—開館20周年を楽しむ展覧会—」の出品作家である安部泰輔氏が、会期中毎日展示室に滞在し、ワークショップを開催した。参加者の描いた絵から古着を素材としてぬいぐるみの作品を制作し、出来たぬいぐるみ〔作品〕と絵は、会期最終日まで古着の「木」に「実」として飾り、終了後に郵送で各参加者へ届けられた。

2. 言葉アートワークショップ 館林バトン

企画展示「たてびレポート—開館20周年を楽しむ展覧会—」の出品作家である星素子氏による対話型ワークショップを開催した。紙のロール芯を未来に手わたしたいバトンに見立て、漢字1文字と理由を1人4本記入した後、マーブリングで彩色した。後半は会場（展示室1）に移動し、参加型作品に参加者が作成したバトンを追加し、大きな作品の一部となった。



安部泰輔ワークショップ ハヤシガモリ



言葉アートワークショップ 館林バトン

D 創作体験コーナー みんなのアトリエ「多色摺り木版画の摺り体験」

みんなのアトリエは夏季企画展会期中の事業で、参加者に簡単な多色摺り木版画の摺り体験を提供している。平成21年度より、同会期中に「館林邑楽地区小学生木版画展」を開催していることから、テーマの関連を図り、この事業が始まった。今回は講師に、木版画家の内山良子氏を招き、同氏が制作した版により、摺り方の基本や多色摺りの美しさや面白さを教えていただいた。全4回計画したが蔓延防止等重点措置のため2回中止となった。2回の開催で71名の参加だった。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
7.22	多色摺り木版画の摺り体験	内山良子(木版画家)	ワークショップ室	35
7.29	多色摺り木版画の摺り体験	内山良子(木版画家)	ワークショップ室	36
8.12		※ 蔓延防止等重点措置により中止		
8.19		※ 蔓延防止等重点措置により中止		



みんなのアトリエ「多色摺り木版画摺り体験」



みんなのアトリエ「多色摺り木版画の摺り体験」

E たてび☆びじゅつ部

1. たてび☆びじゅつ部

「たてび☆びじゅつ部」は誰でも気軽に参加できる無料の造形体験コーナーである。展覧会に関連した造形体験を企画開催した。

開催日	名称	会場	参加者数
5.15	ミニ美術館を作ろう	ワークショップ室	30
5.29	ミニ美術館を作ろう	※ 蔓延防止等重点措置による臨時休館により中止	
12.18	ポンポンのマリオネットを作ろう	ワークショップ室	41
3.12	いきものポストカードを作ろう	ワークショップ室	34
3.26	いきものポストカードを作ろう	ワークショップ室	30



たてび☆びじゅつ部「ポンポンのマリオネットを作ろう」



たてび☆びじゅつ部「いきものポストカードを作ろう」

F コンサート・読み聞かせ・その他イベント

1. 連続講座

「開館20周年記念 フランソワ・ポンポン展」にちなみ、フランソワ・ポンポンについてテーマを掘り下げた講座を開催した。

開催日	名称	解説者	会場	参加者数
1.9	ポンポンの石膏のひみつ	神尾玲子	講堂	50
1.16	フランス、ポンポンの故郷を訪ねて①パリ	松下和美	講堂	23
1.23	フランス、ポンポンの故郷を訪ねて②ブルゴーニュとノルマンディー	松下和美	講堂	28



ポンポンの石膏のひみつ



フランス、ポンポンの故郷を訪ねて①パリ

G 学校連携その他

当館では、学校との連携に力を入れており、当館独自の鑑賞プログラム「たてび☆スクールプログラム」を作成し、見学の受け入れや訪問鑑賞授業を積極的に行っている。また、美術館の活用法を紹介する教職員向けのセミナーを開催したり、例年近隣の芸術科を有する西邑楽高校や県立女子大学との連携したイベントを開催したりしている。一般団体においては、解説を希望する団体に、観覧前の概要説明や学芸員による解説を行っている。

1. 学校との連携事業

(1)連携授業等

開催日	名称	学校名、学年	担当	会場	参加者数
5.26	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校	橋本・羽鳥	展示室・別館	9
6.3	訪問授業	桐生市立神明小学校1年生	橋本・羽鳥	桐生市立神明小学校	43
6.9	訪問授業	館林市立第一小学校6年生	熊谷・橋本・星素子氏	館林市立第一小学校	92
6.11	訪問鑑賞授業	館林市立第四中学校2年生	橋本	館林市立第四中学校	35
6.15	訪問鑑賞授業	館林市立第四中学校2年生	橋本	館林市立第四中学校	71
6.16	訪問授業	館林市立第五小学校5, 6年生	熊谷・橋本・星素子氏	館林市立第五小学校	113
6.18	訪問授業	館林市立美園小学校2年生	熊谷・橋本・星素子氏	館林市立美園小学校	60
6.23	訪問授業	館林市立第十小学校6年生	熊谷・橋本・星素子氏	館林市立第十小学校	92
6.25	訪問鑑賞授業	邑楽町立長柄小学校6年生	橋本	邑楽町立長柄小学校	92
6.28	訪問鑑賞授業	館林市立第四中学校2年生	橋本	館林市立第四中学校	40
7.2	訪問鑑賞授業	邑楽町立高島小学校3年生	橋本	邑楽町立高島小学校	35
7.6	訪問授業	館林市立多々良中学校2年生	熊谷・橋本・星素子氏	館林市立多々良中学校	128
7.7	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校	神尾、橋本	講堂・展示室・別館	33
7.8	美術館見学	群馬県立伊勢崎高等特別支援学校	伊羅子	研修室・展示室・別館	25
7.9	訪問授業	館林市立第一小学校1年生	橋本	館林市立第一小学校	95
7.28	絵画教室・美術館見学	渡瀬公民館 館林市立第九小学校 家庭教育学級	橋本	ワークショップ室・展示室・別館	23
8.3	宿題相談室・美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校	橋本・齋藤	ワークショップ室・展示室・別館	9
8.4	宿題相談室・美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校	橋本・齋藤	ワークショップ室・展示室・別館	12
10.14	美術館見学	館林市教育研究所	橋本	研修室・展示室・別館	4
10.21	美術館見学	桐生市立梅田南小学校5年生	橋本・伊羅子	講堂・展示室・別館	19
10.27	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校	橋本	展示室・別館	29
10.27	美術館見学	群馬県立西邑楽高等学校	熊谷・橋本	講堂・展示室・別館	32
11.4	美術館見学	太田市立太田小学校4年生	橋本・齋藤・竹淵	講堂・展示室・別館	72
11.5	美術館見学	邑楽町立高島小学校3年生	橋本・羽鳥	講堂・展示室・別館	34
11.6	美術館見学・ワークショップ	渡良瀬公民館 マナビィクラブ	橋本	講堂・展示室・別館	20
11.24	美術館見学・ワークショップ	伊勢崎市立北小学校5年生	橋本・竹淵	講堂・展示室・別館	29
11.25	美術館見学	太田市立沢野小学校3年生	橋本・伊羅子・羽鳥	講堂・展示室・別館	120
11.26	訪問鑑賞授業	太田市立木崎小学校6年生	橋本・羽鳥	太田市立木崎小学校	95
12.10	美術館見学	館林市立第八小学校2年生	橋本・羽鳥	講堂・展示室・別館	65
1.12	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校1年生	橋本・竹淵	館林市立第二小学校	19
1.13	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校1年生	橋本・羽鳥	館林市立第二小学校	18
1.14	訪問鑑賞授業	太田市立沢野中央小学校4年生	橋本・羽鳥	太田市立沢野中央小学校	68
1.14	美術館見学	群馬大学共同教育学部 美術教育講座	伊羅子	研修室・展示室・別館	15
1.18	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校2,4年生	橋本・竹淵	館林市立第二小学校	80
1.19	訪問鑑賞授業	板倉町立東小学校4年生	橋本・竹淵	板倉町立東小学校	61
1.20	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校2年生	橋本・羽鳥	館林市立第二小学校	27
1.20	美術館見学	邑楽町教育研究所適応指導教室	橋本	研修室・展示室・別館	3
1.21	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校3年生	橋本・羽鳥	館林市立第二小学校	58
1.25	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校2年生	橋本	館林市立第二小学校	53
1.25	美術館見学	羽生市立新郷第二小学校5年生	橋本・竹淵	講堂・展示室・別館	20
1.26	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校5年生	橋本	館林市立第二小学校	48
2.3	訪問鑑賞授業	館林市立第九小学校4年生	橋本	館林市立第九小学校	26
2.17	訪問鑑賞授業	太田市立綿打小学校4, 6年生	橋本・竹淵	太田市立綿打小学校	116
2.18	訪問鑑賞授業	館林市立第二小学校6年生	橋本・竹淵	館林市立第二小学校	57
2.24	訪問鑑賞授業	太田市立綿打小学校5, 6年生	橋本・羽鳥	太田市立綿打小学校	122
3.2	訪問鑑賞授業	桐生市立神明小学校1, 2年生	橋本・羽鳥	桐生市立神明小学校	80
3.15	美術館見学	太田市立木崎小学校6年生	橋本・齋藤・竹淵	講堂・展示室・別館・ ワークショップ室	87
3.17	美術館見学	群馬県立館林高等特別支援学校	橋本	展示室・別館	29

(2)主任会、研修会の実施、参加

開催日 名称	学校名、組織名	担当	会場	参加者数
4.12 館林市中学校美術部会	館林市中学校美術部会	橋本	館林市立第一中学校	7
5.28 打合せ・下見	群馬県立伊勢崎高等特別支援学校	橋本	エントランス・研修室	2
6.1 邑楽郡小学校図工主任会	邑楽郡小学校図工主任会	橋本	研修室・展示室	16
6.8 館林市中学校美術部会	館林市中学校美術部会	橋本	館林市立第二中学校	6
8.3 打合せ・下見	太田市立太田小学校	橋本	研修室・講堂・展示室	3
8.12 打合せ・下見	桐生市立北小学校	橋本	エントランス・講堂・展示室	1
8.25 打合せ・下見	太田市立沢野小学校	橋本	研修室・講堂・展示室	4
10.8 打合せ・下見	群馬県立館林高等特別支援学校	橋本	エントランス・展示室	1
11.16 邑楽郡小学校図工主任会	邑楽郡小学校図工主任会	橋本	研修室	14
11.19 明和町立明和西小学校校内研修	明和町立明和西小学校	橋本	明和町立明和西小学校	20
1.9 研修・アートカード貸出し	大泉町立南小学校	橋本	エントランス・展示室	1
3.8 打合せ・下見	群馬県立館林高等特別支援学校	橋本	エントランス・展示室	1

(3)「先生のための美術館サマーセミナー」の開催

開催日 名称	担当	会場	参加者数
8.18 先生のための美術館サマーセミナー	橋本	研修室・展示室・別館	6

学校の夏季休業期間中に、教職員を対象とした「先生のための美術館サマーセミナー」を開催した。本事業は、教職員が美術館をもっと身近なものとしてとらえ、学校の授業や行事の中に気軽に取り入れ、活用していけるように企画したものである。「たてび☆スクールプログラム」について、利用例をスライドで紹介したり、ワークシートを使った鑑賞やアートカードゲームなどを実際に体験していただいたりした。



学校訪問鑑賞授業



美術館見学

2. 群馬県立西邑楽高等学校との連携事業

(1)高校生による夏休み宿題相談室

県立西邑楽高等学校の芸術科美術コースの生徒が、小中学生に絵やポスターなど夏休みの課題についてアドバイスをするワークショップを2日間に分けて実施した。参加者は、高校生からのアドバイスをもとに、熱心に制作に励んでいた。また、高校生たちは、小中学生との交流を通して、教えることの難しさを感じながらもふれあいを楽しみながら活動していた。

開催日 名称	会場	参加者数
8.3 高校生による夏休み宿題相談室	ワークショップ室	12
8.4 高校生による夏休み宿題相談室	ワークショップ室	12

3. 群馬県立女子大学との連携事業

県立女子大学奥西ゼミと連携して、夏休み期間中の子どもたちを主な対象としたワークショップを企画した。今年度で8回目となる今回は、企画展示「野口哲哉展」に関連し、型紙を切り、円錐状に組み立てたものに飾りをつけ、実際にかぶることができるオリジナルのかぶとを制作する予定であったが蔓延防止等重点措置により、中止となった。事前申込をしていた希望者に材料配布日を設け、ホームページに県立女子大が作成した作り方動画を紹介した。

開催日	名称	会場	参加者数
8.22	オリジナルかぶとを作ろう 作成キット配布	研修室	44



高校生による夏休み宿題相談室



群馬県立女子大学 奥西ゼミ ワークショップ
「オリジナルかぶとを作ろう」作成キット配布

4. 団体観覧者への解説

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
人数	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	29

H 地域に開かれた美術館づくり

館林美術館の施設と機能を活かして、地区小学生の健全育成、芸術創作活動の振興、美術鑑賞力の向上を図るとともに、地域に開かれた美術館づくりを推進するために、館林が生んだ木版画家である藤牧義夫にちなみ、館林市及び邑楽郡5町の各市町及び各市町教育委員会の協力を得て、「第13回 藤牧義夫記念 館林邑楽地区小学生木版画展」を開催した。会場は講堂を使用し、参加小学校全25校を一週間6会期に分けて展示した。31日間の全会期中に、合計1,896人が観覧した。

会期	開催期間	参加校	入室者数
第1期	7.17-7.22	館林市立第一小学校、館林市立第二小学校、館林市立第三小学校、館林市立第四小学校	327
第2期	7.24-7.29	館林市立第五小学校、館林市立第六小学校、館林市立第七小学校、館林市立第八小学校、館林市立第九小学校	288
第3期	7.31-8.5	館林市立第十小学校、館林市立美園小学校、板倉町立東小学校、板倉町立西小学校	331
第4期	8.7-8.12	明和町立明和東小学校、明和町立明和西小学校、大泉町立南小学校、大泉町立北小学校	310
第5期	8.14-8.19	大泉町立西小学校、大泉町立東小学校、千代田町立西小学校、千代田町立東小学校	394
第6期	8.21-8.26	邑楽町立中野小学校、邑楽町立高島小学校、邑楽町立長柄小学校、邑楽町立中野東小学校	246



ポスター



展示会場

◎主要関連記事(教育普及事業・その他)

(長文記事は末尾に*、県内媒体の情報のみの記事は省略)

[新聞等]

・桐生タイムス

4.15

「山口晃さん初期の大作 県が購入、館美で展示へ 県として初の所蔵 東京芸大卒業制作の「深山寺参詣圖」*」

・週間 風っ子

5.23

「好奇心を刺激 感性豊かに 子ども向けに工夫 おしゃべりOKや分かりやすく説明」

・上毛新聞

7.8

「木版の多色摺り みんなのアトリエ 多色摺り木版画の摺り体験」〈先どりピックアップ!〉

7.18

「館林美術館 動物や植物 個性豊かな小学生版画展」* (地域)

7.23

「4色重ねて 館林美術館で木版画体験」* (地域)

1.14

「館美から講師二小で特別授業 物の手触り違い楽しむ」* (地域)

[定期刊行物]

・ぶらぶら美術・博物館 プレミアム アートブック 2021-2022

8.23

「自然と人間のかかわりにフォーカスした近・現代美術 群馬県立館林美術館」*

I 刊行物

◎群馬県立館林美術館令和3年度事業案内
B4判変形4つ折り
令和3年3月発行
発行部数 20,000部



J ボランティア

年間登録制のボランティア、「たてび★サポーター」は、主にワークショップの制作サポート、「たてび☆キッズウォーク」の受付サポート、館内の資料整理等を活動としている。今年度は企画展「たてびレポート」の展示作業や展示室内でのサポートなども行った。その他、随時、活動に合わせた研修会を開催し、コミュニケーションを図りつつ、円滑な美術館の普及活動に貢献している。募集は通年で行い、今年度の登録数は43名である。

期日	名称	人数
4.24	研修会等	12
5.8、9.7-11.9中の29日間	「たてびレポート」展示作業・展示室内サポート等	91
7.15、7.22、7.29	「みんなのアトリエ」制作サポート等	29
7.24、10.9、11.6、11.27、1.22、2.26	「たてび☆キッズウォーク」サポート	17
5.15、12.18、3.12、3.26	「たてび☆びじゅつ部」制作サポート	33
5.13、12.9、12.23、1.6、1.20、3.3、3.17	資料整理	19

K 友の会(群馬県立館林美術館友の会)

1. 運営会議

- (1)総会(6.2) 書面協議
- (2)理事会(5.20) 書面協議
- (3)運営委員会(2回開催5.13 11.24 1回書面協議 2.1)
事業の企画運営等具体的事項の協議

2. 美術館協力支援事業

- (1)ミュージアムショップの運営
展覧会商品、図録、オリジナル商品、書籍その他の展示販売を通して来館者へのサービス向上に努めた。
- (2)美術館への協力
ミュージアムショップの利益から書籍、ミーティングテーブル等を寄贈した。

3. 会員対象事業

- (1)美術館情報の提供(年10回、4.28、5.14、5.20、6.2、6.15、9.8、11.4、12.9、2.3、3.24)
展覧会や美術講座等の広報資料や、友の会からのお知らせ等を随時会員宛に送付した。
- (2)コンサートの開催
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を考慮し中止とした。
- (3)ミュージアム・ツアーの開催
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を考慮し中止とした。
- (4)館長レクチャー(2.27)
「わが国における漆芸の保護」について 参加者21名
- (5)アンケート事業(6.15)
友の会の事業運営に役立てるため、DMにてアンケート用紙を配布し意見・要望を募った。

所蔵資料

A 美術作品

1. 作品収蔵状況 令和4年3月31日現在

作家区分 収蔵方法 部門	県内作家			国内作家			外国作家			総計
	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	
日本画	4	9	13	1	1	2	0	0	0	15
油彩その他	8	2	10	18	21	39	6	1	7	56
水彩・素描	10	6	16	3	5	8	8	6	14	38
版画	22	0	22	289	597	886	52	0	52	960
写真・映像	0	0	0	60	8	68	12	0	12	80
彫刻	5	8	13	4	5	9	125	1	126	148
染織・工芸	5	3	8	3	0	3	4	1	5	16
計	54	28	82	378	637	1015	207	9	216	1313

2. 令和3年度 収蔵作品

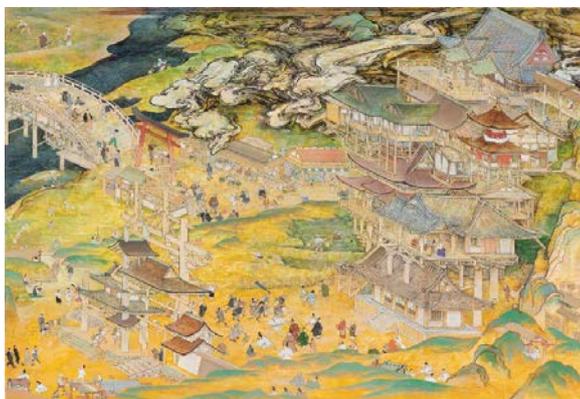
令和3年度においては、油彩その他3点(購入1点、寄贈2点)、水彩・素描2点(寄贈2点)、版画20点(寄贈20点)の計25点を新たに収蔵した。

以下、区分ごとに50音順に配列している。各作品データは、以下の順に記す。

- ・作者名(生没年)
- ・作品名
- ・制作年(日本人作家の場合は元号も付す)
- ・技法・材質(・形状)
- ・寸法(平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行、単位はcm)
- ・サイン、年記、その他の記載事項
- ・初発表展覧会および受賞記録
- ・受入種別
- ・受入番号

< 油彩その他 >

山口晃(1969-)
YAMAGUCHI Akira
深山寺参詣圖
1994
油彩・カンヴァス
170.0×210.0
「平成5年度東京藝術大学
美術学部 絵画科油画専攻
卒業制作展」
(東京都美術館、1994年)
購入



清宮質文(1917-1991)
SEIMIYA Naobumi
未完(絶筆)
1991
水彩・ガラス
12.4×16.5
「清宮質文のまなざし」
(高崎市美術館、2004年)
新井昭彦氏寄贈
1290



清宮質文(1917-1991)
SEIMIYA Naobumi
未完(絶筆3)
1991
水彩・ガラス
12.1×14.3
「清宮質文展—木精の魔術師—」
(神奈川県立近代美術館、1997年)
新井昭彦氏寄贈
1291



<水彩・素描>

清宮質文(1917-1991)
SEIMIYA Naobumi
未完(絶筆)
1991
水彩・紙
21.2×25.0
「清宮質文のまなざし」
(高崎市美術館、2004年)
新井昭彦氏寄贈
1292



清宮質文(1917-1991)
SEIMIYA Naobumi
未完(絶筆)
1991
水彩・紙
22.8×30.5
「清宮質文のまなざし」
(高崎市美術館、2004年)
新井昭彦氏寄贈
1293



<版画>

清宮質文(1917-1991)
SEIMIYA Naobumi
失題
1983
モノタイプ・紙
20.8×16.2
新井昭彦氏寄贈
1294



清宮質文(1917-1991)
SEIMIYA Naobumi
失題
1983
モノタイプ・紙
19.5×11.7
新井昭彦氏寄贈
1295



永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE10
2003
エッチング・紙
23.8×17.6
「生命のうた 永井一正版画展」
(クリエイションギャラリーG8、
2007年)
※本作とエディションは異なる
作者寄贈
1296



永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE64
2006
エッチング・紙
23.6×17.6
「生命のうた 永井一正版画展」
(クリエイションギャラリーG8、
2007年)
※本作とエディションは異なる
作者寄贈
1297



永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE83
2009
エッチング・紙
23.6×17.7
作者寄贈
1298



永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE89
2010
エッチング・紙
23.7×17.6
作者寄贈
1299



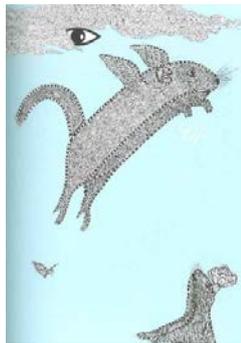
永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE99
2011
エッチング・紙
23.8×17.6
作者寄贈
1300



永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE 2004
2004
シルクスクリーン・紙
103.0×72.8
作者寄贈
1301



永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE 2004
2004
シルクスクリーン・紙
103.0×72.8
作者寄贈
1302



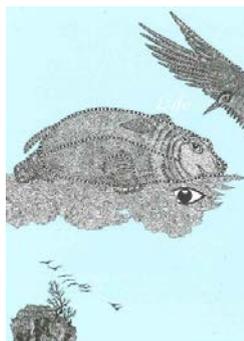
永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE 2004
2004
シルクスクリーン・紙
103.0×72.8
作者寄贈
1303



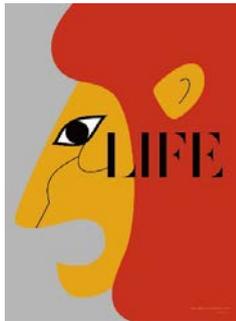
永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE 2004
2004
シルクスクリーン・紙
103.0×72.8
作者寄贈
1304



永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE 2004
2004
シルクスクリーン・紙
103.0×72.8
作者寄贈
1305



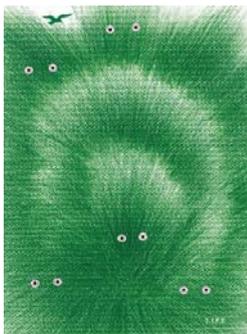
永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE 2015
2015
インクジェット・紙
103.0×72.8
作者寄贈
1306



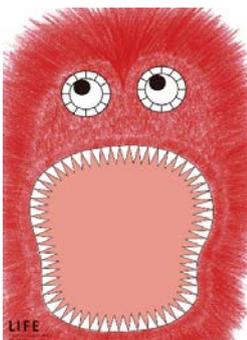
永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE 2017
2017
インクジェット・紙
103.0×72.8
作者寄贈
1307



永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE 2018
2018
インクジェット・紙
103.0×72.8
作者寄贈
1308



永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE 2019
2019
インクジェット・紙
103.0×72.8
作者寄贈
1309



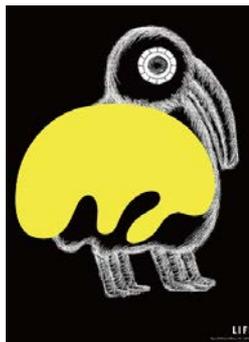
永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE 2020
2020
インクジェット・紙
103.0×72.8
作者寄贈
1310



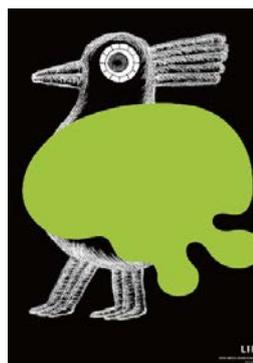
永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE 2021
2021
インクジェット・紙
103.0×72.8
作者寄贈
1311



永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE 2021
2021
インクジェット・紙
103.0×72.8
作者寄贈
1312



永井一正(1929-)
NAGAI Kazumasa
LIFE 2021
2021
インクジェット・紙
103.0×72.8
作者寄贈
1313



3. 令和3年度 寄託作品

作者名	作品名(* 新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法(cm)						
				縦	×	横または高さ	×	幅	×	奥行
伊藤博敏	ZIP STONE Metal Age	2013	自然石、ファスナー、ステンレス球	12.0	×	13.0	×	7.5		
大坂秩加	あなたに縁起のいい門出を	2010	リトグラフ・紙	25.0	×	16.0				
大坂秩加	ちょっと高い合コン	2011	アクリル、水彩、色鉛筆、チョーク・麻布	70.0	×	50.0				
大坂秩加	カップヌードルをすする	2012	アクリル、水彩、色鉛筆、白亜地・パネル	120.0	×	90.0				
上根拓馬	27ガーディアンズ 大弁功德天	2010	エポキシ樹脂、レジンキャスト	15.0	×	15.0	×	30.0		
上根拓馬	28ガーディアンズ 那羅延堅固	2010	エポキシ樹脂、レジンキャスト	15.0	×	15.0	×	30.0		
上根拓馬	28ガーディアンズ 那羅延堅固	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト	25.0	×	25.0	×	55.0		
上根拓馬	28ガーディアンズ 密遮金剛力士	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト	25.0	×	25.0	×	55.0		
上根拓馬	12ガーディアンズ no.2 伐折羅大将	2011	エポキシ樹脂、レジンキャスト、ミクストメディア	15.0	×	15.0	×	30.0		
上根拓馬	12ガーディアンズ the Devas no.7 毘沙門天	2013	エポキシ樹脂、レジンキャスト、ミクストメディア	25.0	×	25.0	×	43.0		
白石綾子	room of womb	2010	アクリル、油彩・パネル	120.0	×	120.0				
樽谷タカシ	妖怪力車	2011	アクリル、金箔・木製パネル	33.3	×	53.1				
中井章人	引きずりの観測	2010	ミクストメディア	11.0	×	11.0	×	12.5		
にしはら あずさ	グレタ	2010	油彩・コットンクロスパネル	41.0	×	31.8				
にしはら あずさ	あの子と逸れた	2011	油彩・コットンクロスパネル	162.1	×	112.1				
町田久美	招き猫	不詳	ミクストメディア	7.5	×	8.5	×	14.0		
町田久美	らんちゅうタクシー	1998	スクリーンプリント・紙	87.0	×	42.7				
町田久美	“Das rote Kostüm”―三浦哲郎「赤い衣装」ドイツ語版表紙―	2010	青墨、岩絵具、顔料・雲肌麻紙	22.8	×	16.5				
町田久美	オモチャ	2011	グワッシュ、デジタルプリント・紙	29.4	×	39.0				
町田久美	a year	2012	岩絵具、リキテックス、鉛筆・カンヴァス	10.0	×	10.0				
町田久美	鞭	2012	鉛筆、色鉛筆、オイルパステル・紙	30.0	×	21.0				
町田久美	前夜	2013	エッチング、リトグラフ、金箔、手彩色・紙	22.7	×	19.2				
町田久美	前夜	2014	エッチング、リトグラフ、金箔、手彩色・紙	22.7	×	19.4				
三宅砂織	ベッドルーム2	2008	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	70.0	×	70.0				
山口長男	人(Ⅲ)	1980	リトグラフ・紙	58.0	×	43.0				
山田純嗣	10-11 FLOWERS	2010	ポリコートパネル、印画紙、樹脂、パールペイント、インタリオ・オン・フォト	65.0	×	65.0				
横尾忠則	予兆の刻3	1989	シルクスクリーン・紙	112.0	×	70.0				
岸浪百草居	画卷(魚など)	未詳	紙本著色・卷子	24.0	×	625.9				
津田青楓	山高水長画卷	1937	紙本著色・卷子	30.2	×	538.2				
森田恒友	漁村図	未詳	紙本墨画・軸	94.5	×	90.0				
太田三郎	200 Year After SHARAKU, from 1 June 1994 to 28 February 1995	1996	切手にコピー、20シート	各35.2	×	24.5				
清水証博	image of Mr.S-A	1996	陶	103.0	×	45.0	×	45.0		
清水証博	image of Mr.S-B	1996	陶	38.0	×	109.0	×	45.0		
深井隆	記憶―写楽	1996	木、紙、顔料	220.0	×	43.0	×	37.0		
藤本由紀夫	SHARAKU BOX (Mizueemon)	1996	木、オルゴールユニット	40.0	×	26.0	×	20.0		
藤本由紀夫	SHARAKU BOX (Mikinoshin)	1996	木、オルゴールユニット	40.0	×	26.0	×	20.0		
藤本由紀夫	SHARAKU BOX (Mizueemon)	1996	木、オルゴールユニット	40.0	×	26.0	×	20.0		
藤牧義夫	高根山の松	1935	水彩・紙	28.8	×	23.6				
藤牧義夫	(デザイン画)		水彩・紙	28.8	×	23.7				

作者名	作品名(* 新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法(cm)		
				縦×横または高さ×幅×奥行		
藤牧義夫	達磨	1933	木版・紙	18.2	×	21.3
藤牧義夫	(静物3・香爐)		鉛筆・紙	23.4	×	28.8
藤牧義夫	(風景3・ガスタンク)		水彩・紙	23.5	×	31.0
藤牧義夫	(男体山)		水彩・紙			
藤牧義夫	(《給油所》印刷物)					
新井一男	高根山より大小山を望む景		水彩・紙	23.5	×	28.8
藤牧義夫	井の頭風景	1934	木版・紙	14.8	×	16.9
藤牧義夫	鶴の間の池	1935	水彩・紙	21.0	×	18.0
藤牧義夫	(サボテン)	1934	水彩、墨・紙	21.0	×	18.0
藤牧義夫	谷馬川の景	1935	水彩・紙	23.4	×	28.8
藤牧義夫	(風景1・とがった木)		水彩・紙	23.5	×	31.2
藤牧義夫	(《給油所》印刷物)					
新井一男・藤牧義夫	(静物4・ろうそく)		水彩・紙	23.6	×	28.8
新井一男	邑楽郡のある村を流るゝ谷場川	1930	水彩・紙	23.5	×	28.8
藤牧義夫	(静物1・りんご)		水彩・紙	23.6	×	28.8
藤牧義夫	(静物2・ろうそく)		水彩・紙	23.6	×	28.8
藤牧義夫	(風景2・丸い木)		水彩・紙	24.8	×	28.8
藤牧義夫	尾曳見晴し	1934	水彩・紙	21.2	×	18.0
新井一男・藤牧義夫	(静物5・あさがお)		水彩・紙	28.6	×	23.6
清宮質文	むかしのはなし	1958	木版・紙	8.1	×	16.6
清宮質文	葦	1958	木版・紙	21.6	×	18.7
清宮質文	古い日	1960	木版・紙	17.2	×	14.4
清宮質文	幼きもの	1963	木版・紙	24.0	×	21.4
清宮質文	蝶	1963	木版・紙	24.7	×	22.2
清宮質文	眠り	1966	木版・紙	19.8	×	27.8
清宮質文	夏の終り	1967	木版・紙	10.4	×	22.3
清宮質文	九月の海辺	1970	木版・紙	13.4	×	23.4
清宮質文	歳月	1970	木版・紙	18.3	×	25.8
清宮質文	北辺の小屋	1971	ガラス絵	15.6	×	21.4
清宮質文	暗い夕日(版画集『暗い夕日』1)	1972	木版・紙	21.5	×	19.3
清宮質文	冬(版画集『暗い夕日』2)	1972	木版・紙	23.2	×	22.0
清宮質文	トンネルの出口 (版画集『暗い夕日』3)	1972	木版・紙	23.5	×	20.0
清宮質文	虜囚の窓(版画集『暗い夕日』4)	1972	木版・紙	24.6	×	20.0
清宮質文	夕方の静物 (版画集『暗い夕日』5)	1972	木版・紙	23.3	×	22.0
清宮質文	窓のカンテラ (版画集『暗い夕日』6)	1972	木版・紙	24.4	×	14.3
清宮質文	入日(版画集『暗い夕日』7)	1972	木版・紙	16.2	×	25.8
清宮質文	町外れ(版画集『暗い夕日』8)	1972	木版・紙	13.8	×	22.4
清宮質文	夕日の静物 (版画集『暗い夕日』9)	1972	木版・紙	13.9	×	22.3
清宮質文	壇の中の魚 (版画集『暗い夕日』10)	1972	木版・紙	20.2	×	22.6
清宮質文	窓のランタン	1972	木版・紙	24.4	×	14.2
清宮質文	深夜の蠟燭	1974	木版・紙	17.8	×	15.1
清宮質文	星占(去りゆく凶星)	1975	木版・紙	15.2	×	17.9
清宮質文	秋の夕日	1976	木版・紙	16.0	×	14.3
清宮質文	作品	1981	水彩・紙	9.8	×	16.1
清宮質文	われむかしの日いこしえの年をおもえり	1982	木版・紙	15.1	×	13.0
清宮質文	黑夜の鳥	1982	木版・紙	13.9	×	17.5
清宮質文	夢の中へ	1983	木版・紙	15.7	×	6.9
清宮質文	失題	1983	モノタイプ・紙	21.2	×	16.2
清宮質文	秋の午後	1985	木版・紙	11.0	×	23.4
清宮質文	なんじの革囊にわが涙を	1985	木版・紙	17.8	×	16.8
清宮質文	夕日のとり	1985	木版・紙	7.9	×	16.0
清宮質文	晩夏	1985	木版・紙	6.8	×	7.0
清宮質文	月と運河(試作)	1987	木版・紙	16.3	×	16.5
清宮質文	冬の夕(絶筆)	1991	ガラス絵	12.3	×	16.2
中平四郎	讀賣	1924	木彫	60.0	×	34.0 × 25.0

作者名	作品名(*新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法(cm)				
				縦	横	高さ	幅	奥行
長重之	視床～青	1995	木、布、アクリル	100.0	×	162.0	×	7.0
長重之	視床	2010	水彩、コラーージュ・紙	92.5	×	116.0		
山口啓介	花の心臓 / 炭素原子モデル	2003	顔料、樹脂、自家製樹脂、アクリル・カンヴァス	270.0	×	181.0		
山口啓介	花の心臓 / 蕊柱	2003	油彩・カンヴァス	270.0	×	181.0		
大森暁生	Swan in the frame (Type-A)	2006	檜、漆、彩色、ステンレス、アガチス、銅	70.0	×	130.0	×	67.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 1	不詳	樹皮、木、イノシシの骨	130.0	×	146.0	×	6.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 4	不詳	樹皮、木	110.0	×	147.0	×	15.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品 5	不詳	樹皮、木	135.0	×	65.0	×	7.0
スタン・アンダソン	犬の散歩道－暮坂高原古道再生プロジェクト(部分)	2015	樹皮	180.0	×	290.0	×	25.0
スタン・アンダソン	紙漉き作品(六合の地図)	不詳	樹皮					
スタン・アンダソン	立体作品	不詳	樹皮、木、動物の骨	186.0	×	136.0	×	100.0
スタン・アンダソン	動物の絵柄の紙漉き作品 14点	不詳	樹皮、貝殻	直径約30				
スタン・アンダソン	ドローイング 1	不詳	パステル・紙	54.0	×	40.0	×	
スタン・アンダソン	ドローイング 2	不詳	パステル・紙	54.0	×	40.0	×	
スタン・アンダソン	ドローイング 3	不詳	パステル・紙	79.0	×	109.0	×	
スタン・アンダソン	ドローイング 4	不詳	墨・紙	79.0	×	109.0	×	
スタン・アンダソン	ドローイング(11点)	不詳	鉛筆・紙	30.0	×	23.0	×	
スタン・アンダソン	書籍(21冊)							
	鹿島茂コレクション フランス絵本(353件)							
渡辺香奈	The River	2012	油彩・カンヴァス	194.0	×	1042.4		
掛井五郎	人間の問題研究III四つの足	1985	ブロンズ	100.0	×	96.0	×	30.0
岡本健彦	風神・雷神	1993	油彩、鉛、ステンレススチール、カンヴァス、合板	183.0	×	200.0	×	398.0
三輪途道	YUUKO	1996-2004	檜、漆、膠、白土、顔料	153.0	×	48.0	×	25.0
三輪途道	野辺の王様	1998	檜、漆、膠、白土、顔料	125.0	×	32.0	×	40.0
三輪途道	温度-H.MIWA-	1999	檜、漆、膠、白土、顔料	99.0	×	57.0	×	37.0
三輪途道	縄文からの道	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	12.0	×	25.0	×	16.0
三輪途道	TOKYO-2000.1.12.Age60-	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	102.0	×	50.0	×	28.0
三輪途道	猿を待ってた日	2000	檜、漆、膠、白土、顔料	23.0	×	16.5	×	23.0
三輪途道	下仁田ーおじい	2003	檜、漆、膠、顔料	79.0	×	59.0	×	64.0
三輪途道	下仁田ーおばあ	2003	檜、漆、膠、顔料	83.0	×	50.0	×	56.0
三輪途道	おじいの宝II(金歯の位置違い)	2003	檜、漆、金箔	3.0	×	7.5	×	5.0
三輪途道	おじいの抜け殻	2003	檜、漆、膠、顔料	14.0	×	44.0	×	38.0
三輪途道	猫の抜け道	2005	檜、漆、膠、顔料	25.0	×	68.0	×	14.0
三輪途道	発電所のなめくじ	2005	檜、漆、膠、白土、顔料	4.0	×	6.0	×	14.0
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	5.0	×	8.0	×	20.0
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	6.0	×	9.0	×	28.0
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	13.0	×	10.0	×	18.0
		2005	檜、漆、膠、白土、顔料	13.0	×	10.0	×	18.0
三輪途道	父子像	2007	檜、漆、膠、顔料	175.0	×	42.0	×	42.0
三輪途道	乳母と私II	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	90.0	×	58.0	×	71.0
三輪途道	父子像II	2007	檜、漆、膠、白土、顔料	159.0	×	99.0	×	8.0
アルブレヒト・デューラー	書斎の聖ヒエロニムス	1514	エングレーヴィング・紙	24.4	×	18.8		
アンディ・デンツラー	Sant Francesc III	2018	油彩・カンヴァス	140.0	×	120.0		
アンディ・デンツラー	At a Stranger's table	2018	油彩・カンヴァス	80.0	×	70.0		
アンディ・デンツラー	Woman Lying in a Corner	2018	油彩・カンヴァス	80.0	×	70.0		
会田誠	トラウマンボーイ02	2007	パネル、色鉛筆、水彩絵具、油性マーカー・紙	36.5	×	51.5		
会田誠&加藤愛	愛ちゃん盆栽(ほおずき)小料理屋にて	2008	ラムダプリント	86.8	×	125.0		
梅沢和木	BLACK OMEN and CloudSBX	2020	パネルに画像を出力した光沢紙、アクリル、油彩、カンヴァス	126.0	×	126.0		
梅沢和木	Imperishable Windows	2020	パネルに画像を出力した光沢紙、アクリル、油彩、カンヴァス	126.0	×	126.0		

作者名	作品名(* 新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法(cm)				
				縦	×	横または高さ	×幅	×奥行
梅沢和木	R20	2020	パネルに画像を出力した光沢紙、アクリル、油彩、カンヴァス	21.0	×	29.7		
梅沢和木	BGS矩形倶楽部	2019	パネルに画像、アクリル、ペン、色鉛筆、カンヴァス	42.0	×	59.4		
梅沢和木	マジエスティック・ハザード	2012	パネルに画像を出力した光沢紙、カンヴァス	72.8	×	51.5		
梅沢和木	plan888*	2021	紫外線硬化樹脂(StareReap 2.5プリント)にアクリル	55.5	×	55.5		
梅沢和木	perfectD*	2021	紫外線硬化樹脂(StareReap 2.5プリント)にアクリル	55.5	×	55.5		
梅沢和木	Happy Material*	2021	紫外線硬化樹脂(StareReap 2.5プリント)にアクリル	55.5	×	55.5		
梅沢和木	A*	2021	パネルに画像を出力した光沢紙、アクリル	126.0	×	194.0		
大竹利絵子	へび	2006	木	31.0	×	21.5	×	17.0
加藤泉	無題	2000	油彩・カンヴァス	40.7	×	24.0		
加藤泉	無題	2009	油彩・カンヴァス	33.3	×	24.0		
加藤泉	Untitled	2017	ソフトビニール、金属	60.0	×	17.0	×	18.0
川島秀明	stare	2008	アクリル・カンヴァス	50.0	×	72.7		
カンノサカン	無題	2007	ウレタン、アクリル・パネルに貼られたカンヴァス	30.0	×	30.0		
KYNE	Untitled	2020	アクリル、ABSレジン	32.0	×	80.0	×	52.5
熊谷守一	裸	1948	油彩・板	23.8	×	33.2		
コバヤシ麻衣子	You Know The Answer*	2021	アクリル絵具・和紙、キャンバス	130.3	×	130.3		
コバヤシ麻衣子	そこからいる*	2021	アクリル絵具・和紙、キャンバス	145.5	×	112.0		
コバヤシ麻衣子	グッドラック*	2021	アクリル絵具・和紙、キャンバス	100.0	×	65.2		
阪本トクロウ	バード	2007	アクリルガッシュ・雲肌麻紙	40.6	×	40.6		
田中敦子	Work	2004	パステル・紙	33.2	×	24.3		
田中敦子	作品	2001	エナメル・紙・カンヴァス	15.0	×	15.0		
田中敦子	作品	2002	合成エナメル塗料・カンヴァス	60.2	×	50.1		
Chim ↑ Pom	イケてる人達みたい02	2008	C-Print、DVD	31.0	×	31.0		
奈良美智	Untitled	1990	アクリル・紙	49.3	×	34.2		
西尾康之	stand up	1997	陰刻鋳造、ファイバープラスチック	77.5	×	36.0	×	12.0
日野之彦	パーマ	2007	鉛筆・ケント紙、額装	103.5	×	72.5		
日野之彦	縞の服	2008	鉛筆・紙、額装	101.6	×	50.4		
日野之彦	二人は走る	2010	油彩・カンヴァス	259.1	×	193.9		
日野之彦	見つめ合い	2011	油彩・カンヴァス	91.0	×	91.0		
日野之彦	涼しい風	2018	色鉛筆、紙	43.3	×	34.2		
日野之彦	曇り空	2018	色鉛筆、紙	50.4	×	66.7		
町田久美	ひとり	2003	墨・雲肌麻紙	130.0	×	97.0		
松井冬子	同世代のエジプト人	2007	ドローイング、額装	43.7	×	36.7		
松井冬子	トトメス4世	2007	ドローイング、額装	36.2	×	44.1		
ロッカクアヤコ	Untitled	2014	アクリル・段ボール	63.0	×	63.0		
ロッカクアヤコ	Untitled	2016	アクリル・段ボール	53.0	×	40.0		
ロッカクアヤコ	Untitled	2017	アクリル・カンヴァス	80.0	×	80.0		
ロッカクアヤコ	Untitled	2017	アクリル・カンヴァス	140.0	×	100.0		
ロッカクアヤコ	Untitled	2018	アクリル・スーツケース	47.0	×	71.0	×	18.0
ロッカクアヤコ	Untitled	2019	アクリル・カンヴァス	100.0	×	100.0		
ロッカクアヤコ	Untitled	2021	陶器	39.0	×	13.8	×	28.7
西村盛雄	甘露の雨 マナ9	2002	木	37.0	×	220.0	×	220.0
勅使河原蒼風	群れ	1953	鉄	103.0	×	184.0	×	57.0
勅使河原蒼風	ビーナス	1957	木	68.0	×	65.0	×	54.0
勅使河原蒼風	クビ	1962	木	129.5	×	62.5	×	30.0

作者名	作品名(* 新規寄託)	制作年	技法・材質	寸法(cm)				
				縦	横または高さ	幅	奥行	
勅使河原蒼風	わかれ	1963	鉄	120.0	×	33.0	×	32.5
勅使河原蒼風	クサナギ	1967	銅	252.5	×	64.5	×	50.0
勅使河原蒼風	ミコ	1967	銅	96.0	×	49.0	×	25.0
勅使河原蒼風	題不詳	不詳	銅	44.0	×	53.0	×	48.0
坂本幸重	鮭	2003	紙本着色・額装	60.0	×	100.0		
林茂樹	00-XVIII	2017	磁器	40.0	×	80.0	×	38.0
長重之	笑い続ける二つの州の間で	1990	断熱材、布、木、アクリ	242.0	×	170.0	×	11.5
長重之	笑い続ける二つの州の間で	1990	断熱材、布、木、アクリ	200.0	×	146.0	×	11.5
ボスコ・ソディ	Untitled	2016	ミクストメディア・カンヴァス	200.0	×	200.0		

4. 館蔵作品貸出状況

4-1. 館蔵作品貸出状況

作者名	作品名(* 寄託作品)	貸出先	展覧会名	会場・会期
林茂樹	00-XVIII*	岐阜県美術館	素材転生 Beyond the Material	岐阜県美術館 4.24-6.20 (5.24-5.31 新型コロナウイルス防止 のため臨時休館)
南桂子	2羽の鳥と落葉 風景 春の野原 少女 猫と少女 冬 こうのとり 花の籠 船 木 巣と鳥 落葉 林 草の中の鳥 鳥と花 街 海の塔 湖と白い鳥 少女 山 池 花のある木 落葉 羊飼いの少女 街 細い木 魚と落葉 てんとう虫 海 並木道 2つの町 花の中の鳥 さくらんぼの木 鳥とどんぐり 街と6羽の飛ぶ鳥 少女と猫 海辺(少女) 花と蝶 雨の日 草の上の鳥 冠鳥 サン・ドニール・フェルマン 少女と羊 赤い魚 冬 街の門 少女と小鳥の木 2人の少女と花 花と蝶 ノルマンディの教会 美しい魚 ブラジルの鳥 少女と塔 2人の少女と風せん しだの中の鳥	群馬県立近代美術館	線のメルヘン -南桂子と銅版画家たち-	群馬県立近代美術館 7.3-8.22

マロニエと少女
湖畔
紫色のシャトー
鳥と貝
みみづく
ポプラの木の下で
馬のいる風景
落葉と少女
鶴
山の村
少女と鳥

林茂樹	00-XVIII*	富岡市立美術博物館・ 福沢一郎記念美術館	今どきアート〈The 5 Arts〉	富岡市立美術博物館・ 福沢一郎記念美術館 7.6-8.29
アンディ・ウォーホル	花(10点組) サンフランシスコ・シルバースポット (《危機に瀕した種》より)	福井県交流文化部文化課	夏休みは博物館で昆虫採集！ -スカラベからフィギュアまで-	福井県立若狭歴史博物館 7.30-8.31
フランソワ・ポンポン	D氏像 ポール像 ベルト・ポンポン サント・カトリーヌ コゼット スカートの裾をたくしあげる コルセットの女性 ブーヴルイユの教会 ほろほろ鳥の頭 雨の中を駆け回る雄鶏 七面鳥 七面鳥 二羽の雌雄 2つの姿勢の雌雄 風見鶏 仔牛 狼の頭 仔鹿 水上で胸を張る鴨 カイエンヌの雌鶏 アヒル 風見鶏 七面鳥 鷺鳥 羽をむしられて駆け回る雄鶏 羽をむしられて駆け回る雄鶏 羽をむしられて駆け回る雄鶏 ほろほろ鳥 牝豚 眼の突き出たフクロウ フクロウ ラクダ カバ 立って頭を下げているインド の牝鹿 大鹿 オラン・ウータン(頭部) ライオン「メネリク」 ヒグマ ヒグマ ヒグマ	京都市京セラ美術館 名古屋市美術館 佐倉市立美術館 山梨県立美術館	動物を愛した彫刻家 フランソワ・ポンポン展	京都市京セラ美術館 7.10-9.5 名古屋市美術館 9.18-11.14 群馬県立館林美術館 11.23-R4.1.26 佐倉市立美術館 R4.2.3-3.29 山梨県立美術館 R4.4.16-6.12

シロクマ
シロクマ
シロクマ
バン
紅ヨーロッパやまうずら
戯れる豹
斑点のある豹
黒豹
黒豹
大黒豹
雉鳩
雉鳩
眠っている雄鶏
猪
クロード・レイ
アンリ・デシャン
コンドル
鳩「ニコラ」
切断された巢の雌鳩
アンリ・マルティネ《フランソワ・ボンボンの頭像》
(資料) ポンボンと鳩ニコラ
ボンボン旧蔵 絵はがきアルバム
「現代動物芸術家展/フランソワ・ボンボン展とアトリエ再構成」ポスター
「ブロンズ動物彫刻家の1世紀—1875年から1975年まで—」展ポスター
「動物—ラスコーからピカソまで—」展ポスター
「パリの現代動物図像集」展ポスター
「ボンボンと近代彫刻—自然と抽象」展ポスター
ロベール・レイ『フランソワ・ボンボン』

三輪途道	下仁田-おじい* 下仁田-おばあ* おじいの宝II* おじいの抜け殻* 縄文からの道*	富岡市立美術博物館・ 福沢一郎記念美術館	三輪洗旗・途道展 -富岡から世界を紡ぐ	富岡市立美術博物館・ 福沢一郎記念美術館 9.11-11.7
福田美蘭	大津絵—雷公*	千葉市美術館	福田美蘭展 千葉市美コレクション遊覧	千葉市美術館 10.2-12.19
長重之	笑い続ける二つの州の間で* 株式会社 凜 笑い続ける二つの州の間で*		長重之個展「視床」	rin art association R4.1.15-3.20
藤牧義夫	太陽と自画像 年賀状(昭和5年用) 城沼の冬 達磨* 高根山の松* 高根山より大小山を望む景* 面白き植物もあるかな(サボテン)* 鶴の間の池* (静物4・ろうそく)* 尾曳ノ見晴し* (静物5・あさがお)* (静物2・ろうそく)* (静物1・りんご)*		藤牧義夫生誕110周年記念特別 展 藤牧義夫と館林	館林市第一資料館 R4.1.22-3.6

ジョアン・ミロ	独り語る(72点組より60点) 鳥	ミロ展 日本を夢みて	Bunkamura ザ・ミュージアム R4.2.11-4.17 愛知県美術館 R4.4.29-7.3 富山県美術館 R4.7.16-9.4
---------	----------------------	------------	--

5. 保存・修復

作者名	作品名	技法・材質	種別	処置内容
フランソワ・ポンポン	ライオン「メネリク」	石膏	彫刻	四肢足首亀裂修復
バリー・フラナガン	鐘の上の野兎	ブロンズ	彫刻	ブロンズ表面コーティング
山口晃	深山寺参詣圖	油彩・カンヴァス	絵画	亀裂接着、画布張り直し、剥落部 補彩

所蔵資料

B 図書資料その他

令和3年度 収蔵図書

種類区分	一般図書	定期刊行物	カタログ	年報目録	研究報告	その他	計
購入	167	70	44	0	1	0	282
寄贈	103	97	522	68	77	1	868
計	270	167	566	68	78	1	1150

職員名簿

(令和4年1月28日現在)

群馬県立館林美術館作品収集委員

氏名	職名
水沢勉	神奈川県立近代美術館館長
横山勝彦	呉市立美術館館長
田中淳	大川美術館館長

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

特別館長	佐々木正直
館長	竹沢徹
次長(教育普及係長)	横堀英紀

<教育普及係>

主幹(事)	柴崎恵利
主幹(学芸員)	熊谷ゆう子
主幹(事)	橋本美紀
主任(事)	坂爪志郎
教育普及員	齋藤久美子
	羽鳥あゆみ
	竹渕典子
	齋藤菜都美
	最上雅世

<学芸係>

補佐(学芸係長)	神尾玲子
主幹(学芸員)	松下和美
主任(学芸員)	伊藤香織
主任(学芸員)	野澤広紀
資料整理員	伊羅子典代